

於テハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ヲ以テ鑛業權者ト看做ス

第三十四條 試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ探掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ探掘ノ出願ハ試掘願書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス但シ第三十三條第四項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項本文ノ規定ハ探掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ニ於ケル期限經過後ノ出願ニ之ヲ適用セス

第三十五條 探掘權者ハ鑛區ノ合併又ハ分割ヲ農商務大臣ニ出願スルコトヲ得鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セムトスルトキ亦同シ

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ前項ノ出願ヲ爲サムトスルトキハ抵當權者ノ承諾及抵當權ノ順位ニ關スル協定ヲ經ヘシ

第三十六條 鑛業權者ハ隣接鑛區ノ鑛業權者及抵當權者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ鑛區ニ掘進スル爲増區ヲ出願スルコトヲ得

鑛床ノ位置形狀ニ依リ隣接鑛區ニ掘進スルニ非サレハ鑛利ヲ保護スル能ハサル場合ニ於テハ其ノ鑛業權者ノ承諾ヲ得テ鑛區ノ訂正ヲ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鑛業權者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

前二項ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ其ノ願書ニ鑛區圖ノ外鑛床圖ヲ添附スヘシ

前項ノ鑛床圖ハ之ヲ鑛區圖ノ一部ト看做ス

第三十七條 第二十五條第一項第二十六條第二十七條及第三十三條第三項ノ規定ハ之ヲ鑛區ニ準用ス

第二十五條第一項ニ該當スル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲サ、ルトキハ

農商務大臣ハ探掘權ヲ取消スヘシ抵當權ノ設定アル場合ニ於テ鑛區ノ減少ヲ出願セントスルトキハ豫メ抵當權者ノ承諾ヲ經ヘシ

第三十八條 錯誤ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ農商務大臣ハ鑛區ノ改正ヲ命シ又ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

前項ノ改正ヲ命シタル場合ニ於テ命令書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ出願ヲ爲サ、ルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第三十九條 鑛業公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スヘシ

第四十條 鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日ヨリ一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキ又ハ施業案ニ依ラスシテ探掘ヲ爲シタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十一條 鑛業權者第七十二條ノ命令ニ從ハサルトキ又ハ鑛業稅ヲ納メサルトキハ農商務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四十二條 探掘權取消ノ登錄アリタルトキハ鑛山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ

抵當權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ探掘權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得但シ第三十八條第一項及第三十九條ノ規定ニ依ル探掘權取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

探掘權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及抵當權者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競賣人ハ探掘權取消ノ登錄アリタルトキニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

第四十三條 前條ノ規定ハ探掘權者廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 採掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ施業案ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

採掘權者ハ施業ニ依ルニ非レハ採掘ヲ爲スコトヲ得ス

第四十五條 鑛山監督署長ハ理由ヲ示シテ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ變更シタル施業案ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第四十六條 採掘權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ坑内實測圖及鑛業簿ヲ鑛業事務所ニ備置キ且其ノ複本ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ

第四十七條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛業ニ關スル明細表ヲ鑛山監督署長ニ差出スヘシ

第四十八條 試掘ニ依リテ得タル鑛產物ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第四十九條 隣接鑛業權者其ノ他ノ利害關係人ハ他人ノ鑛區ニ付鑛山監督署長ニ其ノ實地調査ヲ出願スルコトヲ得

出願人ハ前項ノ調査ニ要スル人夫及物品ヲ供スヘシ

第三章 土地使用

第五十條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第五十二條乃至第五十四條及第五十六條ノ通知前使用又ハ

收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタル者ヲ謂フ

第五十一條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ

損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス

第五十二條 鑛業ノ出願又ハ鑛業ノ必要アルトキハ鑛業ヲ出願セムトスル者鑛業出願人又ハ鑛業權

者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タルモノ他人ノ土地ニ立入ラムトスルトキハ豫メ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十三條 前條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ障礙物ヲ除去スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ得タル者障礙物ヲ除去セントスルトキハ豫メ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第五十四條 鑛業上急迫ノ危険ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ得テ直ニ

他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ鑛業權者ハ遲滞ナク之ヲ土地占有者ニ通知スヘシ

第五十五條 前三條ニ依リ所有者及關係人ノ受ケタル損失ニ對シテハ其ノ請求ニ因リ補償金ヲ拂渡

スヘシ

第五十六條 鑛業權者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

一、錐鑽孔又ハ坑口ノ開穿

二、鑛物、土石、爆發藥用材薪炭礦滓又ハ灰燼ノ設置

三、選鑛場又ハ製鍊場ノ建設

四、鐵道軌道道路運河溝渠管稱池井索道又ハ電線ノ開設

五、其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ施設

前項ノ規定ニ依リ鑛業權者他人ノ土地ヲ使用セムトスルトキハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ

鑛山監督署長前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

前項ノ通知後鑛業權者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

第五十七條 土地ノ使用三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ収用ヲ請求スルコトヲ得

第五十八條 土地ノ一部ヲ使用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ収用ヲ請求スルコトヲ得

第五十九條 土地ノ使用又ハ収用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十條 土地ノ一部ヲ使用又ハ収用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十一條 土地ヲ使用又ハ収用スルニ因リテ通路溝渠墻柵其ノ他ノ工作物ノ新築改築増築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生スルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十二條 第五十六條ノ通知ノ後土地ノ形質ヲ變更シ工作物ノ新築改築増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セントスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタルモノハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ス

第六十三條 第五十六條ノ通知ノ後事業ヲ廢止又ハ變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ鑛業權者ハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第六十四條 土地所有者及關係人ハ鑛業權者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第六十五條 土地ノ使用又ハ収用ノ協議調ヒ裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セサルトキト雖鑛業權者ハ其ノ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ノ使用又ハ収用スルコトヲ得

第六十六條 鑛業權者保證金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サヌ又ハ擔保ヲ供セサルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用フルコトヲ拒ムコトヲ得

第六十七條 土地ヲ収用スルトキハ収用ノ時期ニ於テ所有者ハ鑛業權者之ヲ取消シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ鑛業權者之ヲ取消シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 土地ノ使用ヲ終リタルトキハ鑛業權者ハ土地ヲ原狀ニ復シ又ハ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スヘシ

第六十九條 先取特權質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ使用又ハ収用ニ因リテ債務者ノ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第七十條 土地ノ使用及収用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之ヲ準用ス

第四章 鑛業警察

第七十一條 鑛業ニ關スル左ノ警察事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農商務大臣及鑛山監督署長之ヲ行フ

一、建設物及工作物ノ保安

二、生命及衛生ノ保護

三、危害ノ豫防其ノ他公益ノ保護

第七十二條 鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ農商務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ

急迫ノ危險ヲ防ク爲必要アルトキハ鑛山監督署長ハ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 農商務大臣ハ探掘權者ニ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命スルコトヲ得

第七十四條 鑛業權消滅シタル後ト雖一箇年間ハ農商務大臣及鑛山監督署長ハ第七十二條ノ規定ニ準シ其ノ鑛業權ヲ有セシ者ニ對シテ危害豫防ニ關スル設備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得
前項ノ命令ヲ受ケタルモノハ危害豫防ノ目的範圍内ニ於テ鑛業權者ト看做ス

第五章 鑛 夫

第七十五條 採掘權者ハ鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規則ヲ定メ鑛山監督署長ノ許可ヲ受クヘシ
第七十六條 鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ備置クヘシ

第七十七條 鑛業權者鑛夫ヲ解雇シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ因リ雇傭ノ期間業務ノ種類、技能賃金及解雇ノ事由ヲ記載シタル證明書ヲ與フヘシ

第七十八條 鑛業權者ハ毎月一回以上期日ヲ定メ通貨ヲ以テ鑛夫ニ其ノ賃金ヲ支拂フヘシ
第七十九條 農商務大臣ハ命令ヲ以テ鑛夫ノ年齢及就業時間竝婦女幼者ノ勞役ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

第八十條 鑛夫自己ノ重大ナル過失ニ因ラスシテ業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ鑛夫又ハ其ノ遺族ヲ扶助スヘシ

第六章 鑛 業 税

第八十一條 鑛業權者ニハ鑛業税ヲ課ス

金鑛、銀鑛、鉛鑛及鐵鑛ニ付テハ鑛産税ヲ課セス

自己ノ採掘シタル鑛物ト他人ヨリ取得シタル鑛物トヲ合併シ製鍊スル場合ニ於テ其ノ取得鑛物ヨリ製出シタル鑛産物ニ付テモ亦前項ニ同シ但シ其ノ取得鑛物ノ數量カ自己ノ掘採シタル鑛物ノ數量ニ超過スルトキハ其ノ超過部分ヨリ製出シタル鑛産物ニ付テハ此ノ限りニ在ラス
第八十二條 鑛業權者ニハ其ノ鑛業ニ付營業税ヲ課セス

第八十三條 鑛區税ハ鑛區一千坪毎ニ毎年試掘ニ付テハ三十錢採掘ニ付テハ六十錢トス但シ一千坪未滿ハ之ヲ一千坪ト看做ス

第八十四條 鑛區税ハ毎年十二月中ニ翌年分ヲ前納スヘシ

第三十五條 第一項ニ依ルモノヲ除クノ外鑛業權ノ設定若ハ變更ノ登録ニ依リ新ニ負擔シ又ハ不足セル鑛區税ニシテ其ノ登録ノ年ニ係ルモノハ之ヲ既納スヘシ
前項ニ依リ納付スヘキ鑛區税ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス鑛業權ノ存續期間滿了ノ年ニ係ルモノ亦同シ

第八十五條 鑛産税ハ鑛産物ノ價格ノ百分ノ一トス

鑛産物ノ價格ハ主要ナル市場ノ平均相場ヲ標準トシ農商務大臣之ヲ告示ス其ノ告示セサルモノハ之ヲ檢定ス

第八十六條 鑛産税ハ毎年三月中ニ前年分ヲ納付スヘシ但シ鑛業權消滅ノ場合ニ於テハ既納スヘシ

第八十七條 共同鑛業權者ノ納稅義務ハ連帶トス

第八十八條 北海道府縣及市町村ハ鑛業税ニ對シ各鑛産税百分ノ十、試掘鑛區税百分ノ三、採掘鑛區税百分ノ七以内ノ附加税ヲ課スルコトヲ得

前項ノ附加税ノ外北海道府縣及市町村ハ鑛業ニ對シ又ハ鑛夫鑛産物鑛區若ハ直接鑛業用ノ工作物器具機械ヲ標準トシテ課税スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ北海道及沖繩縣ノ區竝間切島其ノ他町村ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

第七章 訴願訴訟及裁決

第八十九條 鑛業ニ關スル出願ノ許可又ハ拒否ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條 第十一條又ハ第三十六條ノ承諾ヲ拒マレタル者及其ノ承諾ヲ得ルコト能ハサル者ハ鑛山

監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得 前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行

政訴訟ヲ提起スルコトヲ得 第九十一條 鑛業權ノ取消ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリト

スルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得 第九十二條 土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハ

サルトキハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得 前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ付不服アルモノハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害

セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得 第九十三條 處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ訴願又ハ訴訟ヲ提

起スルコトヲ得ス 前項ノ期間ハ處分又ハ裁決ノ通告書ヲ受ケサル者ニ付テハ其ノ公示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八章 罰 則 第九十四條 鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二

年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス 過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ掘採シタル鑛物ヲ沒收ス既ニ之ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキ

ハ其ノ代金ヲ追徴ス 第九十六條 第十條第三項若ハ第十一條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第七十二條若ハ第七十四條第一

項ノ命令ニ從ハサルモノハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス 第九十七條 第四十四條若ハ第四十五條第二項ノ規定ニ違背シタル者第四十五條第一項若ハ第七十

三條第一項ノ命令ニ從ハサル者又ハ第七十九條若ハ第八十條ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シ

タル者ハ百五十圓以下ノ罰金ニ處ス 第九十八條 第四十六條乃至第四十八條第七十六條又ハ第七十八條ノ規定ニ違背シタル者ハ百圓以

下ノ罰金ニ處ス 第九十九條 第五十三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ障礙物ヲ除却シタル者又ハ第七十五條ノ規定ニ

違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス 當該官吏ニ對シテ鑛業ニ關スル書類若ハ物件ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタル者ハ罰前項ニ同シ但

シ其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル 第一百條 第七十七條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百一條 詐僞其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ鑛業稅ヲ免レ又ハ免レントシタル者ハ其ノ脫稅金額三倍ニ

相當スル罰金ニ處ス 第一百二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪

俱發ノ例ヲ用キス 第一百三條 鑛業權者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ

依リ鑛業權者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ鑛業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ

有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニアラス 第一百四條 鑛業權者ハ其ノ代理人戶主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ

犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス
本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令ニ規定セル罰則ニ付テモ亦同
シ

第一百五條 前二條ノ場合ニ於テハ禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ス

第十六條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之
ヲ準用ス

附 則

第十七條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鑛業條例ハ之ヲ廢止ス

第十八條 鑛業條例ニ依ル試掘ノ認可試掘權ノ登録ト看做ス

第十九條 日本坑法ニ依ル借區ノ許可及鑛業條例ニ依ル採掘ノ特許ハ採掘權ノ登録ト看做ス但シ鑛
業條例第四十一條第二項ニ定メタル面積ニ滿タサル鑛區ニ對スルモノハ其ノ期限ノ到來ニ因リテ
消滅ス

第二十條 本法施行前ニ於ケル官廳所屬ノ採掘區域ハ採掘鑛區トシ本法施行ノ日ニ於テ採掘權ノ登
録ヲ得タルモノト看做ス

第二十一條 鑛業條例ニ依ル採掘權ノ書入ノ登録ハ抵當權ノ登録ト看做ス

第二十二條 第七十四條ノ規定ハ本法施行前ハ試掘認可又ハ採掘特許ノ消滅シタル場合ニモ之ヲ適
用ス但シ一箇年ノ期間ハ其ノ消滅ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十三條 日本坑法ニ依リ借區ノ許可ヲ得タルモノ及鑛業條例ニ依リ試掘ノ認可又ハ採掘ノ特許
ヲ得タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ明治三十八年分ノ鑛區稅又ハ其ノ不足額ヲ納付スヘ

シ其ノ鑛區稅ハ月割ヲ以テ計算ス

第二十四條 明治三十八年分ノ鑛產稅ハ本法施行前ニ得タル鑛產物ニ付テモ之ヲ課ス

第二十五條 第八十八條ノ規定ハ明治三十八年分ノ稅ニ限リ之ヲ適用セス

第二十六條 鑛業條例ニ依リテ爲シタル處分手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合
ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十七條 本法施行前ニ爲シタル處分ニ對スル訴願裁定請求行政訴訟又ハ民事訴訟ニ關シテハ鑛
業條例ノ規定ニ依ル

第二十八條 鑛業條例ニ依リ試掘又ハ採掘ヲ出願シタル鑛區ノ面積ニ付テハ鑛業條例第四十一條第
二項ノ規定ヲ適用ス

第二十九條 明治三十七年十二月三十一日以前ヨリ引續キ重石礦又ハ水鉛鑛ヲ採掘スル者ニシテ明
治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ鑛物採掘ノ特許ヲ出願スルトキハ其ノ採掘區域ニ限リ第三十一
條第三十三條及鑛區ノ面積ニ關スル第九條ノ規定ニ拘ラス特許ヲ與フヘシ

前項ノ採掘者ニシテ明治三十八年七月三十一日迄ニ其ノ特許ヲ出願シタル者ハ其ノ指令ノ日迄本
法ノ規定ニ拘ラス其ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得

第三十條 第一項ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル區域ノ面積五千坪未滿ナル場合ニ於テハ其ノ特許ハ五箇年ヲ經
過シタルトキ消滅ス

第三十一條 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採掘ス
ル者ハ同條同項但書ニ該當セサル場合ト雖明治四十年六月三十日迄ニ其ノ旨鑛山監督署長ニ届出
ルトキハ其ノ届出ニ係ル坑井ヨリ噴出スル可燃質瓦斯ニ限リ本法ヲ適用セス

○鑛業人無斷官有地使用取締方ノ件

○内務部長ヨリ第一〇四八號通牒 明治二十七年 二月五日

鑛業ニ従事スルモノハ之ニ附隨シテ坑口ヲ開穿スル爲メ若ハ洗鑛ノ爲メ又ハ製煉所設置若ハ鑛物土石堆積場設置等ノ爲メ其附近地ノ使用ヲ要スルハ必然ノ結果ニ有之而シテ該地ノ官有地ニ屬スル場合ニハ鑛業條例第四十八條又ハ砂鑛採取法第十三條等ニ基キ相當規程ニ遵ヒ鑛區ノ内外ヲ問ハス之レカ貸渡ヲ出願スヘキ筈ナルニ近時鑛業出願ノ者多キニモ拘ラス土地貸渡ヲ願出テタルモノ甚々寡キヲ以テ見レハ或ハ無願之儘使用致居候者モ可有之哉ニ被存候條篤ト御注意之上右等ノ者ハ總テ制規ノ手續ニ從ヒ速ニ官有地貸下ヲ出願候様御取計相成度命ニ依リ此段通達候也

追テ實際鑛業ニ従事シ官有地ヲ使用シ居ルニモ拘ラス強テ之レカ貸下ヲ拒ミ出願セサルモノハ相當損害ノ賠償ヲ要求セサルヲ得サル儀ニ付右等ノ者有之候節ハ其地名目使用ノ地積目的地價ノ評定價格使用ノ爲メニ生シタル損害實額ノ有無及鑛業人名等調査ノ上報告相成度此段申添候也

○鑛業用地取扱方ノ件

○内務部長ヨリ各郡區長ヘ通牒 明治二十八年十二月三日 内地第二〇二二三號

鑛業用地貸渡方之儀ニ就テハ明治二十七年二月五日第一〇四八號ヲ以テ及通達置候次第モ有之候處鑛業人ニ於テ鑛業條例第四十八條若ハ砂鑛採取法第十三條ニ依リ官有地ニ係リ使用ヲ必要トスル場合ニハ猶左ノ區分ニ依リ御取扱相成度候

第一項 鑛業用地ハ閣令第十六號ニ依リ貸下クヘキ限ニアラサルモノトス

第二項 閣令第十六號ニ依ル貸下地ニ係リ使用ヲ必要トスルトキハ鑛業人ヨリ該地貸下人ニ對シ使用承諾書ヲ求メ成規ノ手續ニ依リ該承諾書ヲ添ヘ有料貸下ヲ出願セシムルモノトス

第三項 前項鑛業人ニ對シ貸下ヲ許可シタル場合ニ閣令第十六號ニ依ル貸下人ニ對シテハ左ノ區分

ニ依リ處分スルモノトス

一 未成功地(鑛業用地トシテ使用承諾ノ際ニ於ケル)ニシテ貸下期限滿了ニ至ルモ猶鑛業人ニ於テ引續使用スルカ爲メ

該地形成功ノ望ナキトキハ閣令第十六號ニ依ル貸下人ヨリ返地セシムヘキモノトス(此場合ニ六號第六條第二項ニ依リ貸下延期ヲ出願シタルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ)但シ鑛業用地トシテ使用承諾ノ際直チニ貸下人ヨリ返地スルハ妨ナシ

二 成功地(上)ニ屬スルトキハ貸下期限滿了ノ際閣令第十六號ニ依ル貸下人ヨリ該地所ノ拂下ヲ出願セシムヘキモノトス但シ貸下滿期前ト雖モ鑛業用地トシテ使用承諾シタル地所ニ對シ貸下人ヨリ拂下ヲ出願スルハ妨ナシ

三 前號拂下許可ノ場合ニハ鑛業人ニ其旨通知シ貸下地返納ノ手續ヲ爲サシメ更ニ拂下人即チ其所有者ヨリ貸渡ヲ受ケシムヘキモノトス

第四項 特別處分規則ニ依ル貸下地ニ係リ使用ヲ必要トスルトキハ鑛業人ヨリ該地貸下人ニ對シ使用承諾ヲ求メシメ貸下人ト協議ノ上左ノ手續ノ一ニ依ラシムモノトス

一 貸下人鑛業人連署ヲ以テ貸下地ノ使用ヲ出願セシム
此場合ニ於テ土地使用上ニ關スル責任ハ鑛業人ニ屬シ土地貸下ニ關スル權義ハ貸下人ニ存スルモノトス但シ土地貸下人ニ於テ鑛業人ヨリ相當ノ使用料ヲ收ムルコトヲ得ヘキハ勿論トス

二 貸下人鑛業人連署ヲ以テ該地所ノ轉貸ヲ出願セシム
此場合ニハ貸下人ニ於テ土地貸下ノ權利ヲ喪ヒ義務ヲ免ル、ト同時ニ鑛業人ニ於テ之ヲ繼承スルモノトス

三 貸下人ヨリ返地ノ上鑛業人ニ於テ新規貸下ノ出願ヲ爲サシム
以上ノ手續ニ依リ出願地ハ果シテ鑛業上實際ニ必要ノ地積ナルヤ否其他支障ノ有無等調査上成規ニ

從ヒ願書進達相成度此段及通達候也

○鑛業用地ニ關スル件

○殖民部長ヨリ各郡區長へ通牒明治三十年九月二十二日 殖拓第九〇八六號

鑛業用地トシテ未開地ヲ處分スルニ當リ法律ノ適用上ニ關シ別紙ノ通決議相成候條此段及通牒候也
決議案

鑛業者ハ鑛業條例ニ依リ未開地ノ使用ヲ必要トスル場合ハ同條例ニ依リ所有者タル國ニ貸渡ノ請求ヲナシ得ルハ勿論ニシテ未開地處分法ニ依リ出願スルヲ要セサルナリ然レトモ鑛業用地使用權ハ鑛業許可ニ依リ直ニ獲得スルモノニアラサルヲ以テ若シ其貸渡ノ請求ヲナサ、ル以前ニ於テハ未開地ノ處分ニ付何等ノ故障ヲナスモノニアラス

○鑛物試掘探掘願ノ許可其他ノ異動通知省畧ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒明治三十二年二月十七日 殖拓第七〇〇號

今般鑛業條例施行細則改正相成候ニ付テハ同則第三十二條試掘又ハ探掘ヲ許可シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ公告スルトアルヲ以テ鑛山監督署ニ於テ從來ノ如キ認可、特許、許可、其他異動等ノ通知方省畧可相成候ニ付隨テ本廳ヨリモ爾今右等通牒ノ運ヒニ至ラサルヲ以テ右様御了知相成度此段爲念及移牒候也

○鑛業出願地地名地種目等調査ニ關スル件

○農商務省訓令第十三號明治三十三年三月三十日 鑛山監督署長ハ鑛業砂鑛採取業出願地ノ地名、地種目ノ異同、出願地ニ鑛業條例第二十四條及第二

北海道廳府縣鑛山監督所

十五條ニ掲ケタルモノ、有無又ハ出願地内ノ土地所有者ニ關スル事實判明ナラサルトキハ出願地ノ支廳長、郡市長、島司又ハ之ニ準スルモノニ其ノ報告ヲ請求スヘシ
廳、府縣長官ハ管内ノ支廳長、郡市長、島司又ハ之ニ準スルモノヲシテ前項ノ請求ヲ受ケタル場合ニ遲滯ナク其ノ報告ヲ爲サシムヘシ

○鑛物試掘探掘等ノ出願ニ付調査ノ請求ヲ受ケタル場合報告方ノ件

○北海道廳訓第八十一號明治三十二年三月三十日

支 廳

鑛山監督署長ヨリ鑛業砂鑛採取出願地ノ地名地種目ノ異同出願地ニ鑛業條例第二十四條第二十五條ニ掲ケタルモノ、有無又ハ出願地内ノ土地所有者ニ關スル事實等報告ノ請求ヲ受ケタル場合ハ遲滯ナク報告スヘシ

○鑛物試掘探掘等ノ出願ニ對シ公益上支障ノ有無三十日以内ニ調査ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通知明治三十二年四月七日 殖拓第一四四四號

鑛物試掘探掘及砂鑛採取願ニ對シ公益上支障ノ有無調査方所轄鑛山監督署長ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ本年^ニ農商務省令第三號鑛業條例施行細則第二十一條ノ期限内ニ意見書ヲ送付セサルヘカラス若シ其期限内ニ送付セサルトキハ鑛山監督署長ニ於テ意見ナキモノト認メ處分スヘキ筈ニ付自今右等ニ關シテハ當廳ノ照會ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ調査ノ上支障ノ有無御上申相成度依命此段及通知候也

○鑛物砂鑛等ノ出願調査照會書ニ圖面返戻方記載省畧ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通知 明治三十二年四月十日 殖拓第一四七八號

鑛物及砂鑛採取出願照會書ニ意見御上申ノ際添付圖面ハ返戻ノ旨追書致來リ候處右等照會書ニ添付圖面ニシテ返戻ヲ要セサルモノハ殆ント無之ニ付自今照會書毎ニ記載ノ儀省畧致候ニ付總テ圖面ハ御回答書ニ添付御回付可相成儀ト御承知相成度此段及通知候也

○鑛業用地トシ必要ナル土地處分ノ件

○長官ヨリ内務農商務各次官ニ照會 明治三十二年二月二十三日 殖拓第七七四號

鑛業條例第四十八條ノ土地所有者ニハ國ヲモ其中ニ包含スルモノトスレハ鑛業上土地ノ使用ヲ必要トスル場合ニハ鑛業條例ニ依リ貸渡ヲ國ニ請求シ得ヘキモ其貸渡ニ應スヘキ權限ハ本官ニ委任ナシ又之レニ反シテ土地所有者トハ一人ノミヲ意味スル儀ニテ國ヲモ包含セサルモノトスレハ國有未開地ヲ鑛業地トシテ使用出願スル場合ニ北海道國有未開地處分法ニ明確ナル規定ナキヲ以テ強テ之ヲ處分センニハ同法第四條ニ據ラサルヲ得然ルニ鑛業ノ如キ營利ノ目的ヲ以テ成立スル事業ニ對シ該條ヲ適用スルハ不穩當ノ嫌ナキニアラス右何レモ疑義ニ涉リ候ニ付御意見承知致度此段及照會候也

○内務大臣官房北海道課長ヨリ回答 明治三十二年八月五日 北丙第二二號

鑛業條例第四十八條ノ件ニ付客月二十三日殖拓第七七四號ヲ以テ本省竝ニ農商務次官宛照會ノ趣了承右ハ同條土地所有者ニハ國ヲモ包含スルモノニ有之又本省所管ノ土地ニシテ同條例ニ據リ處分セラル、權限ハ目下省議中ニ付追テ本省大臣ヨリ委任ノ訓令可相成ニ付左様御承知相成度此段及回答候也

○長官ヨリ内務省北海道課長へ電信照會 明治三十三年一月二十六日

昨年八月五日北丙第二號回答ニ係ル鑛業條例第四十八條ニ依ル土地處分ノ權限委任ナキ爲メ差支アリ至急訓令相成様取計ノ上電信ニテ回答アリタシ

○内務大臣電信指令 明治三十三年一月二十九日

鑛業條例ニ依ル土地處分方自今委任ス但シ處分ノ上即報スヘシ

○石油鑛出願ニ對シ禁止區域ニ關スル件

○長官ヨリ札幌鑛山監督署長へ照會 明治三十五年二月十七日 殖拓第七六〇號

近來石油鑛出願者著シク増加シ今後益々盛ナラントスルノ有様ニ有之候處該鑛漿ノ如キハ他ノ鑛毒ト異リ水面ニ浮上シテ遠ク下流ニ及ヒ魚族ノ浜上ヲ妨害スルノ結果放卵場ヲシテ荒廢ニ歸セシムルト同時ニ多年巨額ノ費用ヲ投セル鮭鱒蕃殖ノ事業ハ竟ニ其効果ヲ斂ムル能ハサルニ了ナルヘキ恐レモ有之甚憂慮ニ堪ヘス候故ニ本道中鮭鱒蕃殖上最モ重用ナル河川ニシテ既ニ人工孵化場ヲ設置シ又將來之ヲ設置スルノ必要ヲ認メタル河川別冊ニ列記スル箇所ニ於テ石油鑛出願ノ場合ハ該河川ニ接近セル箇所ニ對シ河岸ヨリ三百間以内ノ場所ハ採掘禁止相成度而シテ三百間以上ノ場所ト雖モ地勢鑛漿泥砂藥液等漏泄ノ憂アル箇所ニ對シテハ是レカ防備ノ豫防條件ヲ付セラレ候様致度此段及御照會候也

別冊

一、石狩川

江別川落合ヨリ上流即チ夕張千歲川漁川等ノ各本支川

空知川ソーキブオマナイ以下ノ各川

本川ハカムイコタンヨリ伊香牛迄

忠別川ハ落合ヨリ上流三里間ノ本支川

一、斜里川

サラバ川本支流(イクシナベツ川ハユクエトイナイ以下)

本川(ペーナム以下)

一、標津川

全 川

一、忠類川

クンベツ以下

一、根室國ラウシ川

全 川

一、西別川

全 川

一、薫別川

オワタラウシ以下

一、長流川

ペンケベツ以下

一、遊樂部川

全 川

一、茂邊地川

全 川

一、及部川

全 川

一、堀株川

全 川

一、染退川

二股ヨリ上流右方ノ支川ハトウンナイ以下同シク左方ノ支川ハペンケビ以下

一、常呂川

全 川

一、網走川

全 川

一、國後島オンチベツ全川東沸川全川及湖水

一、擇捉島内保川全川留別川全川紗那川全川別飛川全川薬取川全川ウルモベツ川全川及湖水トーロ

川全川及湖水

一、十勝川

美生川落合ヨリ利別川落合迄ノ本川及之ニ流入スル各支川ハ其落合ヨリ上流三里但札内川ハタ

レチビラヨリ下流ノ各川音更川ハウオブ川落合ヨリ下流ノ各川

以上各川ニ對シテハ河岸ヨリ三百間以内ノ場所ニ於テ探掘ヲ許サ、ルコト又三百間以上ト雖モ鑛漿

滓渣泥砂藥液等ヲ河中ニ流入セシメサル様豫防條件ヲ付セシムル事

○官林内ニ於ケル鑛業出願ニ關シ所轄支廳長へ照會省署ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十五年五月十九日 殖拓第二四八八號
保安林並保安林豫定地内ニ於ケル鑛物試掘採掘砂鑛採取及ヒ四種林地ニ於ケル砂鑛採取出願ニ對シテハ公益上支障アルヲ以テ許可セサル様其筋へ通知可相成事ニ相成居候處從來ノ取扱ハ是等ト雖モ一應貴廳へ照會ノ上處理致來候得共斯クテハ無益ノ手数ニ涉リ處理ノ便活ヲ欠クノ虞アルヲ以テ自今本廳限リ處分ノ事ニ決議相成候條右様御承知相成度此段及通牒候也

○探鑛願ニ關スル豫防條件ノ件

○第六部長ヨリ第五部長へ照會 明治四十年三月十四日 監發第五〇號
從來各種鑛物試掘及探鑛願通知書ニ附セラレ候豫防條件ハ區々ニ涉リ一定不致候處左記ノ條件ハ一般試掘ノ場合ニ於テ必要ノモノト被認候條今後ハ凡テ該條件ヲ附シ御通知方御取計相成候様致度此段及照會候也

- 一、鑛區ノ内外ヲ間ハス鑛毒及汚水濁水ノ河流ニ流レ込マサル様相當ノ豫防設備ヲ要ス
- 二、鑛區ノ内外ヲ間ハス土砂岩屑其他ノモノヲ投棄シ河床ヲ隆起シ河身ノ亂流又ハ流水ノ妨害トナリ或ハ土地欠壞ノ虞ナキ様相當所置ヲ要ス

○鑛業ニ供スル爲メ國有土地處分ニ關スル件

○本廳決議 明治四十一年 八月二十八日
鑛業ニ供スル爲メ國有ノ土地ヲ處分スルニ當リ左ノ通り解釋取扱可然哉
第一 準據スヘキ法規

一 使用ノ場合

鑛業法第五十六條ハ鑛業權者ノ權利ノ方面ヨリ規定シ國家權力行使ノ方面ヨリ規定セラレサルカ故ニ國家ハ直接ニ鑛業法ニヨリ國有土地ヲ處分シ得サルカノ如ク相見エ候へ共鑛業法上國家ト雖モ鑛業權者ノ請求アルトキハ國有土地ヲ使用セシメサルヘカラサルモノニシテ此使用ヲ許スハ即チ鑛業法ニヨル使用許可ニ有之假令規定ノ形式ニ於テハ國家カ國有土地ヲ使用セシメ得ヘキヲ明示セスト雖モ其實質ニ於テ當然之ヲ使用セシメサルヘカラサルヲ規定シ且一般法理ト法條ノ性質ヨリ之ヲ見ルモ鑛業ニ供スル爲メ國家カ國有土地ヲ處分センニハ直ニ鑛業法ニ據リテ處分ヲ爲スモ何等不可ナク否鑛業法ニヨリテ處分スヘキモノト思考セラレ候

二 賣拂ノ場合

鑛業法ハ土地使用ニ關シ規定ヲ設クレトモ其賣拂ニ付テハ何等規定ナキカ故ニ國家ハ鑛業法ニヨリ國有土地ノ賣拂ヲナシ得サル者ト解セラレ從テ鑛業用地トシテ國有土地ノ賣拂ヲ爲サンニハ土地處分ニ關スル他ノ一般法規ニヨラサルヘカラサルモノト思惟セラレ候故ニ其賣拂ヲ要スル土地ニシテ
(1)官有地ナル時ハ 官有地特別處分規則第一條第三號ニヨリテ處分スヘク
(2)國有未開地ナル時ハ 未開地處分法ニヨリテ處分スヘキモノト思考セラレ候而シテ未開地處分法ハ耕作牧畜植樹ニ供スル土地ノ外ハ事業ノ如何ヲ問ハス十町歩以上ノ賣拂ヲ許サ、ルヲ以テ鑛業ニ供スル爲メ賣拂フヘキ土地モ亦十町歩以内ナラサルヘカラス唯鑛業上必要ナル限ハ鑛業權者ノ請求ニ應シテ其使用ヲ許サ、ルヘカラサルモノト思斷セラレ候

第二 鑛業法ニヨル土地處分ニ關スル長官ノ權限

北海道廳長官ハ明治三十三年以來「鑛業條例ニヨル土地處分方」委任セラレタルヲ以テ明治三十八年同條例廢止セラレ鑛業法ノ實施セラル、ト共ニ長官ニハ鑛業法ニヨル土地處分ノ委任アリト認

ムルヲ以テ至當ナリト思惟セラレ候然シナカラ所謂鑛業條例ニヨル土地處分「即チ長官委任ノ範圍ニ付キテハ委任當時ノ往復文書ニ基キ長官委任ハ唯同條例第四十八條ニヨル處分ニ止マル者ナリトナスモ寔ニ一理ナキニアラスト認メラレ候へ其内務省ヨリノ回答及訓令ニハ常ニ「鑛業條例ニヨル土地處分」ト云ヒテ其第何條ニヨル處分ナルカヲ示サ、リシハ之レ恐ラクハ同條例第四十八條ノ貸渡處分ソノモノ、ミヲ委任スル趣意ニアラスシテ貸渡處分ニ關シ同條例上發生スル凡テノ行爲ヲナスノ權限ヲ委任スルノ精神ナルヘシト推セラレ從テ彼ノ必要ノ際ニ於ケル土地貸渡人トシテナシ得ヘキ土地買取請求權ノ行使モ亦該委任ノ中ニ包含スルモノト推考セラレ候要スルニ該委任ノ趣意ハ土地貸渡處分ソレ自身ノミナラス貸渡處分ニ關シテ發生シ鑛業條例ニ於テ認メラレタル一切ノ行爲即チ鑛業條例ニヨル土地處分ノ全部ヲ委任スルモノナリト思考セラレ候故ニ鑛業法ノ下ニ於テハ土地使用許可ノ處分ハ勿論使用許可ニ關シテ發生シ鑛業法ノ認ムル彼土地收用請求權ノ如キモ亦長官ニ委任アルモノト思惟セラレ候換言スレハ長官ハ鑛業法ニヨリ國有土地ノ使用ヲ許可シ又其使用三年以上ニ亘ルカ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ其土地ノ收用ヲ請求スルノ權限ヲモ有スルモノト認メラレ候

○鑛業出願地地名地種目等調査ニ關スル件

○北海道廳訓令第二百二十一號 明治三十五年十一月八日

區 役 所

鑛山監督署長ヨリ鑛業砂鑛採取出願地ノ地名地種目ノ異同出願地ニ鑛業條例第二十四條第二十五條ニ掲ケタルモノノ有無又ハ出願地内ノ土地所有者ニ關スル事實等報告ノ請求ヲ受ケタル場合ハ遲滯ナク報告スヘシ

○鑛物及砂鑛出願添付圖返戻方ニ關スル件

○札幌鑛山監督署長ヨリ長官へ回答

明治四十三年十月十五日 札幌四三第一六五三號

本月十四日付拓殖第六五九六號ヲ以テ鑛物及砂鑛採取出願通知書添付ノ圖面返付ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ貴廳ニ於テ御留置ノ必要アルモノハ返戻ニ及ハス其必要ナキ分ハ御返付相成候様致度此段及回答候也

○長官ヨリ札幌鑛山監督署長へ照會

明治四十三年十月十四日 拓殖第六五八六號

從來鑛物及砂鑛出願ニ關シ御通知ノ際添付相成候圖面ハ會テ貴署員ト打合ノ上御返戻致サス取扱來リ候得共御通知書追書ニ返戻ヲ要スル旨御記載有之若シ御返戻スルモノトセハ其都度當廳ニ於テ謄寫シ置クノ必要有之自然期間内ニ御回答ヲ爲ス能ハサル様相成候哉モ難計事務取扱上差支候條可成御差支ナキ限リ從前ノ通り御返戻致サ、ル様致度差掛リタル事件モ有之候ニ付至急何分ノ御回報相煩度御協議旁々此段及御照會候也

○鑛業砂鑛業出願ノ際公益ニ關スル調査期日其他ノ件

○農商務省訓令第一號

大正元年八月二十日

北海道廳、府縣、鑛山監督署

鑛山監督署長鑛業又ハ砂鑛業ノ出願書類ヲ受理シタル場合ニ於テ其ノ出願地ノ全部又ハ一部カ新ナル場所ニ係ルトキハ遲滯ナク其旨ヲ出願地所管ノ地方長官ニ通知シ公益上支障ノ有無ニ關スル意見ヲ求メ且出願地ノ地名、地種目出願地ニ鑛業法第十條及第十一條ニ掲ケタルモノノ有無又ハ出願地内ノ土地所有者ニ關スル事項ノ調査ヲ請求スヘシ

地方長官前項ノ通知及請求ヲ受ケタルトキハ三十日以内ニ公益ニ關スル意見ト共ニ前項調査ノ結果

ヲ鑛山監督署長ニ通知スヘシ
明治三十二年^{三月}農商務省訓令第十三號明治三十八年^{八月}農商務省訓令第十五號及明治四十二年^{八月}農商務省令第二十九號ハ之ヲ廢止ス

○鑛物試掘探掘等ノ出願ニ付調査ノ請求ヲ受ケタル場合ノ報告廢止ノ件

○北海道廳訓第九十一號 大正元年九月九日

支 廳

明治三十二年三月北海道廳訓第八十一號ハ之ヲ廢止ス

○鑛業出願地、地名、地種目等調査ノ請求ヲ受ケタル場合報告廢止ノ件

○北海道廳訓第九十二號 大正元年九月九日

區 役 所

明治三十五年十一月北海道廳訓令第二百一十一號ハ之ヲ廢止ス

○鑛業及砂鑛出願公益關係其他調査ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ各支廳長大正元年九月九日各區長拓殖第一五五四號へ通牒

從來鑛業及砂鑛出願ニ關シ地名地種目土地所有者並ニ鑛業法第十條第十一條トノ關係ニ就テハ其筋ノ照會ニ依リ貴廳ニ於テ調査ヲ遂ケ回答シ來リ候處今般農商務省訓令第一號ヲ以テ當廳ニ於テ總テ調査ノ事ニ改正相成候ニ付明治三十二年三月北海道廳訓第八十一號(區長へハ明治三十五年十一月北海道廳訓令第二百一十一號トスルコト)ハ廢止相成候條自今當廳ヨリ公益上支障ノ有無調査方及照會候場合ハ鑛業出願ニ對シテハ左記甲號ニ依リ砂鑛出願ニ對シテハ左記乙號ニ基キ公益ニ關スル

意見ト共ニ前記ヲ併セテ調査シ照會ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ上申相成度此段依命及通牒候也

記

甲 號

一、出願區域ノ地面(國郡町村名及大字小字名)並ニ地種地目ニ付公簿ニ相違ノ有無
一、出願區域若クハ其近傍ノ地所又ハ建物等ニテ鑛業法第十條及第十一條ニ掲クルモノノ有無

乙 號

一、出願區域ノ地名(國郡町村及大字小字名又流域ニ付テハ其名稱)並ニ地種地目相違ノ有無及鑛業法第十條ニ掲クルモノノ有無
一、出願區域内土地水面官民有ノ區別若シ官有地ナルトキハ其公私有別
(明治二十三年勅令第二七六號官有地取扱規則ニ依リ區別)

一、出願區域内土地水面所有者ノ住所氏名

○鑛業及砂鑛出願公益關係其他調査ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ後志支廳長へ通牒 大正元年九月二十四日 拓殖第一五五四號

本月十七日拓第九八七號ヲ以テ鑛業及砂鑛出願公益關係其他調査ノ期間ニ關シ御申込ノ處調査上回答期日ノ延引スヘキ見込ノモノニ對シテハ其筋へ通知ノ都合モ有之候ニ付其都度一願毎ニ豫メ回答シ得ヘキ月日ヲ定メ其遲延ノ理由ヲモ合セ御通報相成様致度此段及通牒候也

○拓殖部長ヨリ各支廳長(但シ後志支各區長廳長ヲ除ク)へ通牒 大正元年九月二十四日 拓殖第一五五四號

本月九日拓殖第一五五四號ヲ以テ鑛業及砂鑛出願公益關係其他調査ニ關シ及通牒置候處調査ノ爲メ期間内ニ回答相成難キ見込ノモノ有之候場合ニ於テハ其筋へ通知ノ都合モ有之候ニ付其都度一願毎

ニ豫メ回答シ得ヘキ月日ヲ定メ遲延ノ理由ヲモ合セ御通報相成候様致度此段及通牒候也

○砂 鑛

○砂 鑛 法

○法律第十三號 明治四十二年三月

砂 鑛 法

第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ砂鑛ト稱スルハ砂金砂鐵及砂錫ヲ謂フ

金鑛ノ廢鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其ノ存在狀態砂金ト類似スト認メタルモノハ之ヲ砂金ト看做ス

第二條 本法ニ於テ砂鑛業ト稱スルハ砂鑛ノ採取及之ニ附屬スル事業ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ砂鑛區ト稱スルハ砂鑛權ノ登録ヲ得タル土地ノ區域ヲ謂フ

第四條 砂鑛權者ハ砂鑛區内ニ於ケル各種ノ砂鑛ヲ採掘スル權利ヲ有ス但シ第六條ノ砂金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 砂鑛區鑛區ト重複スル場合ニ於テハ砂鑛權者及鑛業權者ハ其採取及採掘又ハ試掘ニ付互ニ協議ヲ爲スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ砂鑛權者又ハ鑛業權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ行政

訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 金錢ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ採掘鑛區内ニ存スル砂金ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ其ノ鑛區内ニ既ニ存スル砂鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ鑛業權者ハ砂金ノ採取ニ關シ之ヲ砂鑛權者ト看做ス

第七條 砂鑛權ハ相續讓渡抵當權滯納處分又ハ強制執行ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス

第八條 砂鑛權ヲ得ムトスルモノハ願書ニ砂鑛區圖ヲ添ヘテ主務大臣ニ出願スヘシ

第九條 砂鑛出願地他人ノ所有ニ係ルトキハ所有者ノ承諾ヲ受クヘシ土地所有者ハ命令ノ定ムル期間内ニ於テ自ラ砂鑛權ノ出願ヲ爲ストキノ外前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條 砂鑛出願人ハ名義ノ變更ヲ爲スコトヲ得但シ主務大臣ニ届出ヲ爲スニ非サレハ其効力ヲ生セス

第十一條 砂鑛權者ハ砂鑛區ノ増減ヲ出願スルコトヲ得

抵當權ノ設定アル場合ニ於テ砂鑛區ノ減少ヲ出願セムトスルトキハ抵當權者ノ承諾ヲ受クヘシ

第十二條 土地所有者地上權者永小作權者又ハ土地ニ對シ使用ノ權利ヲ有スル者ハ其ノ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトスル者ニ對シ相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 前條ノ請求權權者ハ砂鑛者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得

第十四條 砂鑛權者補償金ノ拂渡ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ第十二條ノ請求權者ハ砂鑛ノ採取ヲ拒ムコトヲ得

第十五條 補償金又ハ其ノ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ砂鑛權者ハ鑛山監督署長ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十六條 前條ノ裁決アリタルトキハ其ノ未タ確定セサルトキト雖砂鑛權者ハ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供託シテ砂鑛ヲ採取スルコトヲ得

第十七條 鑛業法第三章ハ砂鑛業ニ關シ之ヲ準用ス但シ同法第五十六條ニ依ル土地ノ使用ハ左ノ場合ニ限ル

- 一、洗鑛
- 二、製鍊所ノ建設
- 三、洗滌用水路及溜池ノ開設
- 四、砂鑛原料ノ置場

第十八條 當該官吏砂鑛業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ工場其ノ他ノ場所ニ臨檢スルコトヲ得當該官吏臨檢ノ際砂鑛業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第十九條 權利ヲ有セスシテ砂鑛業ヲ爲シ又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ砂鑛採取ノ許可ヲ受ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 第二十三條ニ於テ準用シタル鑛業法第十條第三項又ハ同法第七十二條ノ命令ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 砂鑛權ノ出願又ハ砂鑛業ノ爲ニ他人ノ土地ニ立入りテ測量又ハ檢査ヲ爲ス場合ニ於テ鑛山監督署長ノ許可ヲ受ケスシテ障害物ヲ除去シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

當該官吏ノ訊問ニ對シ虛僞ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタルモノハ罰前項ニ同シ

第二十二條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第二十三條 鑛業法第五條第六條第七條第一項第二項第十條第十二條第十五條第十六條第十九條第二十條第二十七條第三十二條第三十三條第一項第二項第三十五條第三十八條乃至第四十三條第四十九條第七十二條第七十四條第八十七條乃至第八十九條第九十一條乃至第九十三條第三百三條及第三百四條ノ規定ハ砂鑛業ニ關シテ之ヲ準用ス

附 則

第二十四條 本法ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

砂鑛採取法ハ之ヲ廢止ス

第二十五條 砂鑛採取法ニ依ル砂鑛採取ノ許可ハ之ヲ砂鑛權登録ト看做ス

第二十六條 本法施行前ニ金鑛ヲ目的トスル鑛業ノ出願ヲ爲シタル者第一條第二項ノ砂金ノミヲ採取セムトスルトキハ命令ノ定ムル期間内ニ之ヲ鑛山監督署長ニ届出ツヘシ

前項ノ届出アリタルトキハ鑛業ノ出願ハ願書發送ノ日時ニ於テ砂鑛權ノ出願ニ代リタルモノト見做ス

第二十七條 本法施行前設定シタル鑛業權ニシテ第一條第二項ノ砂金ノミヲ目的トスルモノニ付テハ命令ノ定ムル期間内ニ其ノ鑛區ニ付砂鑛權設定ノ登録ヲ申請スヘシ其ノ登録アリタルトキハ鑛業權ノ上ニ現ニ存スル權利義務ハ砂鑛權ノ上ニ存續ス

前項ノ鑛業權ニ關シテハ砂鑛權ノ登録アル迄仍鑛業法ヲ適用ス

第一項ノ鑛業權ニシテ鑛業財團ヲ組成スルモノニ付テハ砂鑛權ノ登録アリタル後ト雖其ノ財團ノ關係ニ於テハ之ヲ鑛業權ト見做ス

第二十八條 本法施行前砂鑛採取法ニ依リ又ハ本法第一條第二項ノ砂金ニ關シ鑛業法ニ依リテ爲シタル處分手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト見做ス

第二十九條 本法施行前砂鑛採取法ニ依リ又ハ本法第一條第二項ノ砂金ニ關シ鑛業法ニ依リテ爲シタル處分ニ對スル訴願訴訟判定裁定又ハ裁決ニ關シテハ各砂鑛採取法又ハ鑛業法ノ規定ニ依ル

○砂鑛採取承諾願ニ關スル件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十二年二月四日 殖拓第五一七號

砂鑛採取承諾願ニシテ同一箇所ニ付二通以上アルトキハ之ニ對スル指令書下付ノ先後ハ自然採取願ノ先後ニ影響ヲ及ホシ利害ノ關係尠ナカラサルヲ以テ右願書ノ進達及指令書下付ノ場合ニ於テハ受付番號順ニ依リ取扱ヒ相成候ハ勿論ノ儀ニ有之候へハ其邊爾今一層御注意相成候様致シ度長官經伺此段及通牒候也

追テ本文ノ趣旨ハ御部内各戸長役場へ普ク御達相成度候也

○砂金採取願ニ對スル意見書ノ件

○札幌鑛山監督署長照會 明治三十二年三月二十九日 札監乙第九九號

砂金採取出願ニ付別紙意見書御回付相成候處去廿二日札監乙第一八四號ヲ以テ及御照會置候通御意見有之分ニ對シテハ一願毎ニ各別ニ意見書調製御回付相成度尤モ何等ノ御意見無之通知書ハ連記ニテ差支無之候條右様御取計相成度別紙相添へ此段及照會候也

(別紙畧ス)

○長官ヨリ札幌鑛山監督署長へ回答 明治三十二年四月四日 殖拓第一一七號

三月二十九日付札監乙第九九號ヲ以テ御照會ノ趣了承爾今意見有之分ニ對シテハ一願各別ニ御通知ノ義承知致候得共既ニ發送シタル分ハ其儘御處理相成度御回付ノ通知書添付此段及御回答候也

○砂鑛採取承諾願ニ關スル件

○北海道廳令第三十七號 明治三十二年四月二十二日

國有土地水面ニ於テ砂鑛採取ノ承諾ヲ受ケントスル者ハ願書ヲ其採取地所轄戸長役場及支廳ヲ經由シテ當廳ニ差出スヘシ 但シ明治二十六年^時北海道廳令第四十二號ヲ廢止ス

○同上承諾願調査ニ關スル件

○北海道廳訓令第二十三號 明治三十二年四月二十三日

支廳、戸長役場

本年^時北海道廳令第三十七號ニ據リ砂鑛採取承諾願書ヲ提出シタル者アルトキハ左ノ事項ヲ取調意見書ヲ添付シ進達スヘシ

但シ明治二十六年^時北海道廳訓令第三十七號ヲ廢止ス

一 出願地名ノ正否及種目

一 國ニ屬スル公、私有ノ土地水面ノ區別

但シ出願區域公、私有ノ土地水面ヲ包含スルトキハ其區分畧圖ヲ添付スヘシ

○同上ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ照會 明治三十二年六月二十三日 殖拓第二六八七號

本年四月廳令第三十七號ニ據リ國有土地水面ニ於テ砂鑛採取承諾願ヲ提出シタルモノアルトキハ同

年同月訓令第二十三號調查事項ヲ御調査可相成候處明治三十年法律第二十六號北海道國有未開地處分法明治二十三年勅令第三百三十五號官有地特別處分規則及同年勅令第二百七十六號官有地取扱規則其他之ニ類スル法規ニヨリ貸付シタル土地ニ對シテモ單ニ國ノ私有地トシテ御上申相成候向往々有之調査上差支不尠候條右等ノ土地ヲ出願スルトキハ其旨御上申相成度尙又區域中ニ包含候時ハ調査事項第二號但書ニ依リ其區分畧圖御添付相成度此段及照會候也

○砂金採取禁止區域ノ件

○長官ヨリ札幌鑛山監督署長ヘ照會 明治三十三年五月十八日 殖拓第四三五二號

去ル明治三十一年九月以來本道砂鑛採取出願者日ニ増加シ今後益々盛ナラントスルニ隨ヒ其弊害モ亦尠ナラス殊ニ流域ノ出願ニ對シテハ採取ノ結果河床ヲ埋メ泥土ヲ流シ流水ノ清淨ヲ防ケ甚シキハ河身ノ變更ヲ爲スニ至リ魚族ノ放卵場ヲシテ砂鑛採取ノ爲メ全ク荒廢ニ屬セシムルト同時ニ鮭鱒蕃殖ノ事業ハ多年巨額ノ費用ヲ投入セルニモ拘ハラズ遂ニ其効果ヲ斂ムル能ハサルニ了ナルヘキ義ニ付甚タ憂慮ニ堪ヘス候故ニ本道中鮭鱒上最モ重要ナル河川ニシテ既ニ人工孵化場ヲ設置シ又將來之ヲ設置スルノ必要ヲ認メタル河川別冊ニ列記スル箇所ニ有之候條既ニ御許可濟及御通知濟ノ分ニシテ該流域ニ相當スル分ニ對シテハ河床及堤防地(河岸ヨリ壹町以內)ノ採取ヲ禁止シ尙其禁止區域ニ注入スル水流ヲ以テ洗鑛ヲ爲スコトヲモ併セテ禁止相成度此段及御照會候也

(別冊)

- 一、石狩國 石狩川ノ内 江別川、夕張川(ソトホコマブ以下)漁川、千歲川
- 一、北見國 斜里川ノ内 サラバ川本支流(イクシベツ川、ハユクエトイナイ以下)本川(ペーメム以下)

- 一、根室國 標津川ノ内 區域ハ地圖ヲ以テ示ス(地圖略ス)
- 一、同 國 忠類川ノ内 タンベツ以下
- 一、同 國 ラウシ川 全川
- 一、同 國 西別川 全川
- 一、同 國 蘆別川 オワタラウシ以下
- 一、同 國 長流川 ペンケベツ以下
- 一、同 國 遊樂部川 全川
- 一、同 國 茂邊地川 全川
- 一、同 國 及部川 全川
- 一、後志國 掘株川 全川
- 一、日高國 染退川 二股ヨリ上流右ノ支川ハ「トウンナイ」以下同左ノ支流ハ「ペンケビマ」以下
- 一、北見國 常呂川 區域ハ地圖ヲ以テ示ス(地圖略ス)
- 一、同 國 網走川 區域ハ地圖ヲ以テ示ス(地圖略ス)
- 一、同 國 國後島 オンチベツ川全川東沸川全川及湖水
- 一、同 國 擇捉島 内保川全川留別川全川紗那川全川別飛川全川藥取川全川ウルモツベ川全川及湖水トロー川全川及湖水
- 一、十勝國 十勝川 區域ハ地圖ヲ以テ示ス(地圖略ス)

○御料地内ノ河川ニ於テ砂鑛採取願ニ關シ國ニ屬スル公私有區別ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十四年四月二十二日 殖拓第一三四七號

御料地内ノ河川ニ於テ砂鑛採取承諾願ニ關シ國ニ屬スル公私有區分ノ義ニ付從來取扱方區々ニ涉リ自然行違ヲ生スル場合往々有之候ニ付這般御料局札幌支廳ト交渉ノ結果御料地内ノ河川ニ對シテハ當分ノ内左記項目ニ基キ取扱候事ニ協議相成候ニ付右御承知有之度此段及通牒候也

第一項 水源ノ御料地内ニアル河川ハ御料地内ニ包有セル流域ヲ限リ當分ノ内私有水面ト假定シ御料局札幌支廳ニ於テ取扱フ事

但後日公用ニ供シタル事實發見シタルモノ若クハ公用ニ供スル必要アリト認メタルモノハ御料局札幌支廳ト北海道廳ト妥協ノ上公有水面トシテ北海道廳ニ於テ取扱フ事

第二項 御料地内ニ包有セル河川ニ對シ別紙記載ノ工事ヲ御料局札幌支廳ニ於テ執行スルカ又ハ

第三者ヲシテ執行セシメントスルトキハ執行前其設計仕様書ヲ添へ北海道廳ニ協議スル事

第三項 第一項ニ該當セサルモノハ總テ北海道廳ニ於テ取扱フ事

(別紙)

- 一、河川ニ護岸工事ヲ施行スル事
- 二、河川ニ水制工事ヲ施行スル事
- 三、堤防工事ヲ施行スル事
- 四、河川ノ堀割及分水工事ヲ施行スル事
- 五、河身ノ附替工事ヲ施行スル事
- 六、河川ノ障害物ヲ除却スル事
- 七、河川ノ埋立工事ヲ施行スル事

- 八、河川ニ固定ノ網場ヲ設クル事
- 九、河川ニ連絡シテ木圍堀ヲ設クル事
- 十、河川ニ物揚場ヲ設クル事
- 十一、河川ニ堰止工事ヲ施行スル事
- 十二、河川ニ長十間以上ノ架橋工事ヲ施行スル事
- 十三、河川ニ土砂ノ流出スヘキ工事ヲ施行スル事

(參照)

石狩

左岸

支流

忠別川

ピエイ川

イノベツ

アルウシエナイ

ナイタイア

雨龍川

空知川

イクシユンベツ川

タ張川

千歳川

豊平川

アイシホブ

クワウンナイ

忠別川

右岸

支流

ビエ

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

同
左岸支流

キトイヌブ

ベツ川

セタウシナイ

ホンビアイ川

ルベシユベ

オイチヤヌス

ウア

エビシユオマブ

シユマリナイ

ソウシナイ

ボロカウリソベツ

ウエンベツ

ニセイバロマブ

ニセノシユケオマブ

ボロニセケシユオマブ

ホロニタチハ

ビバウシ

エタイベツ

バンケホロナイ

トナシユベツ

11

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

イクシエンベツ川

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

夕張川 右岸支流

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

ホシベツ

バンケホロカエーバロ川

バンケホロカエーバロ川

ウエンホカベツ

ユクルシエベ

ソーボロマブ

アムル川

バンケモエーバロ川

バンケモエーバロ川

バンケマヤ

クリキ

紋別川

オサツ川

イザリ川

○採鑛事業制限ノ件

○土木部長ヨリ殖民部長へ通牒 明治三十五年五月二十七日 監發 第五八九號

採鑛事業ニ關スル土木部主管ニ係ル豫防條項ノ義客年七月十八日ヲ以テ御通牒ニ及置候處今般札幌鑛山監署ト協議ノ上別紙ノ通り改定致候條御了知相成度此段及通牒候也

(別紙)

採鑛事業制限事項

左記第一、二、三項區域内ニ於テハ堀鑿ヲ爲ス可ラス

一、道路ハ現在ノ道巾如何ニ拘ラス中心ヨリ國道(未成功ノ分ヲ含ム)ハ左右各七間半即チ全巾十五間以内假定縣道ハ十二間以内里道及殖民地未成功道路ハ十間以内

二、橋梁ノ上下流ニ於テハ其橋長ニ對スル五倍(假令ハ長六間ノ橋ナレハ卅間以内)ノ間數以内

三、堤防敷地ハ(兩岸トモ川中ニ同シ)堀鑿スヘカラス

四、河川ヲ堀鑿スル場合ニハ河川ノ欠壞及河身ノ變動ヲ生セシメサル様操業シ採取土砂ハ直ニ原形ニ復スルヲ要ス

五、河川ニ沿フタル山腹ヲ堀鑿スル場合ニ於テハ土砂流出ノ豫防設備ヲナスハ勿論河中ニ土砂ノ放棄ヲ爲ス可ラス

○保安林内砂鑛採取ニ關スル件

○本廳決議 明治三十五年 十月一日決裁

保安林内砂鑛採取ハ公益上支障アルモノトシテ取扱ノ義三十四年七月二十四日仰決裁候處河床ニ於テ採取スルモノニ對シテハ直接森林ニ關係ヲ有セサルモノトシテ從來不問ニ付シ來リタルニ既往ノ

成績ヲ見ルニ河岸ヲ破壞セサルコト或ハ樹木ヲ損セサルコト若クハ地形ヲ復舊セシムル事等種々ノ條件ヲ付シ處理シタルモノ單ニ一片ノ形式ニ止マリ實際之ヲ遵行スルモノナク又之ヲ勵行セシメン事ハ殆ト可言不可行事ニ屬セリ如斯シテ漫然放任センニハ恐ラクハ遂ニ保安林設定ノ目的ヲ失却スルニ至ルヘク寒心ニ不堪次第ニ有之候依テ爾今水源涵養土砂扞止魚付護岸等ノ爲ニ設ケタル保安林若クハ保安林豫定地内ノ河川ニ於テハ公益上支障アルモノトシテ取扱可然哉若仰高裁候也
但特ニ砂鑛産額饒富ナル箇所ニ在テハ實地調査ノ上詮議ヲ爲スコトニ致度

○砂鑛採取承諾願ニ關スル件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ(各通)通牒 明治三十五年十一月二十五日 殖拓第五三三七號

砂金採取承諾出願ニ對シテハ從來願書二通ヲ要セサル義ニ有之候處往々御進達ノ際一通添付ノ向モ有之處理上手數不堪候條爾來御注意相成度此段通牒候也

○砂金採取承諾願役場經由ニ關スル件

○第五部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治四十二年二月二十五日 五拓第二二九〇號

砂金採取承諾出願ノ場合ニ於ケル地元町村戸長役場ニテ奥書セルモノ又ハ單ニ認印ノミノモノアリテ取扱方區々ニ涉ルノミナラス地元役場ヲ經由シタルヤ否ヤ明確ナラサルモノ有之處分上差支不堪候ニ付自今出願書餘白ニ經由セル事實ヲ明瞭ナラシムル爲メニ經由番號月日ヲ記入シ役場印押捺セシメラレ度此段及通牒候也

○砂鑛採取承諾ニ關スル件

○本廳決議 明治四十三年 四月二十八日

從來砂鑛採取スヘキ區域他人ノ所有地ニ係ル場合ハ砂鑛採取法第五條ニヨリ土地所有者又ハ關係人ノ承諾ヲ要セシヨリ國有地ニ對シ之カ承諾ヲ願出テタルモノアルトキハ國ニ屬スル公有土地水面及北海道國有未開地處分法官有地特別處分規則官有地取扱規則等諸法規ニヨリ貸付シタル土地ハ之ヲ除キ承諾相成居候處昨年七月法律第十三號砂鑛法實施ノ結果本承諾ハ土地ノ所有者ニ限ルコト、相成候ニ付テハ前記貸付地ト雖モ國ハ其所有者トシテ之カ諾否ノ指令ヲ與フルノ必要有之候條自今左案列文ヲ以テ指令又ハ却下相成可然哉

許可指令ノ例

何府縣何郡何町村何番地
當時北海道何郡何町村何番地寄留

何 某

明治何年何月何日願何郡何町村地内ニ於テ國ニ屬スル公有土地水面及御料林各省用地（北海道廳ノ主管ニ屬セサル土地）ヲ除キ砂鑛採取ノ件承諾ス

年 月 日

長 官

備考 一、出願人二名以上ノトキハ列記ノコト

一、鑛種名明カナルトキハ何々採取ノ件ト明記スルコト

符箋却下ノ例

本願ノ箇所ハ國ニ屬スル公有土地水面御料地各省用地（北海道廳主管ニ屬セサル土地）民有地ニ付承諾ノ限リニアラス仍テ却下ス

年 月 日

北海道廳

○砂鑛採取願ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治四十三年九月十九日 拓殖第五四八五號

砂鑛採取願ニ關シテハ札幌鑛山監督署ノ通知ニ依リ公益上支障ノ有無調査方照會致來候處近來該採取區域内道路橋梁ノ有無其他明示方更ニ申越無之其都度應照ヲ重ヌルトキハ徒ラ爾繁雜ヲ來シ候ニ付今後右出願ニ對シ公益上支障ノ有無照會ニ及候節ハ道路橋梁ノ位置其種類及橋梁ノ長サ橋脚ノ有無等ヲモ併セ御調査ノ上添付圖ニ明示相成度此段及通牒候也

○砂鑛採取出願地内民有地ノ所有者ノ住所氏名調査ノ件

○拓殖部長ヨリ各支廳長ニ通牒 大正三年五月十六日 拓殖第三七九四號

從來砂鑛採取出願ニ對シ民有地ノ所有者ノ住所氏名上申相成候處砂鑛採取ノ出願ハ砂鑛法第九條同施行細則第一條ニ依リ土地所有者ノ承諾ヲ要件トスルカ故ニ願人等ハ必ス出願當時ニ於ケル現實ノ土地所有者ノ承諾ヲ得テ出願シツ、アリ當廳ノ回答ハ願人等ノ提出セシ承諾書ヲ證明スル資ニシテ重大ナル利害關係ヲ有スルヲ以テ最モ慎重ニ調査スルノ要有之然ルニ從來其調査方法ヲ異ニセシ結果照復ニ時日ヲ要シ又ハ往々誤謬アリ處理上支障不尠候ニ付自今砂鑛採取出願ニ關スル土地所有者ノ調査ハ必ス其筋ヨリ指示年月ニ於ケル現在ノモノヲ登記所ニ就キ調査回報相成度此段及通牒候也

第十七類

○土地收用

○土地收用法

○法律第二十九號 明治三十三年三月

土地收用法

第一章 總 則

第一條 公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲メ之ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其

土地ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス

第二條 土地ノ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一 國防其他軍事ニ關スル事業

二 官廳又ハ公署建設ニ關スル事業

三 教育學藝又ハ慈善ニ關スル事業

四 鐵道、軌道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、電

氣機、瓦斯燈、又ハ火葬場ニ關スル事業

五 衛生、測候、航路標識、防風防火、水害豫防其ノ他公用ノ目的ヲ以テ國府縣郡市町村其ノ他公共

團體ニ於テ施設スル事業

第三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼人

ニ移轉ス

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其他ノ行爲ハ起業者土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其效力ヲ有ス

第五條 本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ

本法ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後其ノ土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此限ニ在ラス

第六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八條 本法ノ規定ハ土地ニ屬スル土石砂礫ノ收用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二章 事業ノ準備

第九條 事業ノ準備ノ爲メ必要アルトキハ起業者ハ事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ得テ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得但シ此場合ニ於テ宮内省又ハ國ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ起業者事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ公告シ又ハ之ヲ其土地占有者ニ通知スヘシ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ノ準備ノ爲メ其ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ本條ノ許可又ハ通知ヲ要セス

第十條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ五日前ニ其日時及場所ヲ市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其土地占有者ニ通知スヘシ

邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ豫メ其占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ特ニ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 第九條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲メ必要アルトキハ起業者ハ行政廳ノ許可ヲ得テ障害物ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ障害物ノ除却ヲ爲ス場合ニ於テハ起業者ハ三日前ニ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

第三章 事業ノ認定

第十二條 土地ノ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ内閣之ヲ認定ス但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スヘシ内務大臣ハ之ヲ審査シ内閣ニ提出スヘシ

宮内省又ハ國ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ内務大臣ニ協議ヲ爲シ之ヲ内閣ニ提出スヘシ

第十四條 内閣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業ノ種類並ニ起業地ヲ公告スヘシ

第十五條 天災事變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲メ土地ヲ使用スルトキハ郡市長ハ其事業ノ認定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス

軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲メ土地ヲ使用スルトキハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ郡

市長ニ通知スヘシ

第十六條 起業者カ郡市長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ定メ郡市長ニ申請スヘシ

第十七條 郡市長カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者事業ノ種類使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

郡市長カ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條 起業者カ内閣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

第四章 收用ノ手續

第十九條 内閣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十條 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其土地ニ立入り土地物件ヲ調査スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ三日前ニ其日時及場所ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後ハ占有者ノ承諾アルニ非サレハ邸内ニ入ルコトヲ得ス

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ必要ト認ムルトキハ土地所有者又ハ關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調書ヲ作ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人カ調書ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ得但市町村長カ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ケタル關係ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地所有者又ハ關係人カ調書ノ必要ヲ認メタルトキハ前二項ノ規定ヲ準用ス

起業者土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作りタル調書ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求メントスルトキハ起業者ハ其申請書ニ左ニ掲ケタル書類ヲ添ヘ

地方長官ニ差出スヘシ但軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

一 事業計畫書及圖面

二 市町村別ニ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類

收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號地目

收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類數量但土地物件カ分割ヲ來スヘキ場合ニ於テハ其全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ

損失補償ノ見積金額及内譯

收用ノ時期又ハ使用ノ時間期間

土地所有者及關係人ノ氏名住所

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ市町村長ハ豫メ公
告ヲ爲シ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スヘシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條縦覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出ス
コトヲ得

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條 收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間内ニ裁決ヲ爲スヘシ但地方長官ハ必要ト認ムルトキ
ハ二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 收用審査會カ前條ノ期間内ニ裁決ヲ爲サ、ルトキハ地方長官ハ事情ヲ具シ内務大臣ノ
指揮ヲ請フヘシ内務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間内ニ裁決ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ之ニ代テ
裁決ヲ爲スヘキコトヲ地方長官ニ命スルコトヲ得

第二十九條 收用審査會カ招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ之
ニ代テ裁決ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同シ

第三十條 收用審査會カ裁決ヲ爲シタルトキハ其裁決書ノ謄本ヲ添ヘ地方長官ニ報告スヘシ

第三十一條 前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ裁決書ノ謄
本ヲ起業者土地所有者及關係人ニ送達スヘシ

第三十二條 軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要ヲ生シタル道路堤防
其他公用ニ供スル工作物ノ新築改築又ハ増築ノ爲土地ヲ收用又ハ使用スルトキハ地方長官ノ許可
ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ルコトヲ得

第三十三條 郡市長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ通知ノ後
起業者ヲシテ直ニ其土地ヲ使用セシムルコトヲ得但損失ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルヘシ

第三十四條 起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メ
サルトキハ其公告又ハ通知ハ効力ヲ失フ

第五章 收用審査會

第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ
爲スモノトス

一 收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域

二 損失ノ補償

三 收用ノ時期又ハ使用ノ時期期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁
決ヲ爲スヘシ

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

第三十八條 委員ハ高等文官及府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命シ府縣名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ
其ノ互選トス

第三十九條 收用審査會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 委員カ起業者土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配遇者、四親等内ノ親族、戸主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員、株式會社ノ取締役及監査役其他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項ニ同シ

本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條ノ規定ニ抵觸セサルモノノ内ヨリ臨時ニ指命シテ之ヲ補充スヘシ

- 一 府縣名譽職參事會員
- 二 府縣名譽職參事會員ノ補充員
- 三 府縣會議員

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ヒ其意見ヲ聽クコトヲ得

第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其意見ヲ聽クコトヲ得

收用審査會ハ事實參考ノ爲メ必要ト認ムルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地以外ノ土地所有者ヲ呼出シ其供述ヲ聽クコトヲ得

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印スヘシ

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ涉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收

用審査會ヲ開クコトヲ得

第六章 損失ノ補償

第四十七條 土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價格ニ依リ其損失ヲ補償スヘシ

使用スヘキ土地ニ付テハ其土地及近傍類地ノ料金ニ依リ其損失ヲ補償スヘシ

第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ據リテ殘地ノ價格ヲ減シ其他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其損失ヲ補償スヘシ

第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ據リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スルコト能サルトキハ土地所有者ハ其全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但物件ノ分割ヲ來シ其全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ全部移轉料ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ據リテ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十三條 土地ヲ收用又ハ使用スルニ據リテ通路、溝渠、塙柵其他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲ス必要ヲ生スルトキハ其ノ費用ヲ補償スヘシ

第五十四條 前數條ニ規定シタルモノ、外土地ヲ收用又ハ使用スルニ據リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十五條 土地ノ使用カ三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキ若ハ使用スヘキ土地ニ建物アルトキハ所有者ハ其土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳ノ許可ヲ得シテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築改築増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル土地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十七條 第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入り測量検査又ハ調査ヲ爲スニ據リテ他人ニ及ホシタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ據リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條 前二條ノ補償ニ付キ協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ止ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條及第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第七章 收用ノ効果

第六十條 起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

左ニ掲ケタル場合ニ於テハ補償金ヲ供託スルコトヲ得

一 補償金ヲ受クヘキ者カ其受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキ

二 起業者カ過失ナクシテ補償金ヲ受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルトキ

三 起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡スヘシ

四 起業者カ補償金拂渡ノ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

第六十一條 土地所有者及關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スヘシ

シ但シ左ニ掲ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノトス

一 土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサルトキ

二 起業者ノ過失ナクシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ

第六十二條 起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ノ拂渡シ又ハ供託ヲ爲サ、ルトキハ收用審査會ノ裁決ハ其効力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十三條 土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其權利ハ使用ノ時期ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 收用審査會ノ裁決ノ後收用又ハ使用スヘキ土地物件カ土地所有者又ハ關係人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ據リテ滅失者ハ毀損シタルトキハ其滅失又ハ毀損ハ起業者ノ負擔ニ歸ス

第六十五條 先取特權質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ收用又ハ使用ニ據リテ債務者カ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第六十六條 收用ノ時期ヨリ二十箇年内ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ據リテ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相續人ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受クルコトヲ得但第五十條ノ規定ニ依リテ收用シタル殘地ハ其ノ接續部分ノ不用ニ歸シタルトキニ非サレハ之ヲ買受ルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其効力ヲ有ス

第一項ノ期間内ニ於テ收用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ニ供ス

ルトキハ不用ニ歸シタルモノト看做ス

第六十七條 前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相續人ニ通知スヘシ但シ起業者ノ過失ナクシテ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ少クトモ三回ノ公告ヲ爲スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月内又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月内ニ舊所有者又ハ其ノ相續人カ買受ケノ通知ヲ爲サ、ルトキハ其ノ權利ヲ失フ

第八章 費用ノ負擔

第六十八條 起業者土地所有者及關係人カ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲メニ要シタル費用ハ各其負擔トス

第六十九條 收用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタルモノヲ除クノ外府縣ノ負擔トス第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同シ

第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ收用審査會ニ要シタル費用ハ之ヲ起業者土地所有者及關係人ニ負擔セシムルコトヲ得ス

第七十條 第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ自ラ執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔トス

府縣ハ前項ノ費用ヲ各其義務者ヨリ徵收スルコトヲ得但シ其ノ義務者ノ受領スヘキ補償金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第七十一條 土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合ニ於テハ市町村ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九章 監督強制及罰則

第七十二條 收用審査會カ其權限ヲ超ヘ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル裁決ハ内務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 義務者カ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

義務者カ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制スルコトヲ得

第七十四條 前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキハ行政廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項費用ニ付ハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取持權ヲ有ス

第七十五條 收用審査會員人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其賄賂ヲ贈與シ又ハ贈與スルコトヲ約シタル者亦同シ

第七十六條 第十一條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ障害物ヲ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ立入りタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者ハ詐僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐僞ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第八十條 鑑定人又ハ第四十三條第二項又ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者故ナク出頭セサルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十章 訴訟及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務大臣ヘ訴願スルコトヲ得
收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス
本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル事項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第八十二條 收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス
第八十三條 本法ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

附 則

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト見做ス
明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現

ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス
第八十六條 收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テハ地方長官之ヲ行フ
郡長ノ爲スヘキ職務ハ支廳長又ハ島司ヲ置キタル地ニ於テハ支廳長又ハ島司之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ヲ置カサル地ニ於テハ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

市長ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テ區長ヲ置キタル地ニ於テハ區長之ヲ行フ町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ町村長ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ郡長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其他別段ノ定アルモノハ各其定ムル所ニ依ル

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス

○土地收用法施行令

○勅令第九十九號 明治三十三年三月

土地收用法施行令

第一條 土地收用法第十條第三項及第十一條第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長之ヲ行フ
第二條 土地收用法第九條第十一條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ起業者ノ爲土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ハ其ノ證票ヲ携帶スヘシ
日出前日沒後邸内ニ立入ル者又ハ障害物ヲ除却スル者ハ行政廳ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ掲ケタル土地アルトキハ其土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添付スヘシ

一 御陵墓地及御料地

二 國有地

三 現ニ公用ニ供スル土地

四 社寺境内地

五 名所舊蹟及古墳墓

第四條 土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第五條 内閣ノ認定ノ公告ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ據リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第六條 土地收用法第二十一條ノ規定ニ依リ調書ヲ作りタル者ハ之ニ署名又ハ捺印スヘシ

第七條 土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ縦覽期間ノ始期ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事計畫書及圖面ヲ添ヘ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ出願スヘシ

一 工事ノ種類

二 收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目

三 其必要ヲ生セシメタル事業トノ關係

本條ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用ス

第九條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘタルトキハ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ト共ニ起業者及工事ノ種類ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十條 土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十一條 收用審査會會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス

第十二條 收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額及其ノ支給方法ハ内國旅費規則ノ定ムル所ニ依ル

高等文官ニ非サル委員ノ旅費額其支給方法ハ府縣制第九十四條ノ規定ニ從ヒ定ムル所ニ依ル

第十三條 鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ左ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

一 瀛車賃一哩ニ付三錢以上六錢以下

二 船賃一海里ニ付三錢以上六錢以下

三 車馬賃一里ニ付十錢以上三十錢以下

通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

第十四條 鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日金一圓乃至五圓ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

第十五條 土地收用法第五十九條ノ規定ニ依リ地方長官カ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ前二條ノ旅費額及手當ハ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 土地收用法第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ但シ物件ノ附加増置ニ關シテハ之ヲ郡市長ニ委任スルコトヲ得

第十七條 土地收用法第六十七條ノ規定ニ依ル公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十八條 土地收用法第七十四條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ同法第七十一條ノ場合ニ於テハ市町村長之ヲ行ヒ其ノ他ノ場合ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○收用スヘキ土地ノ細目ヲ示サ、ル場合ニ於ケル公告方ノ件

○内務省訓令第四十二號 明治二十二年十二月九日

内閣ニ於テ土地收用法ニヨリ起業スル工事ヲ認定シ官報ヲ以テ起業地ヲ公告スルニ方リ收用スヘキ土地ノ細目ヲ示サ、ルモノハ各其管内ニ係ル郡市町村名又字番號地目ヲ公告スヘシ

○工事免許後ト雖モ收用ノ公告ヲ要スル件

○内務省訓令第八〇三號 明治二十八年十一月十四日

鐵道其他ノ事業ニシテ起工ノ免許ヲ得タルモノト雖トモ土地收用ヲ要スルモノハ土地收用法ニ據リ更ニ内閣ノ認定ヲ請ヒ同法第四條及廿二年十二月訓令第四十二號ノ公告ヲ經ルニアラサレハ收用スルヲ得サル儀ト心得ヘシ

○收用シタル土地貸付方ノ件

○勅令第十五號 明治三十年二月十七日

國ノ起業ニ係ル工事ニ要スル土地ニシテ買収又ハ收用ノ後未タ其ノ土地ニ工事ヲ施行セサルモノハ其ノ施行ニ至ル迄隨意契約ヲ以テ之ヲ其ノ舊所有者ニ貸付スルコトヲ得

○土地收用法ニ依リ事業ノ準備上立入認可出願手續ノ件

○北海道廳告示第三百三十二號 明治三十一年六月十一日

明治二十二年法律第十九號土地收用法第七條ニ依リ土地立入ノ認可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記シ出願スヘシ

- 一 起業者ノ住所、居所、氏名
- 二 工事ノ種類及設計ノ要領
- 三 立入ヲ要スル國郡區町村字名
- 四 地圖(舊線路並ニ新設見込線及國郡區町村字名ノ區域並ニ近傍ノ景況ヲ記入スルヲ要ス)
- 五 立入ヲ要スル期限

○土地收用法第六條ニ基キ發スル命令ノ件

○勅令第百號 明治三十三年三月

第一條 本令ハ土地收用法又ハ土地收用法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテ之ヲ適用ス

第二條 期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ即時ヨリ之ヲ起算ス

第三條 期間ヲ定ムルニ日週月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第四條 期間ノ末日カ大祭日曜日ニ當ルトキハ期間ハ其翌日ヲ以テ滿了ス但シ行政廳ニ對スル期間ハ其ノ末日カ行政廳ノ休日ニ當ルトキハ其ノ休日ノ終了シタル翌日ヲ以テ滿了ス

第五條 期間ヲ定ムルニ週月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス

週月又ハ年ノ始メヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ週月ハ年ニ於テ其起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但シ月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其月ノ末日ヲ以テ滿了トス

第六條 土地收用法第十八條第二十五條及第三十四條ノ期間ハ郵便ニ依リ書類ヲ差出シタル場合ニ於テハ其遞送ニ要スル日時ヲ算入セス

第七條 通知ハ書面ヲ以テ爲スヘシ但シ内務大臣カ定メタル場合ニ於テ口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 書類ノ送達ニシテ送達者自ラ送達セサル場合ニ於テハ使丁又ハ書留郵便ニ依ルコトヲ得

第九條 數人カ一人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其代理人ニ爲スヘキ送達ハ一通ノ書類ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

一人カ數人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其代理人ニ爲スヘキ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 委任ニ因ル代理人アル場合ニ於テモ其ノ委任者ニ爲シタル送達ハ其効力ヲ妨ケス

第十一條 無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲スヘシ但シ委任ニ因ル代理人アルトキハ此ノ限リニ在ラス

法人ハ又ハ組合ニ對スル送達ハ其ノ代表者又ハ業務執行者ニ之ヲ爲スヘシ
前項ノ代表者又ハ業務執行者數人アル場合ニ於テハ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得
組合ニシテ業務執行者ヲ定メサル場合ニ於テハ送達ハ其ノ組合員ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條 現役及召集中ノ豫備後備ノ軍籍ニ在ル下士以下ノ軍人ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長官又ハ隊長ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十三條 在監人ニ對スル送達ハ其ノ監獄ノ首長ニ之ヲ爲スヘシ

第十四條 送達ハ送達ヲ受クヘキ人ノ現所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ送達ヲ受クヘキ人カ其地ニ於テ住所居所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ於テ其ノ受領ヲ拒ミタルトキハ之ヲ適用セス

第十五條 送達ヲ受クヘキ人其ノ住所居所又ハ事務所ニ在ラサルトキハ其送達ハ現場ニ在ル成年ノ同居者又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十一條第二項ノ場合ニ於テ代表者又ハ業務執行者事務所ニ在ラサルトキハ送達ハ現場ニ在ル他ノ役員又ハ成年ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ送達ハ交付スヘキ書類ヲ其ノ地ノ市町村長ニ預ケ送達ノ告知書ヲ作り之ヲ住所又ハ居所ノ門戸ニ貼付シ且近隣ニ住居スル者二人以上ニ口頭ヲ以テ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 法令上ノ理由ナクシテ送達書類ヲ受領セス又ハ受領スルコト能ハサルトキハ其書類ヲ送達ノ場所ニ差置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送達人ハ其調書ヲ作ルヘシ

第十七條 書類ノ送達ヲ受領シタル者ハ其場所及年月日時ヲ記載セル受領證ヲ交付スヘシ

前項ノ受領證ヲ交付セス又ハ交付スルコト能ハサルトキ又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲シタルトキハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十八條 送達ヲ受クヘキ者ノ住所居所又ハ事務所不明ナルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地所在ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ前項ノ場合ニ於テ公告ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタルトキハ送達ヲ

爲シタルモノト看做ス

第十九條 書類ノ送達ニ關スル規定ハ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用ス

第二十條 訴願及訴訟提起期間ノ計算法ハ訴願法行政裁判法及民事訴訟法ノ規定ヲ適用ス

第二十一條 書留郵便ニ依リテ爲ス送達ニ付テハ郵便ニ關スル法令ノ規定ヲ適用ス

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第四十六條ニ依ル合同審査會ニ關スル件

○勅令第百一號 明治三十三年三月

第一條 合同收用審査會ヲ開カムトスルトキハ關係地方長官協議ヲ爲シ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

協議調ハサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第二條 合同收用審査會長ハ開會地ノ地方長官ヲ以テ之ニ充テ其ノ委員ハ關係府縣收用審査會委員

ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 土地收用法第二十六條乃至第二十九條ニ規定シタル地方長官ノ職權ハ合同收用審査會ヲ開

キタル場合ニ於テハ開會地ノ地方長官之ヲ行フ

第四條 合同收用審査會ノ費用ニシテ府縣ノ負擔スヘキモノ、中等文官ニ非サル委員ノ旅費ハ其

所屬府縣ノ負擔トシ其他ハ關係府縣ノ分擔トス

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第八十五條第三項ニ基キ發スル命令ノ件

○勅令第百三號 明治三十三年三月

明治八年太政官達第百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ引續キ國有ニ屬スル土地ニ付テハ左

ノ各號ノ一ニ該當スル土地ヲ除クノ外土地收用法第八十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

一 公用土地買上規則第四則但書又ハ第八則ノ規定ニ依ラヌシテ買上ケタル土地

二 府縣郡市町村其他ノ公共團體ニ於テ土地收用法施行ノ際現ニ修理保存費ヲ負擔スル土地

三 明治三十二年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取

得ヌルコトヲ得ヘキ土地

四 土地收入法施行前不用ニ歸シタル土地

五 土地收入法施行前第三者ニ讓渡スヘキ契約ヲ爲シタル土地

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第六十九條ニ依リ發スル命令ノ件

○勅令第百二號 明治三十三年三月

第一條 收用審査會ノ費用中左ニ掲ケタル者ハ起業者ノ負擔トス、

一 鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當

二 裁決書謄本ノ調製費

三 郵便及電信料

四 傭人料

五 其ノ他内務大臣ノ指定シタルモノ

第二條 收用審査會ノ費用中收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨ス

第三條 土地收用法第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法ニ關シ稟伺又ハ報告ノ件

明治四十年五月訓令 第九號ヲ以テ改正 大正元年十一月訓令 第二四號ヲ以テ改正

○内務省訓令第九號 明治三十三年六月

北海道廳 府 縣

第一條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與フル場合ニ於テ其起業地内ニ土地收用法施行令第三條ニ掲ケタル土地アルトキハ本大臣ニ稟伺ノ上處分スヘシ

○土地收用法施行手續方ノ件

○土木局長通牒 明治三十三年六月八日 土 甲 第二八號

土地收用法ニ關シ別紙甲號ノ通神奈川縣知事ヨリ照會有之乙號ノ通回答候ニ付爲念此段及通牒候也 (別 紙)

神奈川縣知事照會 明治三十三年四月二十六日 往 内 第一〇八一號 (甲號)

本年三月六日法律第二十九號ヲ以テ土地收用法公布相成候處同法第三十四條ニ起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求メサルトキハ其公用又ハ通知ハ効力ヲ失フト有之又第八十五條ニ明治二十二年法律第十九號土地收用法ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做スト有之候然ルニ二十二年

法律第十九號土地收用法ニハ本法第三十四條ノ如キ收用審査會ノ裁決ヲ求ムル期間ノ規定無之ニ付本法施行一箇年以前既ニ内閣ノ認定ヲ得テ當廳ニ於テ土地ノ細目ヲ公告シタル事業ニ關シ起業者ト土地所有者ト協議未タ調ハヌ又起業者ヨリ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルニ至ラサルモノハ今更本法ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ求ムル能ハサルモノ、如ク相見候果シテ然ラハ右様ノ場合ニ於テハ更ニ土地收用ノ手續ヲ履行シ内閣ノ認定ヲ要スヘキ義ニ有之候哉疑義相生候條何分ノ御回報相成度此段及御照會候也

土木局長回答 明治三十三年六月八日 土 甲 第二八號 (乙號)

土木收用法ニ關シ四月二十六日往内第一〇八一號ヲ以テ御照會相成候處右ハ本法施行一箇年前土地ノ細目ヲ公告セラレタルモノハ其公告ハ無効ニ歸シタルモノト存候尤内閣ノ認定後三箇年ヲ經過セルモノハ起業者ハ更ニ第十九條ノ申請ヲ爲スヲ得ル義ト存候經伺ノ上此段及回答候也

○土地收用審査會裁決上注意ノ件

○土木局長通牒 明治三十四年五月十日 土 甲 第二二號

土地收用法第三十五條ノ規定ニ依レハ收用審査會ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域損失ノ補償及收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間ノ三事項ヲ定メテ裁決ヲ爲スヘキモノニ有之從テ同事項中假令當事者間何等係争ノ點ナキ事項有之候トモ必ス右三事項ヲ定メテ裁決ヲ爲スヘキハ勿論ニシテ萬一其一ヲ脱漏スルトキハ明カニ同條ノ法文ニ違反スルモノト相成候條收用審査會ノ裁決ニハ同事項中脱漏無之様御注意相成度此段依命及通牒候也

○土地收用ノ場合關係部會議ノ件

○本廳決議 大正二年 二月十日

本道ニ於ケル土地收用審査會ノ職務ハ長官之ヲ行ハル、コトニ相成居候處起業者北海道廳ナル場合ニ於テ其土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者又ハ關係者ニ協議ヲナスニ際シ其價格ノ査定ハ各關係部限リ之ヲナシ價格ニ關シ土地所有者ト協議整ハサルニ及ンテ收用審査會ノ裁決ヲ請求スヘキコト、相成居候處此場合ニ於テ當部ハ相當ナル基礎ノ下ニ其價格ノ評定ヲナスヲ以テ前協議ノ際ノ價格ト審査會ノ裁決セル價格トノ間ニ多大ノ軒輊ヲ生スルコト往々有之候處假令其資格ニ於テ差異アリトハ云ヒ等シク長官ノ評定ニシテ前後如斯相違ヲ來スハ妥當ナラスト被存候ニ付爾今各部ニ於テ土地收用法第二十二條ニ依リ土地所有者又ハ關係者ニ協議ヲナス以前豫メ其價格ニ付當部ニ協議ヲ遂タルコトトセハ右ノ如キ不都合ヲ避クルコトヲ得ヘク被認候間今後ハ右様取扱フコトニ致度此段仰高裁候也

○土地收用法ニ依リ起業者ヨリ事業認定ノ申請ヲ爲シタル場合ニ關スル件

○内務省訓令第十四號 明治三十五年 七月

明治三十三年法律第二十九號土地收用法第十三條ニ依リ起業者ヨリ事業認定ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ其事業施行ノ爲メ御料地及國有林野ニ潰地ヲ要スルモノアルトキハ御料局支廳若クハ御料局事務所所管ノ御料地ニ付テハ當該支廳長若クハ事務所長ニ其他ノ御料地ニ付テハ御料局長ニ又國有林野ニ付テハ大林區署長ニ其支障ノ有無ニ付協議ヲ遂ケ事業認定申請書進達ノ際該協議ノ顛末ヲ具申スヘシ

○土地收用法第十五條第一項第二項ニ依リ認可又ハ通知ヲ受ケタルトキ報告ノ件

○北海道廳訓令第九十六號 明治三十五年 八月六日

左ニ掲ケタル事項ニ付テハ其都度當廳ヲ經テ内務大臣ニ報告スヘシ

支廳 區 役 所

一、土地收用法第十五條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲シタルトキハ起業者事業ノ種類使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間

○鑑定人事實參考人旅費及手當支給規定

○北海道廳令第一百號 明治三十五年 八月九日

鑑定人事實參考人旅費及手當支給規定

第一條 鑑定人事實參考人旅費及手當ハ別表ニ依ル

鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若クハ費用ヲ要スルトキハ前項手當ノ外相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

第二條 旅費ハ鑑定人事實參考人ノ住所ヨリ要務地迄ノ旅行ハ往復共其順路ニ依リ車馬賃氣車賃若クハ船賃ヲ給ス

第三條 手當ハ職務ニ要シタル日數ニ應シ之ヲ支給ス

別表 鑑定人事實參考人旅費及手當額

職名	車馬賃	氣車賃	船賃	手當
鑑定人	一里	一哩	一哩	一日
事實參考人	金十五錢	金四錢	金四錢	金一圓五十錢

○收用審査會ヲ被告トシテ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シタル場
合ニ於ケル辨明書又ハ答辯書提出方ノ件

○内務省土木局長ヨリ通牒 明治四十一年六月二十七日
内務省土甲第三二號

土地收用法第八十一條ニ依リ收用審査會ヲ被告トシテ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シタル場合ニ於ケル
辨明書又ハ答辯書提出方ニ付大阪府知事ヨリ問合有之候處右辨明書又ハ答辯書ハ收用審査會ノ議決
ヲ經テ提出スルヲ當然ノ順序ト被認候間本官ヨリ回答致置候條爲御參考此段及通牒候也

○土地收用法第九條ノ通知ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 大正二年一月十六日
拓殖第二三五號

土地收用法第九條ノ通知ハ鐵道管理局長其他部下ノ官吏ニ取扱ハシムルモ差支無之旨鐵道院ヘ回答
相成タル趣内務省土木局長ヨリ通牒有之候ニ付此段爲念通牒候也

第十八類

○土地臺帳

○土地臺帳規則 (明治三十七年四月
勅令第三百七號ヲ以テ改正)

○勅令第三十九號 明治二十二年
三月

土地臺帳規則

- 第一條 土地臺帳ハ地租ニ關スル事項ヲ登錄ス
- 第二條 市ノ土地臺帳ハ府縣廳ニ於テ町村ノ土地臺帳ハ島廳郡役所ニ於テ之ヲ設ケ其事務ヲ取扱フ
ハシ
- 第三條 登記所ニ於テ土地所有ノ移轉及質入ノ登記ヲ爲シタルトキハ土地臺帳所管廳ニ通知スヘシ
- 第四條 土地臺帳ノ謄本ヲ要スル者ハ土地一筆ニ付金五錢ノ割合ヲ以テ手数料ヲ納ムヘシ
- 第五條 地券ニ記載ノ事項異動ヲ生セサルモノハ其地券ヲ以テ前條ノ謄本ト見做スコトヲ得
- 第六條 本規則ニ關スル細則ハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第七條 市制ノ施行ニ至ラサル土地ニ於テハ區ニ屬スル土地臺帳ハ區役所ニ於テ其取扱ヲ爲スヘシ

○土地臺帳規則施行細則

明治三十三年一月省令第二號、三十四年十一月省令第二十四號
同年七月省令第二十七號、三十七年四月省令第八號、三十八年三月省令
六月省令第十號、三十七年四月省令第八號、三十八年三月省令
第十二號、三十九年五月省令第二十號ヲ以テ改正

○大藏省令第六號

明治二十二年
四月

土地臺帳規則施行細則

第一條 土地臺帳ハ市町村ニ區別シ土地ノ字番號地目段別等級地價及所有者質取主又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル土地ノ地上權者ノ住所氏名ヲ登録スヘシ

第二條 土地臺帳記載ノ所有者質取主又ハ地上權者ノ住所氏名ニ異動ヲ生スルトキハ其時々之ヲ届出ツヘシ

第三條 土地臺帳ノ謄本ヲ請求セントスルモノハ其請求書ニ手数料ヲ添ヘ市ハ府縣廳町村ハ島廳郡役所ニ申出ツヘシ

第四條 土地臺帳ノ謄本ヲ請求シタルトキハ左ノ雛形ノ如ク記載シ之ヲ下付スヘシ

土地臺帳謄本

年 月 日	郡 市 町 村	大 字	字	地 番	地 目	段 別 又 坪 數	地 價	事 故	所 有 者 住 氏 名

何 稅 務 署 印

同一人ニシテ二筆以上ノ謄本ヲ請求シタルトキハ同一用紙ニ連記スルコトヲ得但シ請求者ニ於テ每筆各別ノ謄本ヲ請求シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 土地所有者ノ移轉又ハ質權及地上權ノ設定移轉消滅若ハ地上權ノ變更ハ登記所ヨリ通知アルニ非サレハ之ヲ登録セス但シ國有地御料地ノ拂下讓與下渡ニ因リ又ハ未登記土地ノ收用ニ因リ所有權ノ移轉シタル場合及未登記土地ノ國有ト爲リ又ハ河川法ニ依リ河川ノ敷地ト爲リタル場合ハ此ノ限リニ在ラス

相續ノ場合ニ於テ相續人カ未登記所有權ノ保存登記ヲ爲シタルトキハ保存登記ニ關スル登記所ノ通知ニ依リ所有權ノ移轉ヲ登録ス

○地券臺帳ヲ以テ土地臺帳ニ充用ノ件

○大藏省訓令第十一號 明治二十二年 三月 月

勅令第三十九號土地臺帳ハ從前ノ地券臺帳ヲ整理修補シ之ニ充ツヘシ

府縣廳備置ノ町村地圖ハ自今島廳郡役所ニ管理セシムヘシ

○土地臺帳規則第二條ニ依ル通知期限ノ件

○司法省民事局民第九五五號 明治二十二年 五月

本年三月勅令第三十九條土地臺帳規則第三條ノ通知ヲ爲スヘキ期限ニ付今般本省令第三號ヲ以テ相達セラレ候處其但書ニ地租每納期終盡ノ前十日以内云々トアリテ依テ地目ノ區別ニ從ヒ左ノ時限内ニ在リテハ登記ノ都度通知ヲ爲スヘキ儀ニ有之候條此段爲念及通牒候也

田 圃 田	ニ 付 テ ハ	其月二十五日迄
		三月三十一日迄
		四月十日迄
		其月二十日迄
		十二月十五日迄
		其月十五日迄
		一月三十一日迄
		其月三十一日迄
		七月三十一日迄
		其月三十一日迄

市街宅地ニ付テハ

畑郡村宅地鑛泉地(八月二十日ヨリ)
山林原野池沼雜種(其月三十一日迄)
地(其月三十一日迄)

○國有地拂下ノ場合所有權移轉登記ヲ爲ササル土地ハ臺帳謄本下付セサル件

○第五部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十九年六月十九日 五地第一七一八號
本年五月大藏省令第二十號ヲ以テ土地臺帳規則施行細則改正セラレ別紙寫ノ通り大藏省ヨリ内務省へ協議有之候趣ヲ以テ今般内務大臣官房地理課長ヨリ通牒有之候ニ付右ニ了知相成度此段及通牒候也

(別紙)

○内務省藏甲第三〇九號
本年五月大藏省令第二十號ヲ以テ土地臺帳規則施行細則改正セラレ候ニ付同省ヨリ別紙ノ通り申越候間爲念及通牒候也
明治三十九年六月五日

北海道廳長官男爵園田安賢殿
内務大臣官房地理課長 大 谷 靖

○往第六〇〇八號
今般土地臺帳規則施行細則ヲ改正セラレ國有地御料地ノ民有トナリ又ハ未登記民有地ノ國有トナル場合等ニ於テハ當該官廳ノ通知ニ基キ直チニ土地臺帳ニ登錄スルコトニ相成候ニ付テハ右通知ノ儀ハ從來ニ比シ一層必要ヲ感シ候條御管下官廳ニ可然御示達相成候様致度又國有地御料地ノ拂

下等ノ場合ニ於テ所有權移轉(拂下讓與下渡ニ因ル)ノ登記ヲ爲サ、ル土地ニ對シテハ土地臺帳ノ謄本ヲ下付セサルニ依リ拂下等ヲ爲ストキハ先以テ保存登記ヲ爲スニ非ラサレハ登記ヲ受クルコト能ハサル次第ニ有之候ニ付此義ヲモ併セテ御注意相成度此段及御協議候也
明治三十九年五月廿三日
内務次官吉原三郎殿
大藏次官 若 槻 禮 次 郎

○登記

○不動産登記法

(明治三十八年三月法律第三十九號、明治四十四年三月法律第十二號、大正二年四月法律第十八號ヲ以テ改正)

○法律第二十四號 明治三十八年 二月

不動産登記法

第一章 總 則

第一條 登記ハ左ニ掲ケタル不動産ニ關スル權利ノ設定、保存、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付キ之ヲ爲ス

- 一 所有權
- 二 地上權
- 三 永小作權
- 四 地役權
- 五 先取特權
- 六 質 權

七 抵當權
八 質借權

第二條 假登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 登記ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セザルトキ
- 二 前條ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ
- 右ノ請求權カ始期附又ハ停止條件附ナルトキ其他將來ニ於テ確定スヘキモノナルトキ亦同シ
- 第三條 豫告登記ハ登記原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登記ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲ス但登記原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條 詐欺又ハ強迫ニ因リテ登記ノ申請ヲ妨ケタル第三者ハ登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第五條 他人ノ爲メ登記ヲ申請スル義務アル者ハ其登記ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但其登記ノ原因カ自己ノ登記ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六條 同一ノ不動産ニ關シテ登記シタル權利ノ順位ニ付キ法律ニ別段ノ定ナキトキハ其順位ハ登記ノ前後ニ依ル

登記ノ前後ハ登記用紙中同區ニ爲シタル登記ニ付テハ順位番號ニ依リ別區ニ爲シタル登記ニ付テハ受付番號ニ依ル

第七條 附記登記ノ順位ハ主登記ノ順位ニ依ル但附記登記間ノ順位ハ其前後ニ依ル假登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ本登記ノ順位ハ假登記ノ順位ニ依ル

第二章 登記所及登記官吏

第八條 登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第九條 町村其他登記簿ヲ分設シタル區畫カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其區畫ニ關スル登記簿及ヒ其附屬書類ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス

一箇又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記所ノ管轄ヨリ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スルコトヲ要ス但登記簿ノ謄本ニハ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シ其不動産ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セザルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

第十一條 登記所ハ土地ニ付左ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ土地臺帳所管應ニ通知スルコトヲ要ス

- 一 所有權ノ保存若クハ移轉
- 二 質權ノ設定及ヒ存續期間、存續期間ノ變更移轉若クハ消滅
- 三 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ設定移轉若クハ消滅又ハ百年ヨリ長キ存續期間ヲ百年以下ニ變更シ若クハ百年以下ノ存續期間ヲ百年ヨリ長キ期間ニ變更シ又ハ存續期間ノ定メナキ地上權ニ百年ヨリ長キ期間ヲ定メ若クハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定メアル地上權ヲ存續期間ノ定メナキモノト爲シタルコト(明治三十八年三月法律第三十九號ヲ以テ第十一條第一項改正)
- 四 所有權、質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ登記名義人ノ表示ノ變更

ケタル成年者ニシテ且登記官吏ノ妻又ハ四親等内ノ親族ニ非サル者二人以上ノ立會アルニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス但親族ニ付テハ親族關係カ止ミタル後亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ調書ヲ作り立會人ト共ニ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

第三章 登記ニ關スル帳簿

第十四條 登記簿ハ土地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス

各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト爲ス但登記事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得

第十五條 登記簿ハ一筆ノ土地又ハ一棟ノ建物ニ付キ一用紙ヲ備フ

同一ノ登記所ノ管轄ニ屬スル不動産カ登記簿ヲ分設シタル數箇ノ區畫ニ跨カルトキハ其一箇ノ區畫ノ登記簿ニノミ其不動産ニ關スル用紙ヲ備フ

第十六條 土地登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙ノ二區ニ分テ尙ホ表題部ニ表示欄表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各土地又ハ各建物ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ土地又ハ建物ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ所有權以外ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十七條 削 除

第十八條 登記簿ニハ地方裁判所所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 土地登記簿及ヒ建物登記簿ニ付キ各其見出帳ヲ設ク

第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

第二十一條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又利害ノ關係アル部分ニ限り登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條ノ二 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ作成スルコトヲ得

記所ハ其書面ヲ用ヒテ謄本又ハ抄本ヲ作成スルコトヲ得

第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三ヶ月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

第二十四條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四章 登記手續

第一節 通 則

第二十五條 登記ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請又ハ官廳若クハ公署ノ囑託アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス
囑託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十六條 登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條 判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條ノ二 滯納處分ニ因ル差押ノ登記ヲ囑託スル場合ニ於テ必要アルトキハ官廳又ハ公署ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ不動産ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル權利移轉ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第二十八條ノ三 第四十六條ノ二第五十條第三項第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十九條 官廳又ハ公署ノ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ其官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十條 官有不動産又ハ府、縣、郡、市、町村若クハ區ノ所有ニ係ル不動産ニ關スル權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳若クハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十一條 官廳又ハ公署カ不動産ニ關スル權利ヲ取得シタルトキハ其權利ニ付キ爲スヘキ登記ハ其官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面及ヒ登記義務者ノ承諾書ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

又ハ公署カ登記權利者ナルトキハ職權ヲ以テ、登記義務者ナルトキハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス但官廳又ハ公署カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ消滅ノ登記ハ登記權利者ノ請求ニ因リ官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク囑託書ニ登記原因ヲ證スル書面ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十二條 假登記ハ次條ノ場合ヲ除ク外假登記權利者ノ申請ニ因リ其目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滞ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ假處分命令ハ假登記權利者カ假登記原因ヲ疏明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添付シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得

第三十四條 豫告登記ハ第三條ニ掲ケタル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滞ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添付シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三十五條 登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

- 一 申請書
 - 二 登記原因ヲ證スル書面
 - 三 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證
 - 四 登記原因ニ付キ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
 - 五 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面
- 登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ前項第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス
- 第三十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス
- 一 不動産所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號
 - 二 地目及ヒ段別又ハ坪數
 - 三 申請人ノ氏名住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所
 - 四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名、住所
 - 五 登記原因及ヒ其日附
 - 六 登記ノ目的
 - 七 登記所ノ表示
 - 八 年月日
- 第三十七條 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス
- 前條第二條ニ掲ケタル事項ハ前項ノ申請書ニハ之ヲ記載スルコトヲ要セス

- 第三十八條 登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第三十九條 登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定アルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書副本ヲ提出スルコトヲ要ス
- 第四十一條 登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第四十二條 申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相續人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第四十三條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第四十四條 登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證カ滅失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人違ナキコトヲ保證シタル書面ニ通テ添付スルコトヲ要ス
- 第四十五條 申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメテ其書面ニ代フルコトヲ得
- 第四十六條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ナルトキニ限り同一ノ申請書ヲ以テ登記ヲ申請スルコトヲ得
- 第四十六條ノ二 債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債權者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ

申請書ニ債務者及ヒ債務者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載シ且代位原因ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受付番號ヲ記載スルコトヲ要ス但同一ノ不動産ニ關シテ同時ニ數個ノ申請アリタルトキハ同一ノ受付番號ヲ記載スルコトヲ要ス
申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ之ヲ申請人ニ交付スルコトヲ要ス

第四十八條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 登記官吏ハ左ノ場合ニ限リ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此限ニ在ラス

- 一 事件カ其登記所ノ管轄ニ屬セサルトキ
- 二 事件カ登記スヘキモノニ非サルトキ
- 三 當事者カ出頭セサルトキ
- 四 申請書カ方式ニ適合セサルトキ
- 五 申請書ニ掲ケタル不動産又ハ登記ノ目的タル權利ノ表示カ登記簿ト抵觸スルトキ
- 六 第四十二條ニ掲ケタル書面ヲ提出シタル場合ヲ除外申請書ニ掲ケタル登記義務者ノ表示カ登記簿ト符合セサルトキ
- 七 申請書ニ掲ケタル事項カ登記原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ
- 八 申請書ニ必要ナル書面又ハ圖面ヲ添附セサルトキ

九 登録税ヲ納付セサルトキ

第五十條 表示欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ不動産ノ表示ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

事項欄ニ登記ヲ爲スニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的其他申請書ニ掲ケタル事項ニシテ登記スヘキ權利ニ關スルモノヲ記載シテ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第四十六條 ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲スニハ前項ノ規定ニ依ルノ外事項欄ニ債權者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十一條 登記權利者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及他ノ人員ヲ登記用紙ニ記載シ其氏名、住所ヲ共同人名簿ニ記載スルコトヲ得登記義務者ノ氏名、住所ヲ登記用紙ニ記載スルコトヲ要スル場合ニ於テ登記義務者カ多數ナルトキ亦同シ

第五十二條 表示欄ニ登記ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十三條 附記ニ依ル登記ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登記ノ番號ヲ用キ其番號ノ左側ニ附記何號ト記載スルコトヲ要ス

第五十四條 假登記ハ登記用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲シ其左側ニ餘白ヲ存スルコトヲ要ス

第五十五條 假登記ヲ爲シタル後本登記ノ申請アリタルトキハ假登記ノ左側ノ餘白ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條 權利ノ變更ノ登記ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付シタルトキニ限り附記ニ依リテ其登記

ヲ爲ス

第五十七條 權利ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ變更シタル登記事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第五十八條 登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第五十九條 行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行政區畫又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス字又ハ其名稱ノ變更アリタルトキモ亦同シ

第六十條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ登記番號申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號及ヒ登記濟ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記權利者ニ還付スルコトヲ要ス

申請書ニ添附シタル登記濟證又ハ第四十四條ニ掲ケタル書面ノ一通ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登記義務者ニ還付スルコトヲ要ス但登記名義人ノ多數ナル場合ニ於テ其一部カ登記義務者ナルトキハ登記義務者ノ氏名、住所ヲモ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十條ノ二 第四十六條ノ二ノ場合ニ於テ登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ前條第一項ニ掲ケタル書類ヲ債權者ニ還付シ且登記濟ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス

第六十一條 第四十四條ノ場合ニ於テ登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ登記義務者又ハ其一人ニ通知スルコトヲ要ス

第六十二條 官廳又ハ公署カ登記權利者ノ爲メニ登記ヲ囑託シタル場合ニ於テ登記所ヨリ登記濟證ノ還付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第六十三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其人ニ通知スルヲ以テ足ル

第六十三條ノ二 前條ノ場合ニ於テ登記ノ錯誤又ハ遺漏カ登記官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ク外登記官吏ハ遲滞ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲シ其旨ヲ登記權利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス

前條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ三 前二條ノ通知ハ第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條 第五十六條及ヒ第五十七條ノ規定ハ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 抹消シタル登記ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾證又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第六十六條 登記回復ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ回復スルトキハ回復ノ登記ヲ爲シタル後更ニ抹消ニ係ル登記ト同一ノ登記ヲ爲シ若シ或登記事項ノミカ抹消ニ係ルトキハ附記ニ依リ更ニ其事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十七條 第九條第二項ノ場合ニ於テ乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ相當登記區畫ノ登記簿ニ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記區畫ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第六十八條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於テ一箇又ハ數箇ノ不動産ノ所在地カ甲登記區畫ヨリ乙登記區畫ニ轉屬シタルトキハ登記所ハ乙登記區畫ノ登記簿ニ其不動産ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス
前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第六十九條 第二十三條ノ場合ニ於テハ登記權利者ノミニテ登記ノ回復ヲ申請スルコトヲ得

第七十條 前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ前登記ノ順位番號、申請書受付ノ年月日、受附番號ヲ記載シ前登記ノ登記濟證ヲ添付スルコトヲ要ス

第七十一條 第六十九條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ相當區順位番號欄ニ前登記ノ番號ヲ記載シ事項欄ニ前登記ノ申請書受付ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス

七十二條 第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間中新登記ノ申請アリタルトキハ假設登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記濟證ニ假設登記簿ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十三條 假設登記簿ニ爲シタル登記ハ第二十三條ノ規定ニ依リテ定メタル期間滿了ノ後遲滯ナク之ヲ登記簿ニ移スコトヲ要ス

此場合ニ於テハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ假設登記簿ニ於ケル登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十七條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ其不動産ニ關スル假設登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第七十四條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移ス場合ニ於テ回復シタル登記アルトキハ新登記ノ順位番號欄ニハ回復シタル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十五條 假設登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ當事者ニ對シ之ニ本登記濟證ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ回復シタル登記ト假設登記簿ヨリ移シタル登記ト抵觸スルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

當事者カ登記濟證ヲ申請スル場合ニ於テハ假設登記簿ニ於ケル登記ノ登記濟證ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ申請アリタルトキハ第六十條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條 登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號欄ニ前用紙ノ登記番號ヲ轉寫シ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號欄ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前用紙中表題部又ハ他ノ區ニ餘白アルトキハ表題部又ハ其區ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫明瞭ナルコトヲ要ス
金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用キルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印ス其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコト

ヲ要ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第七十八條 所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十九條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ増減シタル段別若クハ坪數並ニ現在ノ段別若クハ坪數又ハ新地目若クハ新番號ヲ記載シ且土地臺帳簿本ヲ添付スルコトヲ要ス

第八十一條 土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ減少又ハ地目ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第八十二條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ分筆ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲地ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十三條 前項第一項ノ場合ニ於テハ乙種ノ登記用紙中相當區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權其他ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ關スル登記中ニ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ乙地ト共ニ其權利ノ目的タル旨ヲ附記スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ乙地ニ關シ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第八十四條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ト爲シタル場合ニ於テ乙地ノミカ所有權以外ノ權利ノ目的タルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ寫シ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ甲地ノ登記用紙中所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ乙地ノ表示ヲ爲シ分割ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

申請書ニ所有權以外ノ權利ノ登記名義人カ其權利ノ消滅ヲ承諾シタルコトヲ證スル書面又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ其旨ヲ附記シ其登記ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十五條 甲地ヲ分割シテ其一部ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合併ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ其登記カ合併シタル部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其

權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ合併シタル部分ノミカ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十二條 第二項第八十三條第二項第三項及ヒ前條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條 甲地ヲ乙地ニ合併シタル場合ニ於テ合筆ノ登記ヲ爲ストキハ乙地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ甲地ノ表示、其番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第八十七條 前條ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其登記カ甲地タリシ部分ノミニ關スル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ甲地タリシ部分ノミカ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第八十三條 第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條 土地ノ段別又ハ坪數ノ増減ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ増減ノ原因ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第八十九條 地目又ハ土地ノ番號變更ノ登記ヲ爲ストキハ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十條 削除

第九十一條 建物ノ分合其番號若クハ構造ノ變更、其滅失、其建坪ノ増減又ハ附屬建物ノ新築アリタルトキハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス

建物ノ敷地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第九十二條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ分合シタル建坪、新番號若クハ新構造又ハ滅失、増減若クハ新築シタル建坪並ニ現在ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新番號ヲ記載シ且建物ノ分合構造ノ變更又ハ建坪ノ増減ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添付スルコトヲ要ス

第九十三條 建物ノ分合、構造ノ變更、其滅失又ハ其建坪ノ減少ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其建物ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ第八十一條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割又ハ區分ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲建物ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割又ハ區分ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但分割又ハ區分シタル附屬建物ノミニ關スル表示番號アルトキハ其番號ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第九十五條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ノ附屬建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ乙建物ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條 第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十三條ニ

第九十六條 第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十三條ニ

定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十七條 第八十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ第九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十五條第二項乃至第四項ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名、住所及ヒ合併ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條 甲建物ヲ乙建物又ハ其附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲スニ付テハ第八十六條及ヒ第八十七條ノ規定ヲ準用ス但甲建物ヲ乙建物ノ附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テハ乙建物ノ前ノ表示及番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第九十九條 第八十八條ノ規定ハ建物又ハ附屬建物ノ建坪ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス
附屬建物ノ新築ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ附屬建物ノ種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百條 第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更又ハ敷地ノ番號ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第八十八條及ヒ第八十九條ノ規定ハ建物ノ敷地ノ地目、字若クハ番號ノ變更又ハ段別若クハ坪數ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ二 行政區畫又ハ字ノ變更ニ伴ヒ土地ノ番號ノ變更アリタルトキハ土地臺帳所管廳ハ遲滯ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク登記用紙中表示欄ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
第一百一條 不動産ノ滅失ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ滅失ノ原因ヲ記載シ不動産ノ表示

表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ得

第一百二條 前條ノ場合ニ於テ滅失シタル不動産カ他ノ不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タリシトキハ他ノ不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ登記シタル不動産ノ表示ヲ爲シ滅失ノ原因及其不動産ノ滅失シタルコトヲ附記シ其不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨ヲ記載シタル登記中滅失シタル不動産ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

他ノ不動産ノ所在地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク前項ノ登記ヲ其登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス

第一百二條ノ二 既登記ノ不動産ヲ世傳御料ニ編入シタル場合ニ於テ其登記ノ抹消ノ囑託アリタルトキハ登記用紙中表示欄ニ世傳御料ニ編入シタル旨ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第一百二條ノ三 既登記ノ土地カ河川ノ敷地ト爲リタル場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滯ナク其登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得

第一項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ登記用紙中表示欄ニ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載シ土地ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ第一百二條ノ規定ヲ準用ス

第一百三條 土地ノ收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ補償金ノ受取證又ハ供託受領證ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ起業者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得
官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滞ナク前二項ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第三百三條ノ二 第四十六條ノ二 第五十條第三項第六十條ノ二及ヒ第六十三條ノ三ノ規定ハ第二百二條ノ三第二項及ヒ前條第二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三百三條ノ三 不動産ニ付キ遺留財産ノ設定又ハ増加ノ勅許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク遺留財産ノ設定登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百四條 不動産ヲ家族世襲財産ト爲スコトヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク世襲財産ノ創設ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百五條 未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登録セラレタルコトヲ證スル者
- 二 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
- 第三百六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得
 - 一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者
 - 二 土地臺帳謄本ニ因リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登録セラレタルコトヲ證スル者
 - 三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
 - 四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第四百七條 前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第五百五條第何號又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添付シ前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ添付スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又ハ第三十五條第二號乃至第四號ニ掲ケタル書面ヲ添付スルコトヲ要セス

第四百八條 未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百九條 第二百二十八條及ヒ第二百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動産所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第五百十條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ第五百五條又ハ第六六條ノ規定ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ要セス

第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第五百十一條 地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五百十二條 永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百零七十二條但書ノ定メアルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五百十三條 地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百零八十一條第一項但書、第二百零八十五條第一項但書又ハ第二百零八十六條ノ定メアルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百四條 地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ承役地タル不動産ノ表示ヲ爲シ其不動産カ地役權ノ目的タル旨、地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載スルコトヲ要ス

要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ承役地、要役地地役權設定ノ目的並ニ範圍及ヒ申請書受付ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百五條 先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第十六條 質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第十七條 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第十八條 先取特權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其權利ノ目的カ所有權以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコトヲ要ス

第二十條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十一條 官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ囑託書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添付シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滞ナク之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第二十二條 數個ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條ノ二 前條ノ場合ニ於テ不動産カ五箇以上ナルトキハ申請書ニ共同擔保目錄ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ目錄ニハ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第二十二條ノ三 一箇又ハ數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ債權ニ付キ他ノ一箇又ハ數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前ノ登記ヲ表示スルニ足ルヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十三條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百二十四條 第二百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百二十四條ノ二 申請書ニ共同擔保目錄ヲ添付シタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ共同擔保目錄ニ掲ケタル他ノ不動産ニ關スル權利ト共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二百二十四條ノ三 共同擔保目錄ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第二百二十四條ノ四 第二百二十二條ノ三ノ規定ニ依ル登記ト申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ其登記及ヒ前ノ登記ニ各不動産ニ關スル權利カ共ニ擔保ノ目的タルコトヲ記載スルコトヲ要ス

第二百二十四條及ヒ第二百二十四條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條 先取特權質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ハ附記ニヨリテ之ヲ爲ス

第二百二十六條 數個ノ不動産ニ關スル權利カ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ他ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ第二百二十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記ニ其旨ヲ附記シ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス其一箇ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

第二百十四條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十六條ノ二 前條第一項ノ規定ニ從ヒテ爲スヘキ登記ハ共同擔保目錄アル場合ニ於テハ其目錄ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十七條 賃借權ノ設定又ハ賃借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃借ヲ記載

シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ借賃ノ仕拂時期ノ定アルトキ又ハ賃借權ノ移轉若クハ賃借物ノ轉貸ヲ許シタルトキハ之ヲ記載シ賃借借ヲ爲ス者カ處分ノ能力若クハ權限ヲ有セザル者ナルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

賃借權ノ移轉又ハ賃借物ノ轉貸ヲ許シタル旨ノ登記アラサル場合ニ於テ賃借權ノ移轉又ハ賃借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃借人ノ承諾書ヲ添付スルコトヲ要ス

第二百二十七條ノ二 第二百三條及ヒ第二百三條ノ二ノ規定ハ土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用ニ因ル權利移轉ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百二十九條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ且甲區事項欄ニ所有者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ依リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百三十一條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ依リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ依リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十二條 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十三條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百二十四條 前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三百二十五條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産ニ付キ所有權以外ノ權利若クハ其權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記又ハ既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其權利ヲ證スルコトヲ要セス

第三百二十六條 建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類、構造、建坪、建物ヲ新築スヘキ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定メアルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添付スルコトヲ要ス

第三百二十七條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記シ表示欄ニ新築スヘキ建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲スニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百二十八條 既登記ノ主タル建物ノ附屬建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ新築スヘキ附屬建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百二十九條 建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク所有權ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス但第四百六條及ヒ第四百七條ノ適用ヲ妨ケス

附屬建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク新築ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第四百十條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ更ニ建物ノ表示ヲ爲シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但前條第一項ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ關シテ甲區事項欄ニ爲シタル登記ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第四節 抹消ニ關スル登記手續

第四百十一條 登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證スル戸籍吏ノ書面其他ノ公正證書ヲ添付スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十二條 登記權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其謄本ヲ添付シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書及ヒ債權並ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添付シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十二條ノ二 遺留財産ノ廢止ノ勅許アリタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク遺留財産ノ設定ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス遺留財産ノ相續人ナキトキ亦同シ

登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十四條 假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申書スルコトヲ得

第四百十五條 第三條ニ掲ケタル訴ヲ却下シタル裁判若クハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滞ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若クハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若クハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添付シテ豫告登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十六條 登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第四百十七條 登記ヲ抹消スルニハ抹消ノ登記ヲ爲シタル後抹消スヘキ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ヲ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記用紙中相當區事項欄ニ其第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登記ヲ抹消シタルニ因リテ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百十八條 第二十九條ノ規定ニ從ヒ官廳又ハ公署ヨリ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ノ囑託アリタル場合ニ於テ滯納處分ニ關スル差押ノ登記ヲ抹消シ若シ其登記ヲ目的トセル先取特權、質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四百十九條 第三百三條ノ規定ニ從ヒ土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタル場合ニ於テ其不動産ノ登記用紙中所有權又ハ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ其登記ヲ抹

消スルコトヲ要ス但其不動産ノ爲メニ存スル地役權ノ登記ハ此限ニ在ラス

第四百十九條ノ二 登記官吏ハ登記ヲ完了シタル後其登記カ第四十九條第一號又ハ第二號ニ該當スルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記權利者、登記義務者及ヒ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者ニ對シ一箇月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ商業登記ニ付キ定メタル公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スルコトヲ要ス

登記官吏ハ前項ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第四百十九條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記官吏ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第四百十九條ノ四 前條第二項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第四百十九條ノ五 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第五章 抗 告

第四百十條 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百十一條 抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第四百十二條 抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ其證據ト爲スコトヲ得ス

第四百十三條 登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日内ニ意見ヲ附シテ事件ヲ抗告裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登記完了ノ後ナルトキハ其登記ニ付キ異議アル旨ノ附記ヲナシ之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第一百五十四條 抗告ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス

抗告裁判所ハ抗告ニ付キ決定ヲ爲ス前登記官吏ニ假登記ヲ命スルコトヲ得

第一百五十五條 抗告裁判所カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス

第一百五十六條 抗告裁判所ノ決定ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第一百五十七條 登記官吏カ抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所、命令ノ年月日、命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第一百五十八條 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第一百五十四條乃至第一百五十七條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第一百五十九條 送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附 則

第一百六十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百六十一條 明治十九年法律第一號登記法中地所及ヒ建物ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附 則

第一百六十條 明治六年第十八號布告地所質入書入規則又ハ同八年第四百十八號布告達物書入質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年內ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セサルトキハ其權利ハ公證ノ效力ヲ失フ

前項ノ規定ニ從ヒテ登記シタル權利ノ順位ハ公證ノ順位ニ依ル

第一項ニ定メタル登記ニ關スル手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第一百六十三條 本法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及ヒ事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及ヒ事項ヲ移シ舊登記簿ノ用紙中新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及ヒ事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

第一百六十四條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

附 則

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法施行前ニ登記所ノ受附タル事件ハ從前ノ規定ニ依リ完結ス

第三條 本法施行前ニ調製シタル登記簿ハ當分ノ内之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ關スル從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス

第四條 本法ニ依ル登記簿ニ始メテ登記ヲ爲ス場合ニ於ケル登記番號ハ從來ノ番號ヲ追ヒテ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條 從前ノ規定ニ依ル登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ本法ニ依ル登記簿ニ繼續用紙ヲ設クルコトヲ要ス

第十八類 登記

九七三

前項ノ場合ニ於テ乙區事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ新ナル順位番號ヲ記載スルヲ要ス
 第六條 所有權以外ノ權利ニ關スル登記ノ前後ハ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノト本法ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノトノ間ニ在リテハ受附番號ニ依ル
 第七條 從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタル所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ付キ本法ニ依ル登記簿ニ附記登記ヲ爲ス場合ニ於テハ主登記ヲ爲シタル區ノ名稱ヲ記載スルコトヲ要ス
 第八條 從前ノ規定ニ依ル登記簿ヨリ本法ニ依ル登記簿ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ受附番號ノ順序ヲ追ヒテ新ナル順位番號ヲ記載シ其左側ニ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ於ケル區ノ名稱及ヒ順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス
 第九條 不動産登記法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ本法ニ依ル登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ第六十三條ノ規定ヲ準用ス
 第十條 明治三十九年法律第五十五號ハ之ヲ廢止ス
 様式畧之

○不動産登記法施行細則

○司法省令第十一號 明治三十二年 月 日
明治三十五年七月司法省令第十三號
 同三十七年九月司法省令第二十五號
 大正二年五月司法省令第十八號
 ヲ以テ改正

第一章 登記ニ關スル帳簿

第一條 土地登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ建物登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
 第二條 共同人名簿ハ土地共同人名簿及建物共同人名簿ノ二種トス

共同人名簿ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得
 共同人名簿ヲ合綴シタル場合ニ於テハ登記簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出ヲ附スヘシ
 第三條 土地共同人名簿ハ附錄第三號雛形ニ依リ建物共同人名簿ハ附錄第四號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 登記簿及共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ
 登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及各冊ノ枚數ヲ見積毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ
 豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

第五條 登記簿及共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ
 第六條 土地登記見出帳ハ附錄第五號雛形ニ依リ土地分合登記見出帳ハ附錄第六號雛形ニ依リ建物登記見出帳ハ附錄第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 土地登記見出帳ニハ土地ノ番號ヲ逐ヒ豫メ各筆ノ見出欄ヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數丁數及登記番號ヲ記入スヘシ

第八條 土地分合登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部迄ヲ設ケ置キ土地ノ分合ニ關スル登記ヲ爲ス毎ニ其土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部一ノ部ヨリ九ノ部迄ヲ設ケ置キ土地ノ番號登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數丁數及登記番號ヲ記入スヘシ但土地カ合併ニ因リ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ
 第九條 建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ敷地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ敷地ノ番號登記用紙ヲ編綴スル登記簿ノ冊數丁數及登記番號ヲ記入シ若建物ノ番號アルトキハ其番號ヲモ記入スヘシ但敷地カ二箇以上ノ番號ヲ有スルト

キハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第十條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ

第十一條 受附帳ハ附録第八號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

第十二條 受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ

第十三條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十四條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、共同擔保目録見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 謄本抄本交附帳
- 二 申請書囑託書通知書附屬書類綴込帳
- 三 圖面綴込帳
- 四 受領證原符元帳
- 五 各種通知書
- 六 登記立會調書綴込帳
- 七 設定原本綴込帳
- 八 登記簿謄本綴込帳
- 九 土地登記濟通知簿
- 十 抗告書類綴込帳
- 十一 本登記濟證交付帳
- 十二 印鑑簿
- 十三 印鑑證明書類綴込帳

十四 還納受領證綴込帳

第十四條ノ二 前條第一號、第二號、第四號乃至第十一號、第十三號及ヒ第十四號ノ帳簿ハ一ケ年毎ニ別冊ト爲スヘシ

第十五條 申請書囑託書通知書並ニ付屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴スヘシ

第十六條 圖面ニハ申請書受附ノ年月日受附番號及登記番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ丁數ヲ付スヘシ

第十六條ノ二 共同擔保目録ノ表紙ニハ申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ番號ヲ附スヘシ

第十六條ノ三 共同擔保目録ハ一ケ年毎ニ其番號ヲ更新シ之ヲ別冊ト爲スヘシ

第十七條 不動産登記法第四十四條ノ規定ニ依リ申請書ニ添付シタル書面ニ通ノ内一通ハ登記所ニ之ヲ保存スヘシ

第十八條 第十四條第五號ノ通知簿ニハ不動産登記法第二十八條ノ三、第六十條ノ二、第六十一條第六十三條乃至第六十三條ノ三、第七十五條第一項、第一百三條ノ二、第一百四條第二項、第一百二十六條第二項、第二百二十七條ノ二、第四百九條ノ二第一項、第五百五十三條第二項及ヒ本令第六十二條第一項、第六十三條第一項、第六十九條第六十九條ノ二ノ通知事項、通知ヲ受クル者及ヒ

通知ヲ發スル年月日ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第十九條 不動産登記法第六十三條ノ二第一項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲シタル場合ニ於テハ地方裁判所長ノ許可書ハ第十四條第二號ノ帳簿ニ之ヲ合綴スヘシ

第二十條 事變ヲ避クル爲登記簿又ハ其付屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ

第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其事由年月日滅失セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申ヲ爲スヘシ

第二十三條 登記簿及其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第二十五條 不動産ノ所有者ハ其本籍又ハ所在地ノ市區町村長市區町村長ナキ地ニ於テハ其職務ヲ行フ吏員ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲナシタルトキ亦同シ

不動産ヲ所有スル法人又ハ外國會社ノ代表者ハ法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限りニ

アラス

第二十六條 印鑑ハ附錄第九號雖形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十七條 印鑑簿調製ノ様式及貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

第二十八條 第二十五條ノ規定ハ官廳及公署ニハ之ヲ適用セス

第二十九條 登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

代理人カ前項ノ請求ヲ爲ストキハ申請書ニ其權限ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第三十條 土地登記簿謄本ノ交付又ハ土地登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但シ閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

一 土地所在ノ市区町村字及土地ノ番號

二 手数料ノ金額

三 登記所ノ表示

四 年月日

第三十一條 土地登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第三十二條 前二條ノ規定ハ建物登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ建物登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但建物ノ番號アルトキハ申請書ニ其番號ヲ記載スヘシ

第三十三條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於ケル不動産ノ目錄ハ登記簿及ヒ共同擔保目錄ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於ケル不動産ノ目錄ハ美濃野紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

第三十四條 不動産登記法第二十九條ノ申請書ヲ受取タルトキハ受附帳ニ請求ノ目的申請人ノ氏名受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シ

タルモノヲ添付シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃野紙ヲ用ユヘシ

第三十五條ノ二 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルヘシ但請求ニ因リ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此場合ニ於テハ認證文ニ其旨ヲ附記スヘシ

第三十五條ノ三 前條但書ノ規定ハ登記簿ノ謄本ノ交付ノ申請書ニ共同人名簿又ハ共同擔保目録ノ謄寫ヲ除ク旨記載アル場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト契印スヘシ

前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十七條ノ二 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳登記立會調書綴込帳及ヒ登記簿謄本綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

謄本抄本交附帳受領證原符元帳各種通知簿土地登記濟通知簿本登記濟交付帳及ヒ還納受領書綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第三十七條ノ三 共同擔保目録ハ先取特權、質權又ハ抵當權ノ抹消ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ

第二章 登記申請ノ手續

第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登記稅額ヲ記載スヘシ但登錄稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

第三十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ其旨ヲ記載スヘシ

第四十一條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定シタル管轄登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ裁判謄本ヲ添付スヘシ

第四十二條 不動産登記法第二百二十八條又ハ第三百三十條ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産カ建物ナルトキハ申請書ニ圖面ヲ添付スヘシ

第四十三條 建物ノ圖面ニハ不動産登記法第三十六條第一號並ニ第三十七條ニ掲ケタル事項及ヒ敷地ノ方位並ニ建物ノ形狀間尺位置ヲ記載シテ申請人署名捺印スヘシ

圖面ハ總テ墨引墨字ト爲シ若登記ノ目的外ナル建物アルトキハ其圖ハ朱引朱字ト爲スヘシ

圖面ハ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十三條ノ二 共同擔保目録ハ附錄第十號雛形ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十三條ノ三 申請人ハ共同擔保目録ノ表紙ニ不動産共同擔保目録ト記載シ之ニ署名捺印スヘシ

共同擔保目録ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第四十三條ノ四 共同擔保目録ニ不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スニハ其表示ノ順序ヲ追ヒテ番號欄ニ番號ヲ附記スヘシ

第四十四條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登錄税法第二條第一項第十號第十二號乃至第十六號第二十一號但書及ヒ第二十二號但書ノ規定ニ依リ登錄稅ヲ納付スヘキ場合ニ於テ數個ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ不動産ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登記稅ノ全額ヲ納付スヘシ

前項ノ規定ニ從ヒ登錄稅ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應ジ登錄稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添付スヘシ

第四十四條ノ二 不動産登記法第二百二十二條ノ三ノ規定ニ依リ申請書ニ前ノ登記ヲ表示スルニハ共同擔保目録ノ番號又ハ登記番號及ヒ順位番號ヲ記載スルヲ以テ足ル

第四十四條ノ三 不動産登記法第二百二條ノ三第一項ノ規定ニ依リ當該官廳カ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ囑託書ニ河川法ノ規定ニ依リ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載スヘシ

第四十四條ノ四 法人又ハ外國會社ノ代表者カ不動産ニ關スル登記ヲ申請スル場合ニ於テ其法人又ハ外國會社ノ登記ヲ受ケタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ申請書ニ不動産登記法第二十五條第一項第五號ノ書面ヲ添付スルコトヲ要セス

第四十四條ノ五 法人又ハ外國會社ノ登記ヲ受ケタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト異なる場合ト雖モ同時ニ數箇ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産登記法第三十五條第一項第五號ノ書面ハ一箇ノ申請書ノミニ一通ヲ添付スルヲ以テ足ル
前項ノ場合ニ於テハ他ノ各申請書ニ其旨ヲ附記スヘシ

第四十四條ノ六 前條ノ規定ハ數箇ノ申請書ニ戶籍簿ノ書面ヲ添付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條ノ七 不動産登記法第六條第一號ノ規定ニ依リテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ登記番號ヲ記載スル外證明書類ヲ添付スルコトヲ要セス

第四十四條ノ八 申請書ニ添付シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添付スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ
第四十五條 不動産登記法第四十四條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記濟證カ滅失シタル旨ヲ記載スヘシ

第四十六條 不動産登記法第四十四條ニ掲ケタル書面ニハ左ノ諸件ヲ記載シ保證人署名捺印スヘシ

- 一 登記ヲ受クヘキ不動産ノ表示及登記ノ目的
- 二 登記義務者ノ人違ナキコト
- 三 保證人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號
- 四 保證人ノ住所年齢
- 五 年月日

第四十六條ノ二 帝國ノ臣民又ハ法人カ明治三十四年勅令第七十九號第一條第二項ニ依リ所有權ヲ取得シタル場合ニ於テ所有權保存ノ登記ヲ申請書ニ永代借地券ノ抹消ニ因リ所有權ヲ取得シタルモノナル旨ヲ記載スヘシ

第三章 登記手續

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査スヘシ
第四十八條 登記番號ハ不動産登記法施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第四十九條 表示欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及表示欄ニ縱線ヲ畫シ事項欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ畫シ餘白ト分界スヘシ

假登記ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縱線ヲ畫シ其左側ニ本登記ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ畫スヘシ

第五十條 登記ノ申請書ニ圖面ヲ添付シタル場合ニ於テハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ圖面綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第五十一條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十二條 不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條 不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ全員ノ氏名住所ヲ記載シ豫備欄ニ登記番號申請書受附ノ年月日受附番號及順位番號ヲ記載シテ登記官吏捺印スヘシ

第五十四條 共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名住所等ヲ記載シタルトキハ氏名住所欄及持分欄ニ於ケル縱線ヲ番號欄及ヒ豫備欄ニ延長シテ餘白ト分界スヘシ

登記原因ニ持分ノ定メナキトキハ持分欄ニハ朱線ヲ交叉スヘシ

第五十五條 共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若ハ變更ニ付登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ人名簿中豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項申請書受附ノ年月日受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十六條 前條 場合ニ於テ豫備欄ニ餘白ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其左側ニ第二

ノ文字前番號ノ用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數丁數及其繼續用紙ナルコトヲ記載シ氏名住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名ノミヲ記載シ持分欄ニハ朱線ヲ交叉シ豫備欄ニハ登記ノ目的タル新ナル事項申請書受附ノ年月日受附番號及順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字繼續用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 共同人名簿ニ記載ヲナシタル場合ニ於テハ登記用紙中相當區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スヘシ

第五十七條ノ二 不動産登記法第二百二十四條ノ二ノ規定ニ依ル記載ハ登記用紙中相當區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ共同擔保目録ノ番號ヲモ記載スヘシ

第五十七條ノ三 申請書ニ共同擔保目録ヲ添付シタル場合ニ於テ登記ヲ爲シタルトキハ其目録ニ掲ケタル各不動産ニ關スル權利ノ表示ノ上ニ其登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、登記番號及ヒ順位番號ヲ記載シ且申請書ニ共同擔保目録ノ番號ヲ記載スヘシ

第五十七條ノ四 不動産登記法第二百二十六條ノ二ノ規定ニ依リ共同擔保目録ニ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニハ第四十三條ノ四ノ規定ニ依ル番號ヲ用ヒテ之ヲ豫備欄ニ記載シ登記官吏捺印シ其變更又ハ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十七條ノ五 前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ豫備欄ニ縱線ヲ畫シテ餘白ト分界スヘシ

第五十七條ノ六 共同擔保目録用紙中豫備欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其目録ニ繼續用紙ヲ編綴シ之ニ契印ヲ爲スヘシ

第五十七條ノ七 不動産登記法第六十三條ノ二第一項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱許可ノ年月日及ヒ登記ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第五十八條 登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第五十九條 附記登記ヲナシタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルニ依リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前登記ノ登記濟證ニ不動産登記法第六十條第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十一條 土地臺帳所官廳ヨリ土地ノ異動ニ關スル通知アリタル場合ニ於テ其土地既登記ナルトキハ見出帳中相當欄ニ其通知書ヲ編綴セル土地異動通知書綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記入シ其土地カ未登記ナルトキハ土地臺帳謄本ノ別冊ニ其土地ニ關スル事項ヲ記載シ備考欄ニ土地臺帳謄本原簿第何冊第何丁第何行ヨリ移シタル旨ヲ記入シ土地臺帳謄本原簿ノ備考欄ニハ別冊第何冊第何丁第何行ニ移シタル旨ヲ記入スヘシ

異動ノ通知ヲ受ケタル既登記ノ土地ニ付キ其異動ニ關シ變更登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中其異動ニ關シ土地異動通知書ノ冊數丁數欄ニ爲シタル記入ヲ朱抹スヘシ

第六十一條ノ二 不動産登記法第四十九條ノ五ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其事由及ヒ登記ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第六十二條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ見出帳中備考欄ニ其通知事項ヲ記入スヘシ

第六十三條 地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及ヒ申請書受附年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スヘシ

第六十三條ノ二 不動産登記法第四十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ表示欄ニ登記ヲ爲スニハ債權者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ不動産登記法第二十八條ノ三及ヒ第三百三條ノ二ノ規定ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス

第六十四條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ表示欄ニ閉鎖ノ事由及其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ不動産ノ表示番號及登記番號ヲ朱抹スヘシ

第六十五條 不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲タル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十六條 不動産登記法第四十七條第二項ノ受領證ハ登記濟證ヲ交付スルトキ之ヲ還納セシムヘシ還納ヲ受ケタル受領證ハ之ヲ保存スヘシ

第六十七條 不動産登記法第十二條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 申請人ノ氏名住所
- 二 申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若ハ記登官吏ノ四等親内ノ親族ナルコト
- 三 登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及登記ノ目的
- 四 申請書受附ノ年月日受付番號
- 五 立會人ノ氏名住所及年齢
- 六 立會人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及年月日又ハ登記番號

第六十八條 不動産登記法第十一條第一項ノ通知ニハ土地所在ノ郡市町村字土地ノ番號地目段別若ハ坪數申請書受付ノ年月日登記ノ目的及申請人ノ氏名住所ヲ記載スヘシ
前項ノ通知ハ登記ノ完了シタル日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ但シ地租納期開始前十五日ハ其都度通知ヲ爲スヘシ

第六十九條 登記官吏カ不動産登記法第二百二十九條第三百一一條又ハ百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ不動産ノ表示登記原因其日附登記權利者ノ氏名住所登記ノ目的及登記濟ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但第三百一一條又ハ第三百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ所有權以外ノ權利者ニモ其通知ヲ爲スヘシ

第六十九條ノ二 不動産登記法第四百九條ノ二第一項ノ通知ハ同法第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ亦之ヲ爲スヘシ

第六十九條ノ三 不動産登記法第四百九條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ完了シタル事件ノ表示及ヒ事件カ登記所ノ管轄ニ屬セサルコト若クハ登記スヘキモノニ非サルコトヲ記載スヘシ

第七十條 不動産登記法第二十八條ノ三、第六十條ノ二、第六十一條、第六十三條乃至六十三條ノ三、第七十五條第一項第三百三條ノ二、第二百二十七條ノ二、第四百九條ノ二第一項第五百五十三條

第二項及ヒ本令第六十九條、第六十九條ノ二ノ通知ハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
第七十一條 不動産登記法第九條第一項ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ管轄ノ變更アリタルコト及

其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル登記所ノ名稱ヲ變更スヘシ
同法第五十九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫若クハ字又ハ其名稱ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ニ記載シタル行政區畫若クハ字又ハ其名稱ヲ變更スヘシ
附錄第一號、第二號、第五號及ヒ第六號雛形ヲ別記ノ如ク改ム

第七十一條ノ二 第四十六條ノ二ノ申請アリタル場合ニ於テ永代借地登記簿ノ用紙中永代借地權ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル登記アリテ其登記カ未タ抹消ニ係ラサルトキハ登記官吏ハ普通登記簿ニ所有權ノ登記ヲ爲シタル上他ノ權利ニ關スル登記ヲ移スヘシ

第七十一條ノ三 前條ノ規程ニ依リ他ノ權利ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移ストキ又ハ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ前登記帳簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

附 則

第七十二條 不動産登記法第六十三條ノ規定ニヨリ舊登記簿ヨリ登記ヲ移シタルトキハ表示欄及事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊何丁ニ移シタル旨新登記番號及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第七十三條 不動産登記法第六十三條ノ登記ヲ爲サ、ル不動産ニ付キ其滅失又ハ其不動産ニ關スル權利ノ抹消ノ登記ノ申請アリタルトキハ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スヘシ

第七十四條 受附番號ハ明治三十二年分ニ限リ六月十六日ヨリ之ヲ更新シ十二月三十一日之ヲ止ムヘシ

第七十五條 舊登記簿ノ謄本ハ舊謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

第七十六條 明治二十六年三月司法省令第三號ニ依リ既ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ更ニ之ヲ提出スル

コトヲ要セス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(明治三十四年司法省令第十
七號改正ノ分ニ對シ追加)

附 則

- 第一條 本令ハ大正二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第二條 従前ノ規定ニ依ル登記簿ノ謄本ハ従前ノ規定ニ依ル謄本用紙ヲ以テ作成スヘシ
- 第三條 従前ノ規定ニ依ル登記簿ヨリ改正登記簿ニ建物ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スル場合ニ於テハ敷地ノ地目及ヒ段別若クハ坪數ハ之ヲ移シ又ハ轉寫スルコトヲ要セス舊登記簿ヨリ従前ノ規定ニ依ル登記簿又ハ改正登記簿ニ建物ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキ亦同シ
- 第四條 前條ノ規定ハ舊建物登記簿及ヒ従前ノ規定ニ依ル建物登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ作成スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第五條 不動産登記法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本令施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ改正登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ第七十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第六條 本令施行前ニ調製シタル土地登記見出帳及ヒ土地分合登記見出帳ハ當分ノ内其儘之ヲ使用スルコトヲ得
- 第七條 土地臺帳謄本及ヒ土地異動通知書綴込帳ハ司法大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ廢毀スルコトヲ得
區裁判所出張所カ前項ノ許可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ
樣式畧之

○登記抹消手續ニ關スル件

○内務省土木局長ヨリ長官へ通牒 大正二年四月十八日
内務省土第一〇五三號

本年法律第十八號ヲ以テ不動産登記法中改正相成候處第百二條ノ三ニ規定セル登記抹消ノ手續ハ河川法ニ依リ私權ノ目的トナルコトヲ得サルニ至リタル河川及其ノ附屬物ノ敷地ニ限リ適用スヘキ義ト御承知相成度

追テ河川法施行河川及其ノ附屬物ノ敷地ニシテ登記抹消未済ノモノハ此際速ニ其手續御取計相成度
○勅令第三百三十四號 明治三十四年
四月

○登記事務特別取扱ノ件

○司法省訓令第十九號 明治二十一年
五月二十五日

登記事務ノ儀ハ土地ノ情況ニヨリ必要ト認ムルトキハ十二月三十一日マテ取扱ハシム可シ

○土地所有權ノ移轉及質入登記ヲ爲シタルトキ通知方ノ件

○司法省令第三號 明治二十二年
五月

本年三月勅令第三十九號第三條ノ通知ハ登記ヲ爲シタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ爲スヘシ
但地租毎納期終盡ノ前十日以内ハ都度通知ヲ爲スヘシ
(參 照)

明治二十二年三月勅令第三十九號ハ土地臺帳規則

附 則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○官有地ニ在ル民有建物賣買證文ニ與書ノ件

○司法次官へ照會 明治二十六年七月二十日

明治八年九月第四十八號布告諸建物賣買讓渡規則第一條但書官有ノ借地ニ建テ在ル建物賣買讓與ノ際所屬官廳ニ於テ其證文ニ與書ヲ與フルノ件ハ登記法ニ依リ戸長與書割印ノ本體消滅シタル上ハ縱令新法ニ抵觸ノ廉ナシト雖トモ自然ノ消滅ニ歸シタルモノト思考致處登記ニ關スル貴省質疑錄問答中ニ該規則第一條後段ノ手續ハ依然存在スル様有之候趣承知致候果シテ然ルトキハ該但書モ亦現行法ト可相成人民ノ要求ニ依リテハ官地タルノ證明ヲ便宜付與スルハ勿論ナリト雖トモ右但書ヲ現行法トシテ必スシモ與書ヲ與フ可キモノトハ何分解釋致シ難ク聊カ疑團ニ涉リ適々與書出願ノ者有之候條貴省ノ御取扱振報示相煩度此段及御照會候也

○司法次官回答 明治二十六年八月七日 司法省民刑第一六四號

本年七月二十日第六九五七號ヲ以テ明治八年第四百十八號布告建物賣買讓渡規則第一條但書ハ登記法ニ依リ消滅シタルヤ否ノ儀御照會ノ趣了承右ハ登記法ニ抵觸セサルヲ以テ消滅セス仍ホ現行ニ屬スヘキ儀ニ有之候但其證明ハ土地使用臺帳ヲ管理スル市町村長ヲシテ取扱ハシムルモ差支ナキモノト致思考候此段及御回答候也

○同上ノ件

○北海道廳訓第二四九號 明治二十六年九月七日

官有地内ニ建テ在ル民有建物賣買證文ニ該官有地貸下人ヨリ與書ヲ願出タルトキハ其所ニ於テ其貸下地タルノ證明ヲ與フヘシ

○公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取扱手續

○司法省令第十二號 明治三十二年五月

公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記取扱手續

- 第一條 明治六年第十八號布告地所質入書入規則又ハ同八年第四百十八號布告建物書入質入規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法其他不動産ノ登記ニ關スル規定ニ依ル
- 第二條 前條ノ登記ヲ申請スル者ハ其申請書ニ公證ノ年月日公證ノ番號及公證ノ順位ヲモ記載シ公證ヲ經タル證書ヲ添付スヘシ
- 第三條 登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在ノ郡市區町村字土地ノ番號地目段別又ハ坪數カ公證ヲ經タルトキト異リタルトキハ申請書ニ不動産ノ新舊ノ表示ヲ爲シ且地目段別又ハ坪數ニ付テハ其異ル事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ
- 第四條 登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テ其種類構造建坪又ハ番號カ公證ヲ經タル時ト異ナルトキハ申請書ニ建物ノ新舊ノ表示ヲ爲シ且其異ル事由ヲ疎明スヘシ
- 第五條 申請人カ公證ヲ經タル證書面ノ債權者ト異ナルトキハ申請書ニ其異ナル事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ
- 第六條 多數債權者中ノ一人又ハ數人カ己ムコトヲ得サル事由ニ因リ共ニ登記ヲ申請スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ疎明シテ他ノ債權者ヨリ之ヲ登記スルコトヲ得
- 第七條 公證ヲ經タル證書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所有者ノ承諾書ヲ添付シ又ハ所有者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシムヘシ但其所有者カ公證ヲ經タルトキト異ナルトキハ其異ナル事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ申請書ノ副本ヲ提出スヘシ

第八條 登記官吏ハ左ノ場合ニ於テモ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スヘシ但申請ノ欠缺カ補正スルコトヲ得ヘキモノナル場合ニ於テ申請人カ即日ニ之ヲ補正シタルトキハ此限リニ在ラス
一 本令ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外申請書ニ掲ケタル不動産ノ表示又ハ債權者若ハ不動産ノ所有者ノ表示カ公證簿ト符合セサルトキ

二 申請書ニ掲ケタル債券者ノ權利ニ關スル事項カ公證簿ト符合セサルトキ
三 申請カ不動産登記法施行後一年内ニ爲シタルモノニ非サルトキ

第九條 登記ヲ爲ストキハ土地ニ付テハ丁區事項欄ニ建物ニ付テハ丙區事項欄ニ公證ノ年月日公證ノ番號及ヒ公證ノ順位ヲモ記載スヘシ

第十條 不動産登記法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請アリタルトキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ニ從ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區順位番號欄及事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及事項ヲ移シ表示欄及事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請ニ因リ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ公證ヲ經タル事項ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨新登記番號及年月日ヲ登記シ登記官吏捺印スヘシ

第十一條 未登記ノ不動産ニ付キ公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請アリタルトキハ甲區事項欄ニ所有者ノ氏名住所及公證ヲ經タル質入又ハ書入ノ登記ノ申請ニ因リ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ

記載スヘシ

第十二條 登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ公證簿中登記シタル權利ノ公證ヲ朱抹シ其事由及年月日ヲ登記シテ登記官吏捺印スヘシ

第十三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ公證ヲ經タル證書又ハ申請書ノ副本ニ登記番號申請書受附ノ年月日受附番號順位番號及ヒ登記簿ノ旨ヲ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ債權者ニ還付スヘシ但申請書ノ副本ニ登記簿ノ旨ヲ登記スル場合ニ於テハ公證ノ年月日公證ノ番號及ヒ順位ヲモ記載スヘシ

第十四條 登記官吏カ前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ遲滞ナク其不動産ノ表示登記原因其日付債權者ノ氏名住所登記ノ目的公證ヲ經タル權利ナルコト及登記簿ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但其不動産カ共有ナル場合ニ於テハ共有者ノ一人ニ通知スルヲ以テ足ル前項ノ通知事項ハ不動産登記法施行細則第十四條第五號ノ通知簿ニ之ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第十五條 不動産登記法第六十二條第一項ニ定メタル期間内ニ公證取消ノ申請アリタルトキハ公證簿ノ公證ヲ朱抹シ其事由及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

○登記請求手数料ノ件(明治二十八年七月省令第二十一號ヲ以テ改正)

○司法省令第十四號 明治三十二年五月十三日

土地登記簿、建物登記簿、工場財團登記簿、鑛業財團登記簿及商業登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求等ニ關ルル手数料左ノ通相定ム

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百二十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ

抄本ノ交付ヲ請求スルモノハ其用紙一枚ニ付手数料金十錢ヲ納ムヘシ但シ一枚ニ充タサルモノト雖モ尚ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルモノハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第三條 非訟事件手續法第四百十三號ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スルモノハ每一件手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付登記濟證ノ交付ヲ請求スルモノハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

○國有土地下戻ノ登記取扱ノ件

○内務省訓令第三三號 明治三十三年十月十四日

本年法律第九十九號國有土地森林原野下戻シタル土地ノ登記ニ關スル手續ハ其廳ニ於テ取計フヘシ

○不動産ニ關スル權利ヲ取得シ又ハ移轉シタル場合ニ於ケル登記取扱ノ件

○司法省令第十二號 明治三十四年七月

北海道廳 府 縣

本大臣ノ委任ニ因リ不動産ニ關スル權利ヲ取得シ又ハ移轉シタル場合ニ於テ不動産登記法ノ規定ニ依ル登記ノ請求ハ其廳ニ於テ之ヲ爲スヘシ

○内務省所管ニ係ル不動産登記囑託官吏指定ノ件 (三十七年内務省令第九號三十八年内務省令第三號同年内務省令第十九號ヲ以テ改正)

○内務省令第十三號 明治三十五年四月十日

當省所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ニ就テハ左ノ官吏ヲ指定ス

北海道廳長官、府縣知事、神宮大宮司、本省總務局會計課長、本省衛生局長、警察監獄學校幹事、内務省土木出張所長、衛生試驗所長、血清藥院長、痘苗製造所長、傳染病研究所長、北海道廳支廳長、島司、郡長

○大藏省所管ニ係ル不動産登記囑託官吏指定ノ件

○大藏省令第十號 明治三十五年(三十五年大藏省令第三十三號、三十六年同第三十六號、三十七年同第二十號第一號、三十八年同第二十三號、第四十號、三十九年同第二十七號ヲ以テ改正)

當省ノ所管ニ係ル不動産登記ノ囑託ニ付テハ左ノ官吏ヲ指定ス

警視總監、北海道廳長官、府縣知事、大臣官房會計課長、大臣官房營繕課長、臨時煙草製造準備局作業部長、臨時煙草製造準備局建築部長、煙草專賣局長、葉煙草收納所長、煙草製造所長、造幣局長、稅關長、稅務監督局長、稅務署長、樟腦事務局長、鹽務局長、大藏省臨時建築部長、馬政長官種馬牧場長、種馬育成所長、種馬所長、鹽務局出張所長、臨時沖繩縣土地整理事務局長官、鐵道院市街線建築事務所長、鐵道管理局保線事務所長、鐵道院建設部派出所長

○官有地ノ民有地成ノ登記ニ關スル件

○上川支廳照會 明治三十一年六月十三日 上二第三五〇號

北海道國有未開地處分法ニ依リ賣拂付與及ヒ交換ヲ許可シタルトキ又ハ其他ノ規定ニ依リ官有地ノ民有地成ノ場合ニ於テハ登記法第十六條第二項ニ依リ其處分ヲ爲シタル官廳ヨリ直チニ登記ヲ請求スヘキモノニシテ客年訓第九十一號北海道國有未開地處分法施行規程取扱細則第四十七條ニ所屬稅務署ニ通牒スヘキコト規定シアリ故ニ長官ノ御處分ニ屬スルモノモ當廳限リ處分シタルモノモ總テ官有地ノ民有地成ノ場合ニハ稅務署ヘ通知シ地番號ノ通報ヲ得テ登記ノ請求ヲ爲ス様取計來リ候處四月三十日空第二九四號ヲ以テ空知稅務署ヨリ官有地ノ民有地成地番號ノ通知ハ土地臺帳新規登錄ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルヲ以テ所有權ヲ得タルモノヨリ之ヲ爲サ、ル迄ハ其儘書類ノ完結ヲ見ル不能事務整理上差支少カラス候ニ付從前ノ分ハ地番號ノ通知ヲ得以後ハ新規登錄願出ノ上登記請求スル様致度論示スルニ付便宜ノ方法モ無之哉云々札幌稅務監理局ヘ照會致候ヘ共客年十一月中拂下又ハ付與人ヨリ登記請求ノ手續キヲ爲ス際支廳ニ於テ新規登錄濟ナルヤ否ヤヲ確メ登記請求ノ手續相成度旨道廳長官ヘ協議シタルニ其議相成難キ事ニ回答相成新規登錄願ノ順番ニ依リ起號スルヨリ外無之旨五月廿日發第一二四一號ヲ以テ同管理局ヨリ回答有之候依テ不得己所有權ヲ得タルモノヨリ新規登錄願ヲ差出シ稅務署ヨリ通知ヲ待チ初メテ登記ノ請求ヲ爲ス様取計ヒ居リ候然ルニ付與ノ許可ハ續々處分シ居ルヲ以テ漸次稅務署ヘ通知スルモノ多キモ地番號ノ通報ヲ受クルモノハ極メテ少ナク月日ヲ經過スル毎ニ益書類ノ多キヲ致シ益整理上差支ヲ來スノミナラス付與ヲ許可シナカラ永ク指令書ヲ下附スルコト能ハス人民ヨリハ度々伺出有之實ニ云フヘカラサル手數ト繁雜ヲ起シ候依テ土地臺帳ニ新規登錄ヲ爲シタルモノハ所有權ノ登錄ヲ爲シタルモノナレハ登記ノ請求ハ所有者ニ於テ土地臺帳ニ登記シタル外猶ホ登記ヲ請ハントスルモノニ限ルモノニシテ敢テ登記ヲ請求セサルヲ以テ所有權ヲ認ムルコト不能ト云フコトヲ得サルカ如シ果シテ然ラハ處分ヲ爲シタル官廳ハ處分ノ際其旨稅務署ニ通知スルヲ得以テ土地臺帳所管廳ニハ之ヲ知ラサル筈ナシ故ニ登記法第十六條

第二項ノ手續キヲ爲シタルモノト看做シ指令書ハ各自ニ下付スルモ差支ナキモノニ無之哉而シテ指令書ノ下付ヲ受ケタル土地所有者ハ登記ノ請求ヲ爲サント欲セハ夫々手續ヲ履行シ之ヲ請求シテ可ナルヘクト存候別紙札幌地方裁判所長ヨリ登記所ヘ通達セラレタルモノニ依ルニ拂下又ハ付與ヲ受ケタルモノハ新規登錄ヲ爲サ、ルモ猶ホ賣買讓與書入等ノ登記ヲ爲シ得ヘキモノナル旨司法省民刑局長ヨリ回答セリ是レニ依テ見レハ處分ヲ爲シタル官廳ヨリ稅務署ヘ通知シタルモノハ土地臺帳ニ登錄シタルモノナレハ之ヲ以テ登記法第十六條第二項ノ手續キヲ了シタルモノトシテ指令書ヲ下付スルモ差支ナキモノト認メラレ候右ハ目下取扱上差掛リ承知致度候ニ付至急御詮議何分ノ御回報相成度此段及御照會候也

○殖民部長回答 明治三十一年六月二十日 殖拓第三二七六號

官有地ノ民有地成登記ニ關スル儀ニ付本月十三日付二三三〇號ヲ以テ御照會ノ趣諒承土地賣渡付與交換等ノ處分行爲ヲ人民ニ對シ發表スルニハ之カ指令書ヲ下付セサルヘカラス故ニ登記請求行爲ト土地賣渡等ノ行爲トハ事自ラ別個ノ問題ニ付登記請求書ヲ提出スルト否ヤト問ハス指令書ハ各自ヘ下付スヘキモノニ之アリ候尤モ登記請求上ニ付地番號ヲ必要トスルトキハ所轄稅務署ニ就キ之ヲ確メ請求書ニ記載スヘキ様請求者ニ示達相成度此段及回答候也

○同上ノ件

○內務大臣官房地理課長通牒 明治三十七年四月十一日 藏甲第 十八號
本年三月大藏省令第六號ヲ以テ土地臺帳規則施行細則改正セラレ候ニ付同省ヨリ別紙之通り申越候間爲念及通牒候也

(別紙)

○大藏次官ヨリ内務次官へ通牒 明治三十七年三月二十六日 往第三四九一號
 今般土地臺帳規則施行細則改正セラレ候ニ付其結果トシテ官有地拂下ノ場合ニ際シテハ先以テ官廳ニ於テ保存ノ登記ヲ爲シ置カサルトキハ拂受者ニ於テ登記ヲ完了シ得サルコトト相成候條御含置有之度御注意迄此段及御通牒候也

○官有地保存登記ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十七年五月二日 殖拓第一九六八號
 本年三月大藏省令第六號ヲ以テ土地臺帳規則施行細則改正ノ結果土地拂下ニ際シテハ先ツ以テ官廳ニ於テ保存ノ登記ヲ爲シ置カサルトキハ拂受者ニ於テ登記ヲ完了シ得サルコトニ相成候條土地ノ賣拂付與及交換等所有權移轉ニ際シテハ先ツ以テ官有地トシテ保存登記方取計相成度將又右登記ニ就テハ地番號ヲ要シ候ニ付從來稅務署ニテ付シタル地番順ニ依リ付記相成度經伺此段通牒候也
 追テ地番ハ番號簿ヲ備ヒ置キ整理相成度爲念申添候也

○同上ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十七年五月十二日 殖拓第一九六八號
 土地ノ賣拂へ付與及交換等所有權ノ移轉ニ際シテハ先ツ以テ官有地ノ保存在登記ヲ要スル旨五月二日殖拓第一九六八號ヲ以テ通牒ニ及置候處指令書(本廳處分共 支廳處分共)官有地ノ保存登記ヲ了セラレタル後交付スル様御取扱相成度依命此段及通牒候也

○同上ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ移牒(浦河支廳 長ヲ除ク) 明治三十七年五月十七日 殖拓第一九六八號

官有地保存在登記ノ件ニ付別紙寫ノ通り浦河支廳長ノ照會ニ府シ回答致候條爲御參考此段及移牒候也
 ○浦河支廳長ヨリ照會 明治三十七年五月九日 浦二甲第九四號

本月二日付殖拓第一九六八號ヲ以テ本年三月大藏省令第六號土地臺帳規則施行細則改正ノ結果土地ノ賣拂付與及交換等所有權移轉ニ際シテハ先以テ該地ヲ官有地トシテ保存登記取計フヘキ旨御通牒相成候處未開地處分法ニ依ル所有權移轉モ右ニ包含セラレ居ル義ニ候ヤ果シテ然ラハ取扱上左記各項承知致置度此段照會候也

- 一、未開地處分法ニ依ル土地ノ所有權移轉ニ際シ其處分ニ先チ官有地トシテ登記ヲ爲スモノトセハ同法第三條ニ依ルモノノ如キハ其地目ハ成功地目ヲ付シ官有地第三種畑或ハ山林トシテ登記囑託ヲ了シ然ル後借地人ニ付與ノ手續ヲ爲ササルヲ得ス然ルトキハ其付與前該地ハ未開地ヨリ官有畑地ニ移ルヲ以テ全ク未開地處分法ノ範圍外ニ屬シ官有地處分ノ各法規ニ依リ處分セサルヘカラサルノ疑アリ
- 二、官有地ノ民有地成ノ場合ハ從來處分官廳ヨリ稅務署ニ對シ其通知ヲ爲シ稅務署ハ之ニ依リ土地臺帳ニ登錄シ來リタルモ改正土地臺帳規則施行細則第五條ニ依レハ登記所ヨリ通知アラサルハ其登錄ヲ爲ササルヲ以テ爾後處分官廳ヨリ其通知ヲ爲ス必要ナク未開地處分法施行細則取扱手續第三十六條ハ自然消滅シタルモノト認メ差支ナキヤ
- 三、從來官有地ノ民有地成ノ所有權取得者ハ處分官廳ノ通知ニ依リ登錄セラレタル稅務署ノ土地臺帳謄本ニ依リ登記ヲ申請シタルモ爾後ハ官廳ヨリ下付シタル指令正本ニテ直ニ登記申請ヲ爲シ得ルヤ若シクハ官廳ヨリ所有權移轉ノ登記ヲ囑託スヘキヤ又ハ其申請書ニ連署ヲ與フヘキ義ナルヤ

右

○殖民部長ヨリ浦河支廳長へ回答

明治三十七年五月十六日
殖拓第一九六八號

官有地保存登記ノ義ニ付五月九日浦二第九〇四號ヲ以テ御照會ノ處未開地處分法ニ依ル所有權移轉モ五月二日殖拓第一九六八號通牒ニ包含セル義ニ有之候ニ付左ノ通り御承知相成度

一、成功地目ヲ以テ登記スヘキモノニシテ未開地ヲ貸付シタル爲メ成功シタルモノナルカ故ニ未開地處分法ノ範圍外ニ屬スルモノニアラス
二、處分ノ際依據シタル法律規則ノ條項等ヲ稅務署ニ於テ知ルノ必要アルヲ以テ從前ノ通り通知ヲ要ス

三、登記權利者ノ請求ニ因リ遲滯ナク登記所ニ囑託スルコトヲ要ス（不動産登記法第三十條第六十二條參照）

右經伺及回答候也

○長官ヨリ函館控訴院長へ照會

明治三十九年十一月二十四日
地第 四一〇〇號

各區裁判登記所手續區々ニ涉リ執務上支障尠カラサルヲ以テ過般當廳吏員ヲシテ貴廳ニ出頭打合ヲ爲サシメ候へ共尙ホ念ノ爲メ左記事項ニ付御意見承知致度而シテ御回答ノ上ハ其旨各區裁判所へ御通告相成候様致度此段及御照會候也

左記

一、不動産登記義務者（官廳ニ非ス）ノ登記承諾書ニハ印紙稅法ニ依リ印紙貼付セサルモ登記上支障無之哉

二、土地寄附及交換等一切ノ處分權ヲ委任セラレタルモノハ登記ニ關スル別段ノ委任狀ヲ所持セサルモ登記スルヲ得ル義ナル哉

三、同一區裁判所ハ一時ニ數件（同一人）登記囑託スル場合ニハ一件毎ニ委任狀又ハ親族會ノ同意書或ハ裁判所ノ決定書ノ原本ヲ添付セサルモ一件ニ原本ヲ添付セハ他ハ其寫ヲ添付シ登記上支障無之義ナルヤ

四、番外地或ハ番外地ノ甲又ハ番外地ノ一ナルモノハ土地ノ地番ト認メラル、義ナル哉

五、未タ地番ノ設定ナキ登記申請人ノ住所ハ何國何郡何村或ハ何村何字又ハ何村番外地（無番地）ト記載シ登記上支障ナキ義ナル哉

六、行政廳カ登記ノ有無ヲ區裁判所ニ對シ照會スルモ區裁判所ハ之レニ回答スル能ハサル義ナル哉

以上

○函館控訴院長回答

明治三十九年十一月二十六日
函館控訴院中第四五三號

本月二十四日付五地第四一〇〇號ヲ以テ登記手續上ノ儀ニ付御照會ノ趣了承右ハ別記ノ通り致思考候此段及御回答候也

追テ本件ハ當院管内各裁判所へ通牒致置候此旨申添候

記

一、印紙貼付セサルモ登記上支障ナシ

二、別段ノ委任狀ヲ所持セサルモ登記シ得ヘシ

三、一件ニ原本ヲ添付セハ他ハ其寫ヲ添付シ登記上支障ナシ

四、番外地ノ甲又ハ番外地ノ一ナルモノハ土地ノ地番ト認メ得ヘキモ單ニ番外地トノミアルモノハ地番ト認ムルヲ得ス

五、何村番外地又ハ無番地ト記載セハ登記シ得ヘキモ何村或ハ何村何字トノミニテハ登記上支障

六、區裁判所ハ好意上回答スルハ格別之レニ應答スヘキ責務ナシ
アリ
以上

○國有地拂下等ノ場合登記取扱方ノ件

○長官ヨリ札幌稅務監督局長ヘ照會 明治三十七年五月二十三日
殖拓第二六四六號

本年大藏省第六號ヲ以テ土地臺帳規則施行細則改正ノ結果國有地拂下等ノ爲民有地成ノ場合ハ先以テ官廳ニ於テ保存ノ登記ヲ爲シ置カサルトキハ拂受人ニ於テ登記ヲ完了シ得サル旨大藏次官ヨリ內務次官ニ通牒有之趣ヲ以テ內務省ヨリ移牒有之候ニ付當廳ニ於テハ該趣旨ニ依リ國有地保存ノ登記ヲ爲シ而ル後賣拂ニ對スル所有權移轉ノ登記ヲ囑託スルヲ以テ登記所ノ通知ニ依リテ稅務署ニ於テ土地臺帳ニ登錄可相成モノト存セラレ候處稅務署中土地臺帳規則細則ノ改正後ト雖トモ從前ノ如ク拂受人ニ於テ臺帳ノ謄本ヲ得テ所有權保存ノ登記ヲ爲シ可然旨ノ意見ヲ有セラル、向之アル趣果シテ然ルトキハ取扱上區々ニ涉リ整理上差支候ニ付當廳員ヲシテ貴廳直稅部長ニ交渉爲致候次第モ有之候得共一應御意見承知致度此段及照會候也

○札幌稅務監督局長回答

五月廿三日付殖拓第二六四六號ヲ以テ國有拂下地土地臺帳登錄取扱方ノ件ニ付御照會ノ趣了承致候右ニ關シテハ同月十六日付殖拓第二五四九號御照會ニ對シ同月十七日直第二七六號ヲ以テ及御回答置候通土地臺帳規則施行細則改正以前民有地ニ歸シタル分ハ從前ノ如ク取扱旨通牒ニ及候得ハ最早知悉致候コト、存候得共今回御照會ノ次第モ有之ニ付テハ尙夫々指示可致候間御了承相成度右及御回答候也

追テ拂下付與通知ハ從來ノ通り該地土地臺帳所管稅務署ヘ御通知相成度尙本件ニ關スル內務省ヨリ貴廳ヘノ移牒承知致度候間謄寫御回付相成度添テ及御依頼候也

○同上通牒ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 明治三十七年五月二十三日
殖拓第二五四九號

本年三月大藏省令第六號ヲ以テ土地臺帳規則施行細則改正以前國有地ノ民有ニ歸シタルモノニ對シ其時々當廳又ハ支廳ヨリ所轄稅務署ニ報告シ同署ニ於テ該報告ニ基キ土地臺帳ニ登錄セシモノ、內其地主ニ於テ未タ保存登記ヲ爲サ、ル者有之候場合ハ是等ニ限り從前ノ通り土地臺帳ノ謄本ヲ得テ其所有權保存ノ登記ヲ爲サシメ可然コトニ札幌稅務監督局ト協議相濟同局ヨリ其旨稅務署ニ通牒ノ趣ニ候條爲參考此段依命及通牒候也

○公有水面埋立地登記ニ關スル件

○土木部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 明治三十八年三月十六日
土監第一七一號

土地臺帳規則施行細則改正ノ結果官有地拂下ノ場合ニ際シテハ一旦官廳ニ於テ保存登記ヲ爲シ更ニ所有權移轉登記致來候處公有水面埋立成功地ニ對シテハ右等ノ手續ヲ要セス埋立成功ト同時ニ民有ニ歸スヘキモノニシテ一旦官有トナシ更ニ民有トナスヘキ登記ヲ爲スモノニ無之被存候條右御取扱相成可然依命此段及通牒候也

(參照)

○神奈川縣知事ヨリ內務大臣官房會計課長內務省土木局長ヘ照會 明治三十七年
四月二十五日

土地臺帳規則施行細則改正ノ結果官有地拂下ノ場合ニ際シテハ官廳ニ於テ保存ノ登記ヲ爲シ置キ候事ニ相成候旨本月十一日付藏甲第一八號御通牒ノ趣了承然ルニ公有水面埋立竣成地ニ對シテハ其現地目タル宅地又ハ畑原野等ノ種別ニ依リ登記ヲ爲ス

不動産登記法ニ依リ登記ノ申請ヲナスニハ土地ノ番號ヲ表示スルハ必要ノ條件ナルヲ以テ未開地内ニ於ケル建物ノ登記ニ付テモ其建物所在ノ地番又ハ符合ヲ要シ其之レナキ申請ハ絶對ニ受理シ得サル趣函館地方裁判所ニ對シ司法省ヨリ指示有之候由ニ候斯クテハ區畫地ノ如キ番號(符合)ヲ有スルモノハ格別其他從前ノ貸付セル未開地其他官有地上ニ於ケル建物ハ登記ノ途ナキヲ以テ自然權利ノ確保金融ノ利便ヲ欠クニ至リ所有者ニ於テ苦痛ヲ感スル實ニ尠少ナラサルモノアルヘク拓殖上此儘默過シ難キ義ト被存候ニ付爾今右必要ニ依リ出願ノモノニ對シテハ別ニ調製セル番號簿ニ據リ順次ニ土地番號(貸一借一)ヲ附スヘキコトニ取扱ヒ御廳處分ノ土地ニ對シテハ其都度報告スヘキコト、シ其取扱方法ヲ設ケラレ尙一面右ノ趣一般ニ告示相成候様御僉議相成度候右申請候也

○拓殖部長ヨリ函館支廳長ヘ回答 大正二年四月十八日 拓殖第三九〇五號

本月九日附ヲ以テ地番ナキ土地ニ存在スル建物登記ノ件ニ付上申相成候處右ハ御意見ノ通取扱相成可然尤モ貸付又ハ使用處分等取消ノ場合ハ直ニ株消相成度而シテ函館區ノ分ハ直接當廳ニ於テ付番可致其他ノ分ハ當廳處分ニ屬スルモノニ在リテモ貴廳限リ付番シ別段報告ヲ要セス候條御了知相成度此段回答候也

○民有地ヲ國ノ公有ト爲シタル場合ニ於ケル登記ノ件

○北海道廳長ヨリ内務總務長官ヘ照會 明治三十三年十一月二十一日 殖拓第五七二六號

民有地ヲ買收シ又ハ寄付ヲ受ケ直ニ國ノ公有ト爲シタル場合ハ登記ヲ要セサル旨當廳照會ニ對シ明治二十九年八月十五日北三第七四號ヲ以テ拓殖務省北部局長ヨリ回答有之候處不動産登記法施行ノ今日ト雖モ猶右北部局長回答ノ通り取扱可然哉至急何分ノ御回答相成度此段及御照會候也

○内務總務長官ノ回答 明治三十三年十二月二十一日 地丙第一一八號

客月二十一日殖拓第五七二六號ヲ以テ民有地ヲ買收シ又ハ寄附ヲ受ケ國ノ公有トナス場合ニ於ケル登記ノ件ニ付照會ノ趣了承右ハ一般ニ登記ヲ受ケラレ候様致度此段及回答候也

○同上通牒ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 明治三十四年一月十九日 殖拓第五七二六號

民有地ヲ買收シ又ハ寄附ヲ受ケ直ニ國ノ公有ト爲シタル場合ニ於テハ登記ヲ要セサル旨去ル明治三十一年三月八日殖拓第一一六號ヲ以テ通牒ニ及ヒ置候處自今不動産登記法第三十一條ニ依リ一般ニ登記ヲ受クヘ義ニ有之候條御了知相成度而シテ登記ノ囑託ハ其權利ヲ取得シタル官廳ニ於テ之ヲ爲スヘキモノニシテ當廳用地ハ此種目組換ノ訓令ヲ受ケタル所轄支廳ニ於テ委任條項中第四十九ニ依リ登記囑託ヲ爲ス義ト承知相成度依命此段及通牒候也

○相續人曠缺ノ爲メ國庫ニ歸シタル土地登記取消手續ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長(紗那ヲ除ク)ヘ通牒 明治三十四年十一月八日 殖拓第五三〇一號

相續人曠缺ノ爲メ國庫ノ所有ニ歸屬シタル土地民有地臺帳及登記取消手續ノ件當廳ト紗那支廳ト別紙寫ノ通り往答相成候ニ付爲參考此段及通牒候也

(別紙寫)

紗那支廳長照會 明治三十四年十月十二日 外

無主ノ不動産ハ民法第二百三十九條ニ依リ國庫ノ所有ニ歸屬スヘキモノニ有之候處茲ニ地主死亡後相續人無之爲メ國庫ノ所有トナルヘキ土地有之右ハ民有地臺帳削除登記取消官有地編入ノ手續

ヲ要スル處其ノ處理ノ順序管轄區裁判所ノ通知ヲ俟ツヘキヤ將タ支廳ニ於テ夫々取運フヘキヤ取扱方詳細御回示相成度此段及御照會候也

殖民部長回答 明治三十四年十月三十一日
殖拓第五三〇一號

無主ノ土地處分ノ件ニ付本月十二日付號外ヲ以テ御照會ノ趣了承同地ハ民法千五十九條及明治三十三年十二月六日勅令第四百〇九號ニ依リ管理人ヨリ地方行政廳ニ引渡シ同廳ニ於テハ明治三十四年十一月二十四日勅令第二百七十六號第二條ニ依リ登記ノ抹消ヲ申請スル順序ニシテ而ルトキハ登記所ニ於テ明治二十二年三月二十二日勅令第三十九號第三條ニ依リ土地臺帳所管廳ニ通知可相成等ニ候條右ニ御承知有之度此段及回答候也

○各省ノ所管ニ係ル不動産ノ登記囑託ニ關スル件

○勅令第五號 明治三十五年

各省大臣カ其ノ所管ニ係ル不動産ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ省令ヲ以テ指定シタル官吏ハ不動産登記法第三十五條第五號ノ書面ヲ提出スルヲ要セス

○登記權利者表示ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 明治三十七年六月十八日
殖拓第二九六二號

官有地ノ保存登記囑託ニ際シ登記權利者ノ表示ハ内務省トスルコトニ其向ト打合濟ニ候條右ニ御了知相成度依命此段及通牒候也

○同上ノ件

○内務大臣官房地理課長ヨリ通牒 明治三十八年一月十六日
三七司甲第三九號ノ内

當省主管ニ屬スル國有土地ノ登記ヲ求ムル場合ニ於テ所有者ノ名義表示ハ内務省ト爲スヘキ義ト御承知相成度依命及通牒候也

○國有土地登記ニ關スル件

○長官ヨリ司法省民刑局長ヘ照會 明治四十二年五月十三日
五拓第二四三二號

陸軍省名義ヲ以テ所有權ノ登記ヲ爲シタル官有ノ土地内務省主管ニ移替シタル場合ハ從來名義變更トシテ登記ヲ囑託シ來リ己ニ函館室蘭兩區裁判所ニ於テ登記濟ミニナリタル例モ有之候然ルニ今回釧路國釧路郡釧路町大字真砂町ニ於ケル陸軍省用地不用ニ歸シ内務省主管ニ移リタルニ依リ登記名義陸軍省トアルヲ内務省名義ニ變更ノ登記ヲ囑託セシニ釧路區裁判所ニ於テハ該登記ハ登記名義人表示ノ變更ト云フヘキモノニアラストノ理由ヲ以テ却下セラレタルニ依リ之ヲ不當トシテ根室地方裁判所ニ抗告セシニ是又理由ナキモノトシテ棄却セラレタリ然ルトキハ國有土地ノ主管移動ニ就テハ結局登記ヲ爲スヘカラサルコトニ相成ヘク候果シテ然ラハ該土地ハ現ニ登記簿上陸軍省名義ナルモ己ニ陸軍省ヨリ内務省主管ニ移替シタルモノナルヲ以テ當廳ニ於テ適法ニ賣拂處分ヲ爲シ買受人ノ請求ニ依リ内務省ハ登記義務者トシテ所有權ノ移轉登記ヲ囑託スルモ差支ナキ儀ナルヤ差掛リタル事件ニ付至急何分ノ御意見承知致度此段及御照會候也

○民刑局長回答 明治四十二年五月二十一日
司法省民刑第四八二號

本年五月十三日五拓第二四三二號ヲ以テ官有ノ土地登記ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承陸軍省名義ヲ以テ所有權登記ヲ爲シタル官有ノ土地ヲ内務省ノ主管ニ移替シタル場合ニ於テハ其主管ノ移動ニ付テハ何等ノ登記ヲモ爲スコトヲ要セサルヘシ隨テ該官有ノ土地ハ登記簿上陸軍省名義ト爲シアルニ拘ラス内務省名義ヲ以テ賣拂ノ處分ヲ爲シ及ヒ之カ登記ヲ囑託スルコトヲ得ル儀ト思考致候此段及回

答候也

○登記原因ヲ證スル書面ニ關スル件

○増毛支廳ヨリ殖民部長へ照會 明治三十六年九月三十日 乙第八七二號

明治三十四年六月四日御廳指令第一八九一號ヲ以テ部内増毛郡増毛町長ニ對シ土地交換ノ義許可相成候ニ付テ増毛町ヨリ取得シタル土地所有權移轉ノ登記囑託上登記原因ヲ證スル書面トシテ當時者連署シタル交換證書必要ノ旨ヲ以テ客年五月五日第二一〇號照會ニ對シ同六月十日付殖拓第二四〇六號ヲ以テ登記原因ヲ證スル書面ハ即チ交換許可指令ニシテ登記義務者ノ承諾モ又該指令書ニ依リ明カナルヲ以テ別ニ照會ノ如キ書面ヲ要セサル旨御回報相成候ニ付テハ右御回答ノ旨趣ニ依リ今般其筋へ登記及囑託候處交換許可指令書ハ登記原因ヲ證スル書面ニアラサル旨ヲ以テ却下サレタルニ付特ニ吏員ヲ派シ該御回答ノ旨趣ヲ陳辯詳細打合候モ登記所ニ於テハ依然指令書ノ外ニ土地交換契約書(登記原因ヲ證スル書面トシテ)ヲ要ストノ主張ニシテ交換許可指令書ノ如キハ單ニ土地交換契約ノ前提ニ過キストノ見解ニ有之登記囑託上差支候條尙御審議ノ上該交換契約書作製御回送相成候様至急御取計相成度此段及照會候也

○殖民部長回答 明治三十六年十二月三日 殖拓第五〇九九號

九月三十日乙第八七二號ヲ以テ交換處分ニ因リ取得シタル不動産登記囑託ニ際シ登記原因ヲ證スル書面ノ件ニ付御照會有之候處右登記原因ヲ證スル書面トシテハ交換許可ノ指令書ヲ充テ差支無之ト認メ候ニ付一應札幌地方裁判所長ニ協議相成タルニ特ニ調査ヲ要スルモノト認ムルモノ、外ハ異議無之ニ依リ其旨同裁判所管内各登記所へ通牒相成候旨回答有之候條右ニ御了知相成度此段及回答候也

○同上ノ件

○長官ヨリ札幌地方裁判所長へ照會 明治三十六年十一月二日 殖拓第五〇九九號

寄附若クハ交換處分ニ依リ當廳カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ登記囑託ヲ爲ス場合登記法第三十一條ノ登記原因ヲ證スル書面トシテハ其寄附又ハ交換許可ノ指令書ヲ以テ之ニ充テ候様豫テ御協定致置度此段及御照會候也

追テ本文ニ對シ別ニ御異存無之候ハ、其旨各登記所へ宛テ御通牒煩ハシ度此旨申添候也

○札幌地方裁判所長回答 明治三十六年十二月一日 申第一〇〇三號

客月二日付殖拓第五〇九九號ヲ以テ御照會相成リタル寄附若クハ交換處分ニ依リ貴廳カ取得シタル不動産ニ關スル權利ノ登記囑託ヲ爲ス場合登記法第三十一條ノ登記原因ヲ證スル書面ニ其寄附又ハ交換許可ノ指令書ヲ充テ候儀ハ特ニ調査ヲ要スルモノト認ル外ハ異存無之候此段及御回報候也

追テ當廳管内各登記所へ本文ノ次第通牒致置候此旨申添候

○登記請求事項戸長へ委任ノ件

○北海道廳指令第五一〇三號 明治三十七年 十二月十四日

根室支廳

明治三十七年十月三十日根二第一九四六號稟請登記囑託事務(保存登記ヲ除ク)千島國紗那郡紗那外ニケ村戸長及同國向郡留別外四ヶ村戸長へ委任ノ件認可ス

○根室支廳長稟請 明治三十七年十月三十日 根二第一九四六號

支廳長御委任條件第三十七號ノ幾分登記法第三十條ニ依ル登記囑託ノ件ハ交通不便ノ地ニ限リ去ル三十一年一月御認可ヲ得部内各戸長へ分任致置候處其後客年十二月紗那支廳廢止ノ結果新ニ加ハリ

タル紗那外二ヶ村戸長及留別外四ヶ村戸長へモ同様分任ノ必要有之候間御認可相成度此段稟請候也

○殖民部長ヨリ根室支廳長へ通牒 明治三十七年十二月十四日 殖拓第四四八二號

本年十月三十日根二第一九四六號ヲ以テ登記囑託事務ヲ戸長へ委任ノ件ニ付稟請相成候處千島國ハ時ニ交通不便ノ地ト被認囑託ノ件(保存登記ヲ除ク)特ニ御認可相成候條御了知相成度而シテ稟請ニ依レハ三十一年一月北海道廳指令第一二〇號ハ尙有効ナルモノトシ戸長ヲシテ依然登記囑託事務ヲ取扱ハセ居ル如ク被認候處右ハ三十五年五月本廳令第七十六號ヲ以テ三十年十一月同廳令七十一號廢止ト共ニ自然消滅セルモノニ有之候條之レ又御了知相成度依命此段及通牒候也

(參照)

明治三十五年五月三十一日北海道廳令第七十六號支廳長委任條件

三十七 不動産登記法ニ依リ官廳ノ爲スヘキ登記囑託ノ事

登記法

第三十條 (省署)

(同)

明治三十年十一月二十八日北海道廳令第七十一號支廳長委任條件

四十八 登記法第十七條及第十八條ニ依ル登記請求ノ事

登記法

(第十七條同十八條省署)

○同上ノ件

○根室支廳長稟請 明治三十七年十二月二十七日 根二第一九四六號

支廳長御委任條件第三十七號ノ幾分登記法第三十條ニ依ル登記囑託ノ事務ハ先般擇捉島紗那外二ヶ

村戸長及留別外四ヶ村戸長へ分任ノ件御認可相成候處尙ホ右ノ外交通最モ不便ナル國後島泊外二ヶ村戸長へモ分任ノ必要有之候間右件特ニ御認可相成度此段稟請候也

○長官指令 明治三十八年一月二十日 北海道廳指令第一八三號

明治三十七年十二月二十七日根二第一九四六號稟請登記囑託事務(保存登記ヲ除ク)ヲ千島國國後郡泊三ヶ村戸長へ委任ノ件認可ス

○國有地保存登記濟申報ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十七年十二月二十日 殖拓第五一九八號

官有地ノ民有地ニ移轉ノ爲メ保存登記ヲ申請スル場合ノ件ニ關シ客月一日付殖拓第三一六八號ヲ以テ及通牒置候處右ノ内第二號未開地處分法第三條ニ依ル付與ニシテ當廳處分ニ屬スルモノハ願書類進達ノ際保存登記濟ノ旨申報相成度此段爲念及通牒候也

○未開地處分法第二十條第二項申請書ノ意義解釋ノ件

○第五部長ヨリ各支廳長へ通牒 (室蘭支廳) 明治四十一年七月二十五日 (長ヲ除ク) 五拓第四八一九號

改正未開地處分法第二十條ニ依ル登記ノ取扱方ニ就キテハ同條第二項ニ於テ「前項ノ登記ノ申請ヲナス者ハ其申請書ニ云々」ト規定セラレタルヨリ同項ハ登記權利者ノミヨリ登記ヲ申請シ得ヘキコトヲ認メタルニアラスヤトノ疑義モ有之ヘク候得共處分法第二十條ハ一定ノ期間内ニ登記ヲ請フトキハ登録稅ヲ免除スヘク其登記ヲ要求スルニハ依據シタル法律ヲ表示セシメントスル精神ニ止マリ登記要求手續ノ如キハ敢テ登記法ノ例外ヲナサシムルノ注意ニアラス故ニ畢竟同條第二項ノ申請ナル文字ハ登記法ノ所謂囑託ヲ意味スルモノト解スヘキモノニ有之候依テ登記手續ニ就キテハ爾後モ

尙ホ從來ノ如ク囑託ノ方法ニ依ルヘク唯囑託書ニ登記原因ヲ表示スルニ當リ北海道國有未開地處分法ニ依リタル旨ヲ明記スルヲ要スル義ニ有之候條右ニ取扱相成度經伺此段及通牒候也

○賣拂地登記事項抹消ニ關スル件

○札幌地方裁判所長ヨリ長官ヘ回答 明治四十三年七月二十日 札幌地方裁判所中第七二三號

拓殖第八三六號ヲ以テ北海道國有未開地處分法ニ基ク登記手續ニ關シ御照會ノ趣了承同法ニ依リ賣拂ヒタル土地ニ付テハ其ノ處分ノ取消ハ同法所定ノ原因ニ據ルモノニシテ契約等ニ起因スルモノニアラサルヲ以テ縱令其處分ヲ取消スヘキ事由消滅スルモ特ニ抹消登記等ヲ爲スヘキ必要ナキモノト思料候條此段及回答候也

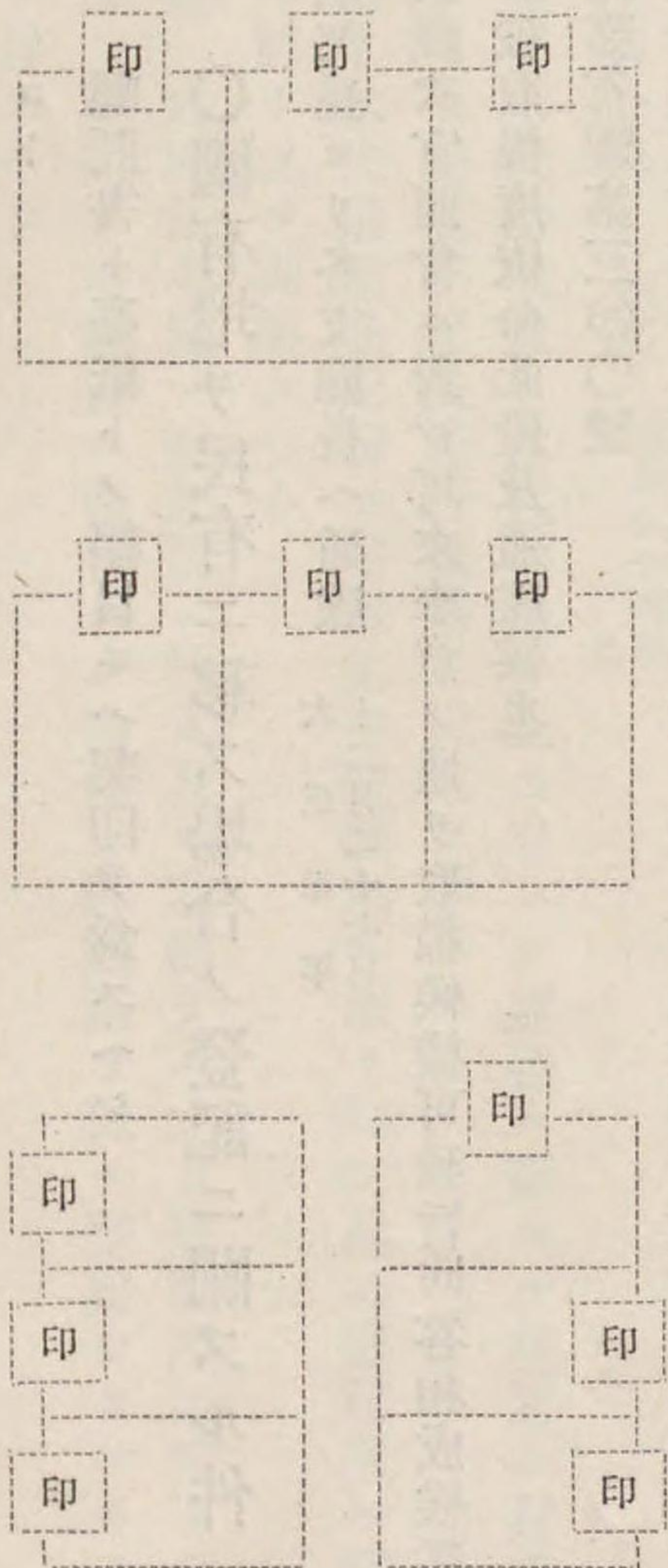
○長官ヨリ札幌地方裁判所長ヘ照會 明治四十三年七月十九日 拓殖第八三六號

北海道國有未開地處分法第二條前段ニ依リ賣拂タル土地ニシテ所有權移轉登記シタル土地ニ對シ豫定方法ノ通り成功ヲ遂ケ成功證明書ヲ交付シタル場合ニ於テ買受人カ成功濟ニ屬シ同法第十四條ノ制裁ヲ受クルコトナキニ至リタル登記ヲナサントスルトキハ成功證明書ヲ登記原因ヲ證スル書面トシテ買受人ヨリ申請シ得ルカ如キモ登録法第二十六條ニ據レハ登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ申請スルヲ通例トシ其一方ヨリ申請シ得ヘキ場合ハ第二十七條第二十八條等ニ規定シアリテ本件ノ如キ場合ヲ包含セサルニ付買受人ノミニテハ申請シ得サルモノ、如ク又買受人ヨリノ請求ニ依リ官廳ヨリ條件抹消ノ登記囑託ヲナサントスルモ官廳囑託ノ場合ハ登記法第二十九條以下ニ規定シアルモ本件ノ如キ既ニ民有ニ歸シタル不動産ニ關スル權利ニ就キ爲スヘキ登記ニ就テハ之レカ規定ナク結局斯カル場合ハ登記法上如何ナル手續ニ依ルモノナルヤ聊カ疑義ニ涉リ候條取扱振御回示相成度此段及御照會候也

○登記囑託ノ際印紙貼付方ノ件

○函館地方裁判所長ヨリ長官ヘ通牒 明治四十三年九月二十日 庶第 四 七 四 號

今般登記ニ關スル書類保存及取締上ノ必要ニ因リ登録稅又ハ手数料トシテ納付スヘキ收入印紙ハ從來ノ如ク之ヲ申請書ノ欄外又ハ餘白ニ貼付セム別ニ之ヲ貼付スヘキ臺紙ヲ添付セシメ登記所ニ於テハ申請書ト印紙貼付ノ臺紙トヲ區分シテ編綴保存セシムルコトニ相定メ候條十月以後貴官ヨリ當廳管内登記所ニ對シ登記ヲ囑託セラル、場合ニ於テモ登録稅ヲ要スルモノニ付テハ右ニ準シ別紙雛形ノ如キ臺紙ヲ囑託書ノ首ニ添付シテ御差廻相成候様致度此段及御通牒候也
用紙美濃版全紙又ハ半紙



登錄稅何圓何錢

備考

一 印紙ハ縱列若クハ横列ニ貼付シ各列ノ間五分以上ノ餘地ヲ存スルコト

- 一 印紙一枚毎ニ囑託官吏ノ官職印ヲ以テ消印ヲ爲スコト
- 一 登録税額ハ囑託書ニ記載スル外印紙貼付臺紙ニモ亦之ヲ記載シ其下ニ捺印スルコト
- 一 過貼印紙ヲ剝取リタルトキハ其枚數ヲ記載シ又之ヲ拋棄スルトキハ其額ヲ記載シ捺印スルコト
- 一 囑託書ト臺紙トノ綴目ニハ契印ヲ爲スヘシ

○國有地ヲ民有ニ移ス場合ノ登記ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 大正元年十二月二十七日
別紙大藏次官照會ニ對シ可來來意ノ通り取扱候様可致旨回答相成候趣其筋ヨリ通牒有之候條右趣旨ニ依リ被取扱度依命ニ依リ被取扱度依命此段及通牒候也

内務省理第三〇〇號

別紙大藏次官照會ニ對シ可成來意ノ通り取扱候様可致旨回答相成候間右趣旨ニ依リ被取扱度依命及通牒候也

大正元年十二月十七日

内務大臣官房地理課長

大

谷

靖

北海通廳長官石原健三殿

往第一二四一六號

國有地ノ取扱方ハ必シモ民有ト同一ナラサルニ依リ之カ民有ト爲リタルトキハ登記所ノ通知ハ土地臺帳ニ符合セサルコト有之右ノ場合ニ於テハ所有者ニ變更登記ヲ爲サシムルノ要有之官民ノ不便ヲ生スルニ依リ國有地ノ地目及地積ニシテ民有地ノ取扱方ト異ナルモノヲ民有ト爲ストキハ未

登記ノ土地ハ民有地ノ取扱ニ準シ地目及地積ヲ定メ保存登記ヲ爲シ既登記ノ土地ハ未登記土地ノ例ニヨリ變更登記ヲ爲シタル上所有權移轉ノ登記ヲ爲スコトニ致度存候條御同意ノ上各省ニ御通牒相成候様致度此段及照會候也

大正元年十一月三十日

大藏次官

橋

本

圭

三

内務次官床次竹二郎殿

○永代借地及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記取扱手續ノ件

○司法省令第十五號

明治三十四年九月

第一條 永代借地及ヒ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ヲ準ス

第二條 永代借地登記簿ハ登録第一號雛形ニ依リ永代借地建物登記簿ハ登録第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 外國領事廳ノ登記簿ノ謄本及ヒ其譯文ハ之ヲ登記所ニ備フヘシ

第四條 登記ノ申請書ニ添付スル書面カ外國語ヲ以テ登記シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ其譯文ヲ付スヘシ

第五條 外國領事廳ノ登記ヲ登記簿ニ移スニハ其譯文ニ依ルヘシ

外國領事廳ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ外國領事廳ノ登記簿ノ謄本及ヒ其譯文ニ登記簿第何冊何丁ニ移シタル旨、登記番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第六條 明治三十四年勅令第七十九號第二條ニ依リ地方廳ヨリ永代借地券ノ抹消ノ通知アリタルトキハ登記官吏ハ永代借地登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其登記用紙中永代借地權ヲ目的トスル他ノ權利ニ關スル登記アルトキハ表示欄ニ地券抹消ノ通知アリタル旨ヲ記載シ置キ他ノ權利ニ關スル總テノ登記ニ付キ抹消ノ登記ヲ爲シタル後又ハ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ因リ他ノ權利ニ關スル登記ヲ普通登記簿ニ移シタル後登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第七條 前條第一項ノ通知アリタル場合ニ於テ永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ其登記ヲ普通登記簿ニ移シ前登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スヘシ

附 則

第八條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 明治三十二年司法省令第四十一號外國人又ハ外國法人ノ權利ノ目的タル不動産ニ關スル登記取扱手續ハ之ヲ廢止ス

○同上建物登記ノ謄本抄本請求等ニ關スル手数料ノ件

○司法省令第十六號 明治三十四年九月

永代借地及ヒ永代借地ノ上ニ存スル建物ノ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ノ請求又ハ登記簿若クハ其附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號ノ規定ヲ準用ス本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十二年司法省令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

○立木登記ニ關スル件

○法律第二十二號 明治四十二年四月二日

第一條 本法ニ於テ立木ト稱スルハ一筆ノ土地又ハ一筆ノ土地ノ一部分ニ植栽ニ依リ生立セシメタル樹木ノ集團ニシテ其ノ所有者カ本法ニ依リ所有權保存ノ登記ヲ受ケタルモノヲ謂フ

第二條 立木ハ之ヲ不動産ト看做ス

立木ノ所有者ハ土地ト分離シテ立木ヲ讓渡シ又ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ効力ハ立木ニ及ハス

第三條 立木ノ所有者ハ立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テモ當事者ノ協定シタル施業方法ニ依リ其ノ樹木ヲ採取スルコトヲ妨ケス

第四條 立木ヲ目的トスル抵當權ハ前條ノ規定ニ依ル採取ノ場合ヲ除クノ外其ノ樹木カ土地ヨリ分離シタル後ト雖其ノ樹木ニ付之ヲ行フコトヲ得

抵當權者ハ債權ノ期限ノ到來前ト雖前項ノ樹木ヲ競賣スルコトヲ得但シ其ノ競落代金ハ之ヲ供託スヘシ

樹木ノ所有者ハ競賣ヲ爲スヘキ地ノ裁判所ニ相當ノ擔保ヲ供託シテ競賣ノ免除ヲ申出ツルコトヲ得

樹木ノ所有者ハ抵當權ニ對シテ一箇月以上ノ期間ヲ定メ競賣ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若

抵當權者カ其ノ期間内ニ競賣ヲ爲ササルトキハ其ノ樹木ニ付抵當權ヲ行フコトヲ得ス

第五條 立木カ土地ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ土地又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ヲ設定シタルモノト看做ス但シ其ノ存續期間及地代ニ當事者ノ請求ニ依リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム

第六條 立木カ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ地上權又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ノ存續期間内ニ於テノ土地ノ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ存續期間及借貸ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ地上權ノ存續期間ノ定ナキトキハ其ノ期間ハ當事者又ハ賃借人ノ請求ニ依リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム

民法第六百四條及第六百十二條ノ規定ハ第一項ノ賃貸借ニ之ヲ適用セス

第七條 前條ノ規定ハ轉貸ヲ爲スコトヲ得ル土地ノ賃貸借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 地上權者又ハ土地ノ賃借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ地上權者又ハ賃借人ハ抵當權者ノ承諾アルニ非サレハ其權利ヲ拋棄シ又ハ契約ヲ解除スルコトヲ得ス

第九條 立木カ抵當所ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者カ樹木ノ運搬ノ爲土地ヲ使用スル權利ヲ有スルトキハ立木ノ競落人ハ其ノ權利ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相當ノ對價ヲ支拂フヘシ

前項ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利ニ之ヲ準用ス

第十條 第二項第三項及第三條乃至第九條ノ規定ハ先取特權ニ之ヲ準用ス

第十一條 土地又ハ地上權カ質權ノ目的タル場合ニ於テハ其ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 各登記所ニ立木登記簿ヲ備フ

不動産登記法第十四條第二項及第十九條ノ規定ハ前項ノ登記簿ニ之ヲ準用ス

第十三條 立木登記簿ハ一箇ノ立木ニ付一用紙ヲ備フ

第十四條 立木登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區ニ分テ表題部ニ表示欄表示

番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各立木ニ付登記簿ニ始テ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ立木ノ表示ヲ爲シ及其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ先取特權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第十四條ノ二 登記所カ市區町村ヨリ實測圖面ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキハ便宜整理シ永久ニ之ヲ保持スヘシ

第十五條 登記ノ申請書ニハ不動産登記法第三十六條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位置及段別其ノ部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其名稱又ハ番號

二、樹種、數量及樹齡

第十六條 不動産登記法第六條及第七條ノ規定ハ所有權保存ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十七條 所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ保存登記ニ付土地ノ登記簿上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スヘシ

第十八條 既登記ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ土地ノ登記用紙中土地又ハ地上權ヲ目的トスル先取特權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ立木登記簿ニ其ノ登記ヲ轉寫スヘシ但シ其ノ登記ニ抵當權カ樹木ニ及ハサル旨ノ登記アルトキハ此ノ限ニ在ラス

不動産登記法第八十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 既登記ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ立木ノ登記番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ立木ノ區分ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ立木ノ存スル土地ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

立木ノ登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ前項ノ規定ニ依リテ記載シタル登記番號ヲ朱抹シ登記官吏捺印スヘシ

第二十條 立木ノ分合若ハ滅失アリタルトキ又ハ第十五條第一號及第二號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ但シ樹木ノ發生若ハ成長又ハ第三條ノ施業方法ニ依ル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

立木ノ存スル土地ノ地目番號又ハ段別ニ變更アリタルトキ亦前項ニ同シ

不動産登記法中建物ノ滅失及其ノ表示ノ變更ノ登記ニ關スル規定ハ前二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條 立木ヲ目的トスル抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ不動産登記法第百十七條ニ掲ケタル事項ノ外施業方法ヲ記載スヘシ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九類

○外國人借地權

○外國人又ハ外國法人ノ永代借地權ニ關スル件

○法律第三十九號

明治三十四年 明治四十一年六月 九月 法律第六十二號ヲ以テ改正

第一條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ハ之ヲ物權トシ民法中所有權ニ關スル規定ヲ準用ス

永代借地權ハ民法ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的タルコトヲ得地券條約又ハ法令ニ別段ノ定アル場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第二條 永代借地權ノ移轉アリタルトキハ其ノ土地ノ所在地ヲ管轄スル地方廳ニ於テ地券ニ其ノ旨ヲ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二條ノ二 永代借地權ノ競賣ニ付テハ本法ニ別段ノ定メアルモノヲ除クノ外民事訴訟法及競賣法中不動産ノ競賣ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條ノ三 競賣ノ申立書ニハ永代借地券ヲ添付スヘシ申立人地券ヲ提出スルコト能ハサルトキハ地方廳ノ認證アル地券ノ謄本ヲ添付スヘシ

第二條ノ四 裁判所ハ競賣開始ノ決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ地方廳ニ通知スヘシ

地方廳ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ競賣手續中地券ニ移轉ノ記載ヲ爲スコトヲ得ス

第二條ノ五 民事訴訟法第七百條第一項又ハ競賣法第三十三條第一項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ競落

人カ取得シタル永代借地權ノ移轉ノ登記ヲ地方廳ニ囑託スヘシ

前項ノ場合ニ於テ申立人ヨリ提出シタル地券アルトキハ囑託書ニ之ヲ添付スヘシ

第二條ノ六 地方廳ニ於テ前條ノ囑託ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ之ヲ裁判所ニ返還スヘシ

第二條ノ七 地方廳カ第二條ノ五ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ於テ囑託書ニ地券ノ添付ナキトキハ地券名義人ニ對シ地券ノ提出ヲ命スヘシ

地券名義人カ地券ヲ提出シタルトキハ遲滯ナク其ノ地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ之ヲ裁判所ニ送付スヘシ

第二條ノ八 地券名義人カ地券ヲ提出セサルトキハ地方廳ハ競落人ニ對シ更ニ新地券ヲ發給スヘシ提出セサル地券ハ新地券ノ發給ニ因リテ其効力ヲ失フ

第二條ノ九 前條第一項ノ規定ニ依リ發給スヘキ地券ハ地方廳ノ記録ニ基キ原地券ノ全文ヲ掲ケテ之ヲ作成シ且競落人ノ氏名國籍住所新地券發給ノ原因其ノ日附及地方長官ノ官氏名ヲ記入シ官印ヲ押捺スヘシ

第二條ノ十 地方廳カ第二條ノ八第一項ノ規定ニ依リ新地券ヲ發給スルトキハ其ノ地券ニ永代借地權ノ移轉ノ記載ヲ爲シ遲滯ナク之ヲ裁判所ニ送付スヘシ

第二條ノ十一 地券カ第二條ノ八第二項ノ規定ニ依リ其ノ効力ヲ失ヒタルトキハ地方廳ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ舊地券名義人ニ通知シ且官報及新聞紙ヲ以テ公告スヘシ

第二條ノ十二 地方廳ニ於テ永代借地權ノ移轉ヲ地券ニ記載シタルトキハ遲滯ナク其ノ永代借地ノ所在地ヲ管轄スル登記所ニ其旨ヲ通知スヘシ前項ノ通知書ニハ地券ノ謄本ヲ添付スヘシ

第二條ノ十三 管轄登記所ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ永代借地權ノ移轉競落ニ

因リテ消滅シタル永代借地權上負擔記入ノ抹消及競賣申立記入ノ抹消ノ登記ヲ爲スヘシ

第二條ノ十四 裁判所ハ第二條ノ六ノ規定ニ依リ地券ノ返還ヲ受ケタルトキ又ハ第二條ノ七第二項及第二條ノ十ノ規定ニ依リ地券ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ競落人ニ送付スヘシ

第二條ノ十五 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ地方廳ニ通知スヘシ

第二條ノ十六 永代借地權ノ競賣ニ關スル規定ハ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス

第四條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ニ關スル登記及永代借地ノ上ニ存スル建物ニ關スル登記ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附 則

第五條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條 民法施行法第四十五條ノ規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第七條 永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利ヲ本法施行前ニ地上權又ハ之ヲ目的トスル權利トシテ登記セラレタルモノハ永代借地權又ハ之ヲ目的トスル權利トシテ登記セラレタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

○地上權ノ移轉ノ場合取扱方ノ件

○内務省訓令第一〇九號 明治三十二年十一月二十八日

外國人又ハ外國法人ノ爲メニ永久存續ノ目的ヲ以テ設定シタル地上權移轉ノ場合ニ於テハ當事者ノ届出アリタルトキハ地券裏書又ハ書替ノ手續ヲ爲スヘシ

○借地權ノ裏面又ハ書替ニ手數料ヲ徵收セシサル件

○内務大臣官房庶務課長地方局長連署通牒 明治三十三年二月八日 崎甲第二六五號ノ一

外國人又ハ外國法人ノ爲ニ永久存續ノ目的ヲ以テ舊居留地内ニ於テ設定シタル地上權ノ移轉ニ付當時者ノ届出ニ依リ地券ノ裏書又ハ書替ノ手續ヲ爲スヘキ場合ニ於テ其手數料ノ如キハ之ヲ徵收スヘキ限ニ無之候依命爲念此段及通牒候也

○舊居留地地上移轉權ニ關シ裏書ノ件

○神奈川縣知事伺 明治三十三年二月二十三日 申官第二六六號

客年十二月勅令第四百五十八號ニ據リ地券裏書執行上疑義相生シ候ニ付左ニ相伺候
第一 横濱市舊居留地地券裏書ノ件ニ關シ客年十一月訓第一〇九號内務大臣御訓令ニ基キ取扱手續調査ノ上十二月十九日付官秘第一七一號ヲ以テ同大臣ニ上申致置候趣モ有之候處永代借地權讓渡ノ場合ニ於テハ地券證第二條ニ當事者所屬國領事官ノ面前ニテ之ヲ執行シ然ル後此事ヲ當廳ニ登録スルノ規定ニ有之而シテ改正條約ニ於テ同地券證中ニ領事官トアルハ總テ帝國當該官吏ニ代ル儀ニ付若シ該地券ノ條款全部有效ナリトセハ右領事官ノ代リ借地權ノ移轉ニ關涉スヘキ當該官吏ノ職務竝ニ當事者申請手續等相當規定可相成筈ト存候處前記勅令ニ此ノ事ニ關シ何等規定無之候依テ推考者 帝國現行制度ニ於テ民事契約ノ締結ハ當事者各自ノ自由行爲ニ屬シ當事者ニ於テ之ニ對スル法定上ノ保障ヲ希望スル場合ニノミ或ハ公正證書ニ據リ或ハ或ル種類ニ依リ登記手續ヲ申請(永代借地權移轉ノ場合ニ於テハ前記勅令ニ依リ地券表中ニ相當ス)スルニ過キスシテ他民事契約ノ締結ニ官吏ノ關涉候様ノ事無之儀ニ付即チ今日ニ至リテハ前記地券條款ノ一項ハ自然消滅ニ歸シ候儀ニ可有之歟殊ニ若シ同條項ニシテ有效ナリトセハ前陳ノ如ク相當規定ヲ要スルノミナラス其結果領事官ニ代ルヘキ帝

國當該官吏カ契約ノ成立ニ關涉スルハ締約上ノ必要條件トナリ其手續ヲ缺キタル契約ハ之ヲ無効ト斷定セサルヲ得ス隨テ此類ノ契約ニ基キ地券裏書ノ申請アルモ之ニ應スルヲ得リル事ト可相成如此ハ規則制度上頗ル穩當ナラサル儀ト相認メ候旁永代借地權移轉ノ契約ハ一般ノ契約ニ於ケル振合ニ依リ當事者ノ隨意執行ニ任セ候儀ト了解シ可然ヤ

第二 別紙明治二十三年十二月九日付送第二〇一號外務大臣訓示ノ結果舊居留地ニ於ケル地券ノ亡失又ハ一地區ヲ分割シテ二三地區トナシタル場合ニ其分割地區ニ對シ當事者ノ請求アルモ新ニ地券ヲ發給セサリシヲ以テ往々地券ノ存セサル地區有之此等地區ノ借地權讓渡ニ付テハ前記勅令指定ノ通取計難ク候間右様ノ場合ニハ從前取扱來リ候例ニ據リ讓渡證書ニ裏書シ且登記所ヘ其寫ヲ添付シ可然ヤ

第三 將來第二項前段ノ如キ場合ニ於テ當事者ヨリ新地券ノ發給申請アリタルトキハ之ニ應シ交付シ可然ヤ
第四 前記勅令中地券裏書ノ申請ニ關シテハ登記法ニ於ケルカ如ク其手續等規定無之候得共右申請ノ場合ニ於ケル詐僞行爲ハ能フ丈ケ之ヲ防止セサルヲ得スト存候就テハ權利移轉ノ正當ニ行ハレ又ハ行ハレタル事ヲ證明スヘキ相當ノ手段(抵當ノ手段トハ權利受授者ノ本人ニ相違ナキ事若シ代人ヲ用ユルト人ナレハ印鑑證明書ヲ提供セシムルカ如キ手續ヲ云フ)ヲ執ラシムル事トシ不應者及右證明手段ヲ遵行シ能ハサル者ハ申請却下ノ事ニ取計可然ヤ

第五 當横濱ニ於ケル前記借地權ハ渾テ國有地ニ存在スルヲ以テ帝國ノ臣民又ハ法人ニシテ之ヲ取得シタルトキハ客年勅令第三百三十三號ニ依リ直ニ所有權ヲ取得候儀ニ付此場合ニ於テハ別ニ地券裏書ノ手續ヲ必要トセサルヤニモ被存候得共前記勅令四百五十八號ニハ別ニ内外國人ノ區別規定無之ニ付外國人間ニ於テハ移轉ノ場合ト同様右裏書ヲ付與スヘキ儀ニ有之候ヤ

右及請訓候差掛居候儀モ有之候間至急御指令相仰キ候也

○内務外務司法次官ヨリ神奈川縣知事へ通牒 明治三十三年四月
神甲第四七號ノ内

勅令第四百五十八號ニ據ル地券裏書執行上ノ疑義ニ關シ申官第二六號ヲ以テ御伺出ノ趣了承右第一項第二項第三項第四項第五項共總テ御見込ノ通りニ有之候條此段依命及通牒候也

○永代借地權ニ關スル件

○勅令第七十九號 明治三十四年
九月

第一條 帝國ノ臣民又ハ法人ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ取得シタルトキハ遲滯ナク其ノ土地所在地ヲ管轄スル地方廳ニ永代借地券ヲ提出シテ抹消ヲ受クヘシ

前項ニ依リ永代借地券ノ抹消ヲ受ケタルトキハ帝國ノ臣民又ハ法人ハ其ノ土地ノ所有權ヲ取得ス
第二條 帝國ノ臣民又ハ法人カ前條第一項ノ規定ニ依リ永代借地券ノ抹消ヲ受ケタルトキハ地方廳ハ其ノ土地所在地ヲ管轄スル登記所ニ其旨ヲ通知スヘシ

第三條 第一條ノ場合ニ於テ永代借地權ヲ目的トシタル權利ヲ有スル第三者アルトキハ其權利ハ所有權ヲ目的トシタルモノトシテ存續ス

附 則

第四條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 明治三十二年勅令第三百三十三號ハ之ヲ廢止ス

第六條 政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲メニ設定シタル永代借地權ニシテ本令施行前帝國法人ノ取得シタルモノハ其土地ニ付既ニ所有權ノ登記アリタル場合ヲ除キ永代借地權ト

シテ存續ス但シ第一條ニ依リ所有權ヲ取得スルコトヲ妨ケス

○永代借地權ニ關シ稅務署へ通知ノ件

○内務省令第二十四號 明治三十四年
九月

政府ノ永代借地券ヲ以テ外國人又ハ外國法人ノ爲ニ設定シタル永代借地權ヲ取得シタル帝國ノ臣民又ハ法人明治三十四年勅令第七十九號第一條ニ依リ地券ノ抹消ヲ受ケ其ノ土地ノ所有權ヲ取得シタルトキハ地方廳ハ遲滯ナク其ノ土地所在地ヲ管轄スル稅務署ニ其ノ旨ヲ通知ス可シ

○元外國人居留地永代借地權ニ關スル取扱ノ件

○殖民部長ヨリ函館支廳長へ通牒 明治三十五年十二月十三日
殖拓第五四九八號

元外國人居留地内ノ永代借地權所有者ヨリ新地券ノ交付ヲ願出タル場合ニ於ケル取扱手續ニ關シ神奈川縣知事ノ内議ニ對シ回答ノ旨其筋ヨリ通牒有之候ニ付爲參考寫相添へ此段及通牒候也

(別 紙)

○内務省地方局長ヨリ本長官へ通牒 明治三十五年十二月二日
外乙第二號ノ内

元外國人居留地内ノ永代借地權所有者ヨリ新地券ノ交付ヲ願出タル場合ニ於ケル取扱手續ニ關シ神奈川縣知事ノ内議ニ對シ別紙ノ通り回答相成候ニ付爲御參考依命此段及通牒候也

○神奈川縣知事ヨリ内、外務總務長官へ内議 明治三十五年二月五日
往官第六二號

當港元外國人居留地永代借地權所有者へ發給スヘキ新地券其他ノ儀ニ關シ去ル明治三十三年二月二十三日付申官第二六號請訓ニ對シ同年四月二十三日付神甲第四七號御通牒之趣モ有之候處頃日ニ至リ二三新地券ヲ要求セシモノ有之候然ルニ地券條項中其第二條乃至第四條ハ新條約實施ノ結

果其一部若クハ全部不用ニ歸シタルモノモ有之候得共總テ現在ノ儘存置セラルル御旨趣ニ有之候哉或ハ此際必要ノ加除修正ヲ加ヘ候方可然哉若シ後者ノ分ニ候ハハ別ニ案ヲ具シ可伺出考ニ有之候ヘトモ大体ニ於テノ御高見致承知度此段及御内議候也

○外、内、司法、總務長官ヨリ神奈川縣知事ヘ回答 明治三十五年六月二十四日

元外國人居留地内ニ於ケル永代借地權所有者ヨリ新券ノ發給ヲ請求スル場合ニ於ケル取扱方ニ付本年二月五日付往官第六二號ヲ以テ内務總務長官及外務總務長官宛御内議ノ次第有之候處明治三十四年法律第三十九號永代借地權ニ關スル法律第一條ノ文意ニ依ルニ今日改テ永代借地權ヲ設定シタリト會釋スヘキ文意ヲ具ヘタル地券ヲ發給スヘキモノニハ無之同條ニ所謂永代借地券ナルモノハ該法律發布以前ニ於テ政府カ設定シタル永代借地權ヲ證明スヘキ地券ヲ云フモノニシテ今日當事者ノ請求ニ應シ現時ノ永代借地權者ノ名義ニテ新ニ地券ヲ作成交付スルトキハ恰モ今日新ナル永代借地權ヲ設定シタルノ嫌有之該法律ノ趣旨ニ反スル儀ニ可有之ト被存候因テ地券ノ亡失ノ場合ニ於テ當事者ヨリ權利ノ證明ヲ願出ツル者アル時ハ貴縣ノ記録ニ基ツキ原地券ト全ク同一ノ文言ヲ掲ケタル地券ヲ作成シ之ヲ發給シタル年月日及其當時ノ官憲ヲ代表シテ其地券ニ名ヲ署シ又ハ官印ヲ押捺シタル者ノ官氏名等總テ原地券ニ於ケルカ如ク記入シ而シテ右地券面ノ末尾ニ原地券亡失セシ趣ニテ何某ヨリ右永代借地權ノ證據トシテ更ニ地券ノ交付ヲ願出タルニ因リ之ヲ交付スルモノナル旨ヲ記載シテ其交付ノ年月日及貴官ノ官氏名ヲ記入シテ官印ヲ押捺シ其地券ノ裏面ニハ均シク貴縣ノ記録ニ照ラシ原地券ニ掲ケタル永代借地權移轉ニ關スル記入ヲ掲記シ右ハ貴縣ノ記録ニ徵シテ記入スルモノナル旨ヲ記載シ新地券交付ノ年月日貴官ノ官氏名ヲ記入シ官印ヲ押捺シテ交付相成可然儀ニ有之又永代借地權分割ノ場合例ハ一千坪ノ地區ヲ割キ其三百坪ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於テハ七百坪ノ所有者ニ對シテハ原地券ニ該地區ノ内三百坪ヲ分割シテ之

ニ對スル永代借地權ヲ何某及其承繼人ニ讓渡セル旨ヲ記入シ其實事ヲ證明シ而シテ三百坪ヲ讓受ケタル者ニ對シテハ更ニ原地券ト同一地券ヲ作成シ券面ノ文言ハ勿論永代借地權ノ轉讓移轉シテ現地ノ永代借地權者ニ追ヒタルコトヲ證明スヘキ裏面ノ記入等ヲモ地券亡失ノ場合ニ於ケルト均シク之ニ記入シ而シテ其末尾ニ一千坪ニ對スル現時ノ永代借地權者カ一千坪ノ内三百坪ヲ割キ之ニ對スル永代借地權ヲ何某及其承繼人ニ讓渡シタルニ因リ三百坪ニ對スル永代借地權ノ證據トシテ之ヲ交付スル旨ヲ記入シ貴官ノ官印ヲ押捺シテ之ヲ讓受人ニ交付相成可然儀ト被存候右及回答候也

○永代借地ニ關スル證書帳簿ニ印紙稅免除ノ件

○外務次官ヨリ申進 明治四十二年十二月七日 送第五三三九號

永代借地權ニ伴フ免稅範圍ノ問題ニ關シテハ目下帝國政府ト諸外國政府トノ間ノ懸案ニ屬シ未タ其決定ヲ見ルニ至ラス候處永代借地及該地上ノ建物ニ關スル法律行為ニ付作成スル證書帳簿ニ關スル印紙稅ハ本問題商議ノ進行上之カ免除ニ同意スルノ必要ヲ認メタルヲ以テ帝國政府ハ右印紙稅ノ免除ヲ承認スル旨過般在本邦外國大使ニ聲明致置候就テハ永代借地權移轉ニ關スル契約書類其他ノ文書ニハ印紙ノ貼付ヲ要セサル儀ト御承知相成度右ハ關係稅務官廳ニ對シテモ既ニ大藏省ヨリ夫々訓達濟ノ筈ニ有之候依命此段申進候也

○同通牒ノ件

○第五部長ヨリ各支廳長ヘ移牒 明治四十二年十二月二十日 五抄第一二二三三六號

永代借地及該地上ノ建物ニ關スル法律行為ニ付作成スル證書帳簿ニ關スル印紙稅ハ免除ノ承認ヲ與フル旨過般在本邦外國大使ニ聲明セラレタルニ就テハ永代借地權移轉ニ關スル契約書類其他ノ文書

ニハ印紙ノ貼付ヲ要セサル趣外務次官ヨリ通牒有之候ニ付御心得ノ爲メ此段及移牒候也

第二十類

○會計

○會計法

(明治三十五年八月法律第四十七號明治三十五年八月法律第四十八號ヲ以テ改正)

○法律第四號 明治二十二年

會計法

第一章 總則

第一條 政府ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

一 會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關ル事務ハ翌年十一月卅日マテニ悉皆完納スヘシ

第二條 租稅及其他一切ノ收納ヲ歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トシ歳入歳出ハ總豫算ニ編入スヘシ

第三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

第四條 各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタルモノノ外特別ノ資金ヲ有スルコトヲ得ス

第二章 豫算

第五條 歳入歳出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始メニ於テ之ヲ提出スヘシ

必要避クヘカラサル經費及法律又ハ契約ニ基ツタ經費ニ不足ヲ生シタル場合ノ外追加豫算ヲ提出スルコトヲ得ス(明治三十五年八月法律第四十七號ヲ以テ追加)

第六條 歳入歳出ノ總豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ

總豫算ニハ帝國議會參考ノ爲ニ左ノ文書ヲ添付スヘシ

第一 各省ノ豫定經費要求書但シ各項目ノ明細ヲ記入スヘシ

第二 其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ歲入歲出現計書
第七條 豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ

第一 豫備金 第二 豫備金

第一 豫備金ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フモノトス

第二 豫備金ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルモノトス

第八條 豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其承諾ヲ求ムルヲ要ス

第九條 毎年度大藏省證券發行ノ最高額ハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム

第三章 收入

第十條 租稅及其他ノ歲入ハ法律命令ノ規程ニ從ヒ之ヲ徵收スヘシ

法律命令ニ依リ當該官吏ノ資格アル者ニ非サレハ租稅ヲ徵收シ又ハ其他ノ歲入ヲ收納スルコトヲ得ス

第四章 支出

第十一條 毎會計年度ニ於テ政府ノ經費ニ充ツル所ノ定額ハ其年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼是流用スルコトヲ得ス

國務大臣ハ其所管ニ屬スル收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十三條 國務大臣ハ其所管定額ヲ使用スル爲ニ國庫ニ向ヒテ仕拂命令ヲ發スヘシ

但シ別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ他ノ官吏ニ委任シテ仕拂命令ヲ發セシムルコトヲ得

第十四條 國庫ハ法律命令ニ反スル仕拂命令ニ對シテ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 國務大臣ハ政府ニ對シ正當ナル債主若クハ其ノ代理人ノ爲ニスルニ非サレハ仕拂命令ヲ

發スルコトヲ得ス

左ノ諸項ノ經費ニ限リ國務大臣ハ主任ノ官吏ニ委任シ又ハ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金仕

拂ヲ爲サシムル爲ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得

第一 國債ノ元利拂

第二 軍隊軍艦及官船ニ屬スル經費

第三 在外各廳ノ經費

第四 前項ノ外總テ外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第五 輸運通信ノ不便ナル内國ノ地方ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第六 廳中常用雜費ニシテ一箇年ノ總經費額千圓ニ滿タサルモノ(明治三十五年八月法律四十八號ヲ以テ改正)

第七 場所ノ一定セサル事務所ノ經費

第八 各廳ニ於テ直接ニ從事スル工事ノ經費

但シ一主任官ニ付六千圓マテヲ限ル(明治三十五年八月法律四十八號ヲ以テ改正)

第五章 決算

第十六條 會計検査院ノ検査ヲ經テ政府ヨリ帝國議會ニ提出スル總決算ハ總豫算ト同一ノ様式ヲ用

キ左ノ諸項ノ計算ヲ明記スヘシ

歲入ノ部 歲入豫算額、調定濟歲入額、收入濟歲入額、收入未濟歲入額

歲出ノ部 歲出豫算額、豫算決定後増加歲出額、仕拂命令濟歲出額、翌年度繰越額

第十七條 前條ノ總決算ニハ會計検査院ノ検査報告ト共ニ左ノ文書ヲ添付スヘシ

第一 各省決算報告書

第二 國債計算書

第三 特別會計計算書

第六章 期滿免除

第十八條 政府ノ負債ニシテ其ノ仕拂フヘキ年度經過後滿五年内ニ債主ヨリ支出ノ請求若クハ仕拂ノ請求ヲ爲ササルモノハ期滿免除トシテ政府ハ其義務ヲ免ルルモノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其定ムル所ニ依ル

第十九條 政府ニ納ムヘキ金額ニシテ其ノ納ムヘキ年度經過後滿五ケ年内ニ上納ノ告知ヲ受ケサルモノハ其義務ヲ免ルルモノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各其定ムル所ニ依ル

第七章 歲計剩餘定額繰越豫算外收入及定額戻入

第二十條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ其翌年度ノ歲入ニ繰入ルヘシ

第二十一條 豫算ニ於テ特ニ明許シタルモノ及一年度内ニ終ルヘキ工事又ハ製造ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲メニ事業ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第二十二條 數年ヲ期シテ竣工スヘキ工事製造及其ノ他ノ事業ニシテ繼續トシテ總額ヲ定メタルモノハ毎年度ノ仕拂殘額ヲ竣工年度マテ遞次繰越使用スルコトヲ得

第二十三條 誤拂過渡トナリタル金額ノ返納出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入及其ノ他ノ一切豫算外ノ收入ハ總テ現年度ノ歲入ニ組入ルヘシ但シ法律勅令ニ依リ前金渡概算渡繰替拂ヲ爲シタル場合ニ於ケル返納金ハ各々之ヲ仕拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入スルコトヲ得

第八章 政府ノ工事及物件ノ賣買貸借

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第一 一人又ハ一會社ニテ專有スル物品ヲ買入レ又ハ借入ルルトキ

第二 政府ノ所以ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ

第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカテサル製造品及機械ヲ買入ルルトキ

第六 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其位置又ハ構造等ニ限アル場合

第七 千圓ヲ超エサル工事又ハ物品ノ買入借入ノ契約ヲナストキ(明治三十五年八月法律第四十八號ヲ以テ改正)

第八 見積價格四百圓ヲ超エサル動産ヲ賣拂フトキ(前同斷)

第九 軍艦ヲ買入ルルトキ

第十 軍馬ヲ買入ルルトキ

第十一 試験ノ爲メニ工作製造ヲ命シ又ハ物品ヲ買入ルルトキ

第十二 慈惠ノ爲ニ設立セル教育所ノ貧民ヲ傭役シ及其生産又ハ製造物品ヲ直接ニ買入ルルトキ

第十三 囚徒ヲ傭役シ又ハ囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入ルルトキ及政府ノ設立ニ係ル農工業場ヨリ直接ニ其生産又ハ製造物品ヲ買入ルルトキ

第十四 政府ノ設立シタル農工業場又ハ慈惠教育ニ係ル各所ノ生産製造物品及囚徒ノ製造物品ヲ賣拂フトキ

第二十五條 軍艦兵器彈藥ヲ除ク外工事製造又ハ物件買入ノ爲ニ前金拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九章 出納官吏

第二十六條 政府ニ屬スル現金若クハ物品ノ出納ヲ掌ル所ノ官吏ハ其現金若クハ物品ニ付一切ノ責

任ヲ負ヒ會計検査院ノ検査判決ヲ受クヘシ

第二十七條 前條ノ官吏水火盜難又ハ其他ノ事故ニヨリ其保管スル所ノ現金若クハ物品ヲ紛失毀損シタル場合ニ於テハ其保管上避ケ得ヘカラザリシ事實ヲ會計検査院ニ證明シ責任解除ノ判決ヲ受クルニ非サレハ其負擔ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十八條 現金又ハ物品ノ出納ヲ掌ルニ付身元保證金ヲ納メシムルコトヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 仕拂命令ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相兼スルコトヲ得ス

第十章 雜 則

第三十條 特別ノ須要ニ依リ本法ニ準據シ難キ者アルトキハ特別會計ヲ設置スルコトヲ得

特別會計ヲ設置スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十一條 政府ハ國庫金ノ取扱ヲ日本銀行ニ命スルコトヲ得

第十一章 附 則

第三十二條 本法ノ條項帝國議會ニ關涉セサルモノハ明治二十三年四月一日ヨリ施行シ其關涉スルモノハ帝國議會開會ノ時ヨリ施行ス

決算ニ係ル條項ハ帝國議會ノ議定ヲ經タル年度ノ歲計ヨリ施行ス

第三十三條 本法ノ條項ト牴觸スル法令ハ各々其項條施行ノ日ヨリ廢止ス

○會計規則

○勅令第六十號 明治二十二年 四月三十日 (明治二十六年勅令第百十二號明治三十四年八月勅令第百五十六號明治三十三年勅令第百二十七號明治三十五年八月勅令第百號ヲ以テ改正)

會計規則

(抄 錄)

第七章 政府ノ工事及物件ノ賣買貸借

第一款 總 則

第六十七條 各省大臣千圓以上ノ工事ニ付テハ竣功ノ後其工事ヲ監督シタル官吏又ハ技術者ヲシテ之カ調書ヲ作ラシムヘシ

契約ニ據リ工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスルトキハ各省大臣ハ特ニ検査ノ官吏ヲ命シテ事實ヲ測定シ其調書ヲ作ラシムヘシ

仕拂命令官ハ前各項ノ調書ニ據ルニアラサレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

第六十八條 前條第二項ノ仕拂ヲ爲サントスルトキハ工事ニ付テハ其既濟部分ニ對スル代價ノ十分ノ九物品ニ付テハ其既納部分ニ對スル代價ヲ越ユヘカラス但箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ工事ニ於ケル各箇ノ完濟部分ニ對シテハ其代價ノ全額マテヲ仕拂フコトヲ得

第六十九條 工事又ハ物品供給ノ競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ其工事又ハ物品ノ供給ニ二年以來從事スルコトヲ證明スヘシ

各省大臣ハ工事又ハ物品ノ性質ニ依リ必要アルトキハ前項ノ外特ニ省令ヲ以テ其競争者ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

工事又ハ物品賣買ノ競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ現金又ハ公債證書ヲ以テ保證金ヲ納ムヘシ

第六十九條ノ二 各省大臣ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ハ爾後二箇年間工事又ハ物品賣買ノ競争ニ加ハルコトヲ得ス其之ヲ代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用シタル者亦同シ

一、工事又ハ物品供給ノ契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ工事又ハ物品ヲ粗雜ニシタル者

一、競争ニ際シ漫ニ價格ヲ競上ケ若クハ競下クルノ目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者
 一、競争ノ加入ヲ妨害シ若クハ競落者ノ契約履行ヲ妨害シタル者
 一、工事又ハ物品ノ検査監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者
 一、前各號ニ該當スト認メラレタル後二箇年ヲ經過セサル者ヲ工事請負又ハ物品賣買ニ際シ代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用スル者

第六十九條ノ三 前條ニ該當シタル者ヲ入札代理人トシテ使用スル者ハ競争ニ加ハルコトヲ得ス

第七十條 前條ノ保證金ハ左ノ制限ニ據リ各省大臣之ヲ定ムヘシ

第一 競争ニ加ハラントスル者ハ其事項ノ見積代金ノ百分ノ五以上

第二 契約ヲ結ハントスル者ハ其事項ノ代金ノ百分ノ十以上

第七十一條 競争ノ落札者請負又ハ賣買ノ契約ヲ結ハサルトキハ其保證金ハ政府ノ所得トス

第二款 競争契約

第七十二條 競争ハ總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フヘシ

第七十三條 入札ノ方法ヲ以テ工事又ハ物件ノ賣買貸借ヲ契約セントスルトキハ其入札期日ヨリ少クモ十五日以前ヨリ揭示又ハ官報新聞紙其他ノ方法ヲ以テ成ル可ク廣ク公告スヘシ但シ要急ノ場合ニ於テハ公告期間ヲ七日迄ニ短縮スルコトヲ得

第七十四條 前條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

第一 競争入札ニ付スル事項

第二 契約書案ヲ示ス場所及其契約ノ取結ヲ擔任スル官吏ノ官氏名

第三 競争執行ノ場所日限及時刻

第四 入札ノ保證金額

第七十五條 各省大臣若クハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其競争入札ニ付シタル工事又ハ物件ノ價格ヲ豫定シ其豫定價格ヲ封書トシ開札ノトキ之ヲ開札場所ニ置クヘシ

第七十六條 開札ハ公告ニ示シタル場所日限時刻ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但入札人出席セルカ又ハ出席セサル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ開札ニ立會ハシムヘシ

入札人ハ一旦提出シタル入札書ノ引換變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得ス

競争加入ノ資格ナクシテ爲シタル者ノ入札ハ無効トス

第七十七條 開札ノ上ニテ各人ノ入札中一モ第七十五條ニ據リ豫定シタル價格ノ制限ニ達セサルトキハ直ニ出席入札人ヲシテ再度ノ入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十八條 落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者數名アルトキハ直チニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ

第七十九條 競争ノ落札者請負又ハ賣買貸借ノ契約ヲ結ハサルトキハ更ニ競争ヲ行フヘシ

但シ本條ノ場合ニ於テハ第七十三條ノ期限ヲ七日マテニ短縮スルコトヲ得

第八十條 工事及物件ノ賣買貸借契約書ニハ其契約セントスル事項ノ細密ナル設計、仕譯、落成期限、受渡期限、保證金額、契約違背ノトキ保證金ニ對スル處分其他一切必要ナル條件ヲ掲クヘシ

第八十一條 契約ハ各省大臣若クハ特ニ其委任ヲ受ケタル官吏其契約書ニ署名捺印スルニアラサレハ確定セサルモノトス

第三款 隨意契約

第八十二條 隨意契約書ハ第八十條及第八十一條ニ準據シ之ヲ作ルヘシ但シ一口千圓未滿ノ隨意契約ノ場合ニ於テハ本文ノ契約書ヲ省畧スルコトヲ得

第八十三條 隨意契約ノ場合ニ於テハ各省大臣ノ見込ニヨリ第六十九條ノ規定ニ據ラサルコトヲ得

○稅外諸收入證明規程

○會計検査院達第一號 明治二十三年十一月二十五日

稅外諸收入證明規程

(抄 錄)

第六條 稅外諸收入測定ニ關スル證憑書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

第一 左ノ事項ニ對シテハ其契約書及決議書

第二 地所建物ノ拂下

第三 一箇年若クハ一回貸下料五圓以上ノ地所其他ノ貸下

但シ貸渡官舎貸下料其敷地料ハ之ヲ除ク尤モ官舎貸下料額ニ異動ヲ生タルトキハ其評價書及異動ノ理由書ヲ要ス

○同上ノ規程ニ依リ提出スル證憑書類省畧方ノ件

○第一部長ヨリ支廳長(小樽支廳 長ヲ除ク)へ通牒 明治四十二年四月二十八日 會 第九五五號

租稅外歲入徵收額證明規程ニ依リ提出スル證憑書類ニシテ北海道國有未開地處分法ニ依リ耕作牧畜植樹ニ供スル目的ニテ特賣シタルモノニ限リ別紙様式ノ明細書ヲ以テ代用ノ義會計検査院ノ承認ヲ得候ニ付御了知相成度依命此段及通牒候也

(別 紙)

○會計検査院長ヨリ長官へ回答 明治四十二年四月十五日 送 第一七三號

本年三月五日付一會第九五五號租稅外歲入徵收額計算證明上規定ノ證憑書類省畧方照會ノ件北海道

國有未開地處分法ニ依リ耕作、牧畜、植樹ニ供スル目的ニテ特賣シタルモノニ限リ別紙様式ノ明細書ヲ以テ代用ノ義承認ス此段及回答候也

地名	面積	立木	樹種	本數	材積	代	土地	立木	計	單	價	許	可賣	拂	的	氏	名
計																	
右之通ニ候也																	
年																	
月																	
日																	
應																	
名																	

備考

土地ノ單價ハ一町步立木ノ單價ハ一尺ノ若クハ一柵ノ價格ヲ記載スルモノトス

○租稅外歲入徵收額證憑書類ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治四十四年六月二日 拓殖 第七一八八號

會計検査院ニ提出可相成租税外歳入徴收額明細書材料トシテ從來評價書寫或ハ明細表ヲ調製シ送付シ來リ候處斯クテハ相互繁雜ノ嫌モ有之候ニ付爾後明細書調製上必要ナル事項ハ凡テ土地臺帳曆本ニ記入ノ上可及送付候條右ニ依リ調製相成度尙ホ貴廳ニ於テモ當廳ニ倣ヘ取扱相成様致度此段及通牒候也

○土地水面ノ命令書又ハ指令書ノ請書ニ印紙貼用ヲ要セサル件

○長官ヨリ拓殖務大藏兩大臣ヘ伺 明治二十九年八月十七日
内地第二三九四號

明治二十七年四月六日附内務省訓第二三八號ヲ以テ別紙寫之通り訓令有之候處該受書ハ契約書ノ性質ヲ具有スルモノトシテ之ヲ徴收候趣旨ナルニ於テハ證券印稅規則ニ依リ相當印紙ヲ貼用可致ハ勿論ニ候得共反之單ニ命令書又ハ指令書其モノヲ受取リタル證トシテ徴スルモノトセハ別段同規則ノ支配ヲ可受モノニアラスト思料セラレ候條右何レノ趣ニ解釋致シ可然ヤ目下差懸リ處分ヲ要スルモノ有之候間至急何分之御指揮ヲ得度此段相伺候也

○拓殖務省指令道甲第一四〇號 明治二十九年
九月十九日

本年八月十七日付内地第三三九四號受書性質ノ儀ニ付伺ノ件左之通心得ヘシ
官有土地水面ノ處分ニ關シ其價格一口五百圓未滿ノモノヲ賣買貸借等人民ト契約ヲ爲サントスルトキ會計規則第八十條及第八十一條ニ準據シタル契約書ヲ作ラスシテ單ニ必要條件ヲ記載シタル受書ヲ徴シ置ク場合ハ證券印稅規則ニ據リ印紙貼用ノ限リニアラス

○同上通牒ノ件

○内務部長ヨリ各郡區長ヘ通牒 明治二十九年九月二十九日
内地第二三九四號

官有土地水面等隨意契約ニ依リ賣買貸借交換讓與等人民之出願ニ對シ許可之指令書ヲ交付スル場合

ニ於テ一口五百圓未滿之分受書徴收方之儀ニ付テハ明治二十七年八月二十二日内務部第九五〇號ヲ以テ通達候處右受書ハ證券印稅規則ニ據リ印紙貼用ノ限リニ無之候條命ヲ領シ此段及通達候也

○土地水面ノ處分ニ關シ請書ヲ以テ稅外收入ノ証明ニ供スルノ件

○内務省訓第二三八號 明治二十七年
四月六日

官有土地水面ノ處分ニ關シ人民ト契約ヲ爲ストキハ法律命令ノ條項ニ據リ其他一切ノ事情ヲ參酌シ必要ト認メタル條件ヲ契約書ニ記載云々去ル二十四年訓第六八七號訓令第六項ヲ以テ及訓令候處二十六年訓令第十二號ヲ以テ會計規則第八十二條改正相成候ニ付自今官有土地水面並土石竹木等ノ價格一口五百圓未滿ノモノヲ隨意契約ニ依リ賣買貸借交換讓與寄附土地
無代下付スルトキハ會計規則第八十條及第八十一條ニ準據シタル契約書ヲ作クルノ必要アリト認メタル場合ヲ除クノ外單ニ必要條件ヲ記載シタル受書ヲ徴シ置クモ妨ナキ儀ト心得ラルヘシ

○同上通牒ノ件

○内務部長ヨリ各郡區長ヘ通牒 明治二十七年八月二十二日
内務部第九五〇號

官有土地水面等隨意契約ニ依リ賣買貸借明治十九年訓令第十六號北海道土地
拂下規則ニヨリ貸下拂下ノ分ヲ除キ交換讓與寄付土地
無代下付等人民ノ出願ニ對シ許可ノ指令書ヲ交付スル場合ニ於テ一口五百圓未滿ノ分受書徴シ方ノ儀本年四月二十四日第四〇四八號ヲ以テ御通牒ニ及置候次第モ有之候處自今右受書ニハ指令書ノ全文ヲ謄記セシメ且ツ別紙雛形ノ通り記入ノ上本人若クハ相當代理人ヲシテ署名捺印セシメ指令書ト引替ヘニ之ヲ徴シ猶檢閱シタル主任官吏又ハ戶長ニ於テ雛形ノ如ク證明ノ上該受書ニ依リ拂下代金又ハ貸下及使用料等調定相成度將タ又右受書ハ貴所ニ於テ整理保存シ置キ其本書若クハ謄本ヲ以テ租稅外歳入調定額證明規定第三條第一項ノ證憑書類トシテ提出候儀ト御承知相成度此段依命ニ依リ及通達候也

○國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル件

(明治四十一年三月法律第三十八號ヲ以テ改正)

○法律第三十一號 明治四十年三月

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ之ヲ切捨ツ國稅ノ課稅標準額ニ付テモ亦同シ

第二條 法令ノ規定又ハ行政上ノ處分ニ依リ分納ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ分納額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ハ最初ノ納期ノ分納額ニ合算ス

第三條 地租ノ稅額ニ付テハ前二條ノ規定ヲ適用セス其ノ稅額及毎納期ノ分納額ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ之ヲ五厘トシテ計算ス

第四條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ其ノ金額一錢未滿ノモノハ之ヲ五厘トシテ計算ス 國庫ノ收入金ニシテ收入印紙又ハ郵便切手ヲ以テ納メシムルモノニ付テハ第一條及前項ノ規定ヲ適用セス

一筆ノ土地ノ地價ニシテ其ノ金額一錢未滿ノモノハ切上ケテ一錢トス 前三項ノ外國庫ノ收入及仕拂上本法ノ規定ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第五條 本法ハ明治四十年度分ヨリ之ヲ適用ス

第六條 明治三十五年法律第二十二號ハ明治四十年度分ヨリ之ヲ適用セス但シ土地臺帳ヲ登錄シタル地價ニシテ同法第七條ノ規定ニ依ル更正ヲ了セサルモノニ付テハ仍同法ノ規定ヲ適用ス

第七條 本法ノ規定ハ府、縣、市、町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ租稅及公課ニ之ヲ準用ス

○單價計算ノ際毛位以下切捨ノ件

○拓殖部長及內務部長ヨリ各支廳長へ通牒 大正二年三月二十四日 拓殖第三一二二號

未開地内立木ノ評價ヲナスニ當リ總價格ノ内譯トナルヘキ各樹種別ノ價格ニ毛以下數位ノ端數ヲ生スル場合ニ於テ從來或ハ毛以下ヲ切捨或ハ其儘存シ計算スル等取扱方一定シ居ラサリシ處爾今右様ノ場合ハ毛以下ノ端數ヲ切捨テ計算スルコトニ決定候條御了知相成度此段及通牒候也

參考

○主稅局長通牒 明治四十年五月十日 往第七五〇六號

本年法律第三十一號施行ニ付テハ國庫ノ收入又ハ仕拂計算上厘位ヲ存スルモノハ一厘未滿ノ端數ハ之ヲ切捨明治五年十一月太政官布告第三六三號貨幣計算例則ハ爾後適用セサルコトニ省議決定候條此段及御通牒候也

○入札又ハ契約ノ保證金ニ關スル件

○勅令第三百四十號 明治四十三年九月六日

入札又ハ契約ニ關シ保證金ヲ徵スヘキ規定ナキ場合ニ於テモ當該官吏特ニ必要アリト認メタルトキハ現金又ハ有價證券ヲ以テ保證金ヲ納付セシムルコトヲ得 保證金トシテ提供セシムヘキ有價證券ノ種類ハ所管大臣之ヲ定ム 落札者契約ヲ結ハサルトキハ其ノ保證金ハ政府ノ所得トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○入札又ハ契約ノ保證金トシテ提供スヘキ有價證券種類

○内務省告示第十七號 明治四十三年 九月十六日 (明治四十四年十一月 告示第八號ヲ以テ追加)

明治四十三年勅令第三百四十號第二項ニ依リ入札又ハ契約ノ保證金トシテ提供セシムヘキ有價證券ノ種類ハ國債證券、地方債證券、勸業債券、興業債券、貯蓄債券、農工債券、拓殖債券トス

○外國貨幣換算價格ノ件通牒

○内務大臣官房會計課長ヨリ北海道廳長官ニ通牒 大正三年 六月五日

大正四年度歲出豫算調製上算出ノ基礎トナスヘキ支那兩其他純分比價ニ依リ難キ外國貨幣ノ換算ハ左記ノ價格ヲ以テ換算相成度

記

支那兩

一圓二十八錢六厘

洋銀

九十四錢

伯刺西爾ミルレース

六十五錢一厘

智利ペソ

四十二錢四厘

○地租

○地租條例

○太政官布告第七號 明治十七年 三月 (明治四十三年三月 法律第二號ヲ以テ改正)

地租條例別冊ノ通制定シ明治六年 第七百七十二號布告地租改正條例及地租改正ニ關スル條規其他本條例ニ牴觸スルモノハ廢止ス

但東京府管轄伊豆七島小笠原島「函館縣」「沖繩縣」「札幌縣」「根室縣」ハ當分従前ノ通タルヘシ(十九年布告第一號ヲ以テ函館札幌根室ノ三縣ヲ廢シ北海道廳ヲ置ク)

(別冊)

地租條例

第一條 地租ハ左ノ稅率ニ依リ毎年之ヲ賦課ス

宅地

地價百分ノ二箇半

田畑

地價百分ノ四箇七

其他ノ土地

地價百分ノ五箇半

北海道ニ於ケル宅地以外ノ地租ハ當分左ノ稅率ニ依ル

田畑

地價百分ノ三箇四

其他ノ土地

地價百分ノ四箇

本條例ニ於テ地價ト稱スルハ土地臺帳ニ掲ケタル價格ヲ謂フ

第二條 地租ハ年ノ豊凶ニ由リテ増減セス

第三條 有租地ヲ區別シテ二類ト爲ス

第一類 田、畑、宅地、鹽田、鑛泉地

第二類 池沼、山林、牧場、原野、雜種地

第一類中又ハ第二類中ノ各地目變換スルモノヲ地目變換ト謂フ

第二類地ニ勞費ヲ加ヘ第一類ト爲スモノヲ開墾ト謂フ

第一類地又ハ第二類地ノ山崩、川缺、押掘、石砂入、川成、海成、湖水成等ノ如キ天災ニ罹リ地

形ヲ變シタルモノヲ荒地ト謂フ

第一類地ヲ第二類地ニ變換スルモノヲ地類變換ト謂フ

第四條 左ニ掲クル土地ニ付テハ其地租ヲ免ス

一 國府縣郡市町村其他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地但有料借地ハ此限ニ在ラス

二 府縣郡市町村其他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地但有料借地ハ此限ニアラス

三 府縣社地、鄉村社地、招魂社地但有料借地ハ此限ニ在ラス

四 墳墓地

五 用惡水路溜池堤塘井溝

六 鐵道用地軌道用地

七 保安林

八 公衆ノ用ニ供スル道路

府縣郡市町村其他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ租稅其他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ所有者以外ノモノ前項第一號又ハ第二號ノ土地ヲ使用收益スル場合ニ於テ其土地ニ對シ使用者ニ租稅其他ノ公課ヲ課スルハ此限ニアラス

軌道用地ノ區域ニ關シテハ私設鐵道法第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第五條 土地ノ丈量ハ曲尺ヲ用ヒ六尺ヲ間ト爲シ方壹間ヲ以テ步ト爲シ三拾步ヲ畝ト爲シ拾畝ヲ段ト爲シ拾段ヲ町ト爲ス但宅地ハ方壹間ヲ以テ坪ト爲シ坪ノ拾分ノ壹ヲ合ト爲シ合拾分壹ヲ勺ト爲ス

第六條 地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スルトルトキハ地盤ヲ丈量ス

第七條 地價ハ左ノ場合ニ該當スルニ非サレハ之ヲ修正セス

一 地目又ハ地類ヲ變換シタルトキ

二 開墾シタルトキ

三 開拓歛下年期明ニ至リタルトキ

四 荒地免租年期明ニ至リ原地價ニ復シ難ク若クハ他ノ地目ニ變シタルトキ又ハ低價年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ

第八條 一般ニ地價ノ改正ヲ要スルトキハ前以テ其旨ヲ布告スヘシ

第九條 地價ハ其地ノ品位等級ヲ認定シ其所得ヲ審査シ尙ホ其土地情況ニ應シ之ヲ定ム

第十條 地目ヲ變換シ又ハ地類ヲ變換シタルトキハ政府ニ届出ヘシ

地目ヲ變換シ又ハ地類ヲ變換シタルトキハ直ニ其地價ヲ修正ス但第十六條第六項ノ場合ハ此限ニ在ラス

第十一條 地租ヲ課スル土地ヲ地租ヲ課セサル土地ト爲シ又ハ地租ヲ課セサル土地ヲ地租ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ政府ニ届出ヘシ但之ニ關シ豫メ政府ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタルモノ

ニ付テハ此限ニ在ラス地租ヲ課セサル土地ヲ地租ヲ課スル土地ト爲シタルトキハ其地ノ現況ニ依

リ直ニ其土地ノ地價ヲ定ム但第十六條第四項ノ場合ハ此限ニ在ラス

第十二條 地租ハ左ノ期限ニ依リ之ヲ徵收ス

一 宅 地

第 一 期 其年七月三十一日ヨリ

第 二 期 同一年一月三十一日ヨリ

地租額二分ノ一

地租額二分ノ一

二 田

第一 期

其年十二月十六日ヨリ

地租額四分ノ一

第二 期

其年二月十五日ヨリ

地租額四分ノ一

第三 期

其年三月末ヨリ

地租額四分ノ一

第四 期

其年五月三十一日ヨリ

地租額四分ノ一

三 其他ノ土地

第一 期

其年九月三十日ヨリ

地租額二分ノ一

第二 期

其年十一月三十日ヨリ

地租額二分ノ一

特殊ノ事情アル地方ニシテ前項ノ納期ニ依リ難キモノニ付テハ命令ヲ以テ特別ノ納期ヲ設クルコトヲ得

第十三條 地租ハ左ニ掲クル者ヨリ徴收ス

- 一 質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者
- 二 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者
- 三 其他ノ土地ニ付テハ所有者

前項ニ於テ質權者地上權者所有者ト稱スルハ土地臺帳ニ質權者地上權者所有者トシテ登録セラレタル者ヲ謂フ

第十四條 地價ヲ修正シタル土地ニ付テハ其年ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徴收ス但其年ニ係ル地租ノ全部又ハ一部ノ納期開始後地價ヲ修正シタルトキハ翌年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徴收ス

第十五條 地租ヲ課スル土地ニシテ地租ヲ課セサル土地トナリタルトキハ其届出アリタル後又ハ其

事實ヲ認メタル後ニ開始スル納期ヨリ地租ヲ徴收セス

地租ヲ課セサル土地ニシテ地租ヲ課スル土地トナリタルトキハ地價設定後ニ開始スル納期ヨリ地租ヲ徴收ス但地價設定後ニ開始スル納期ニ於テ前年分地租ヲ徴收スヘキ場合ニ於テハ其納期分ノ地租ハ之ヲ徴收セス

前二項ノ規定ハ荒地免租年期若クハ低價年期許可ノ場合又ハ荒地免租年期明若クハ新開免租年期明ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 開墾ヲ爲サントスルトキハ政府ニ届出ヘシ

前項ノ開墾地ハ開墾着手ノ年ヨリ十年目ニ其成功ノ部分ニ對シ地價ヲ修正ス

十年以内ニ成功シ能ハサル開墾ヲ爲サントスルトキハ政府ニ願出歛下年期ノ許可ヲ受クヘシ歛下年期ハ三十年以内トス但年期中ハ原地價ニ依リ地租ヲ徴收ス

官有地ヲ開拓シテ民有ニ歸セシ土地ハ其素地相當ト認ムル所ノ地價ヲ定メ尙ホ十年以内ノ歛下年期ヲ許可ス但年期中ハ現定地價ニ依リ地租ヲ徴收ス

官有ノ水面ヲ埋立民有ニ歸セシ土地ハ五十年以内新開免租年期ヲ許可ス

地目ヲ變換スル爲メ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノハ本條第三項ニ準シ三十年以内ノ地價据置年期ヲ許可スルコトアルヘシ

但地類變換ヲ爲シタル後五年以内ニ開墾シタルモノニ在リテハ其成功ノ部分ニ對シ直ニ其地價ヲ修正ス

第十七條 前條ニ依リ開墾ノ届出ヲ爲シタル土地又ハ開墾歛下年期若クハ地價据置年期ノ許可ヲ受ケタル土地ニシテ開墾成功シ又ハ地目變換シタルトキハ其旨政府ニ届出ヘシ此場合ニ於テハ其年ヨリ開墾又ハ變換シタル地目ニ依リ其地租ヲ徴收ス但其年ニ係ル地租ノ全部又ハ一部ノ納期開始

後届出アリタルトキハ翌年分地租ヨリ開墾又ハ變換シタル地目ニ依リ其地租ヲ徵收ス
前項ノ場合ニ於テ開墾又ハ變換地目ノ稅率カ舊地目ノ稅率ト同一ナラサルトキハ舊地目ニ對スル
地租額ヲ開墾又ハ變換地目ノ稅率ヲ以テ除シ之ヲ開墾又ハ變換地目ニ對スル地價トシ修正地價ニ
依リ地租ヲ徵收スルニ至ル迄其地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十八條 削 除

第十九條 鐵下年期明地價据置年期明新開免租年期明ノトキ其地價ヲ定メ又ハ修正ス

第二十條 荒地ハ其ノ被害ノ年ヨリ十五年以内免租年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

海嘯ノ爲メ潮水浸入シ作土ヲ損害シタルモノハ其狀況ニ依リ前項ニ準據スルコトアルヘシ

第二十一條 荒地免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十五年以内七割以下ノ低價
年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第二十二條 低價年期明ニ至リ尙原地價ニ復シ難キモノ及ヒ荒地免租年期明ニ至リ原地目ニ復セス
他ノ地目ニ變スルモノハ地價ヲ修正ス

第二十三條 免租年期明ニ至リ尙荒地ノ形狀ヲ存スルモノハ更ニ十五年以内免租繼年期ヲ定ム其
年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ第二十一條第二十二條ニ依リ處分ス

第二十四條 川成、海成、湖水成ニシテ免租年期明ニ至リ原形ニ復シ難キモノハ更ニ二十年以内免
租繼年期ヲ許可ス其年期明ニ至リ尙原地目ニ復セス他ノ地目ニ變セサルモノハ川、海、湖ニ歸
スルモノトス

第二十四條ノ二 收稅官吏ハ土地ノ檢査ヲ爲シ又ハ納稅義務者若クハ所有者ニ對シ必要ノ事項ヲ尋
問スルコトヲ得

第二十五條 土地ヲ欺隱シ地租ヲ遁脫スル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ現地目ニ

依リ地價ヲ定メ欺隱年間ノ地價ヲ追徵ス但發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十六條 第十一條ニ違犯スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ且現地目ニ依リ地價ヲ定メ
其地租ヲ追徵ス但發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十七條 第十條第一項第十六條第一項ニ違犯スル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
其開墾ノ届出ヲ爲ササルモノハ現地目ニ依リ地價ヲ定メ其他租増額ヲ追徵ス但發覺ノ日ヨリ三年
以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十八條 第二十五條以下ノ所犯借地人、小作人ノ所爲ニ依リ所有主其情ヲ知ラサルトキハ其借
地人、小作人ヲ罰シ地租ハ所有主ヨリ追徵ス

第二十九條 第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條ノ刑ニ當ル者自首スルトキハ其罰金科料
ヲ免ス但其追徵スヘキ地租ハ仍ホ之ヲ納メシム

附 則

田畑地租ニ關シテハ田畑修正地價實施ノ日ヨリ増率ヲ適用ス

附 則

本法ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十三年分地租ノ徵收ニ關シテハ仍舊法ヲ適
用ス

宅地以外ノ土地ノ稅率ハ明治四十三年分地租ヨリ之ヲ適用ス

非常特別稅法中地租ニ關スル規定ハ宅地ニ付テハ明治四十三年分地租限リ其ノ他ノ土地ニ付テハ明
治四十二年分地租限リ之ヲ廢止ス

本法施行前地目ヲ變換シ又ハ地類ヲ變換シタル土地ニシテ地價ヲ修正セサルモノハ本法施行ノ際其
ノ地價ヲ修正シ明治四十四年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

本法施行前地目ヲ變換シ地價ヲ修正シタル土地ニシテ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルニ至ラサルモノニ付テハ明治四十四年分地租ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス
明治二十四年法律第二號、明治三十年法律第五號及宅地組換法ハ之ヲ廢止ス

○地租條例施行規則

○勅令第四百四十四號 明治四十三年十二月二十日

地租條例施行規則

- 第一條 土地ニハ番號ヲ附シ每筆其地價ヲ定ム
- 第二條 一筆ノ土地ハ其一部分左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ之ヲ分割ス
 - 一、別地目トナルトキ
 - 二、地租ヲ課スル土地ニシテ地租ヲ課セサル土地ト爲ルトキ
 - 三、地租ヲ課セサル土地ニシテ地租ヲ課スル土地ト爲ルトキ
 - 四、所有者ヲ異ニスルトキ
 - 五、質權ノ目的ト爲ルトキ
 - 六、百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的ト爲ルトキ
 - 七、行政區畫ヲ異ニスルトキ
- 第三條 開墾着手後十年以内又ハ開墾下年期中ニ於テ地目ヲ變シタルトキハ開墾ハ之ヲ廢止シタルモノトス
- 第四條 地租條例第十七條ノ規定ニ依リ開墾地目ニ組換ヘタル土地若クハ官有地ヲ開拓シテ民有地ニ歸セシ土地ニシテ開墾着手後十年以内若クハ下年期中地租ヲ變換シタルトキ又ハ地租條例第十七條ノ規定ニ依リ變換地目ニ組換ヘタル土地ニシテ地價据置年期中變換前ノ換目ト異ナル地目ト變換シタルトキハ地價ハ之ヲ修正セス

- 第十七條ノ規定ニ依リ變換地目ニ組換ヘタル土地ニシテ地價据置年期中地租ヲ變換シ若クハ變換前ノ地目ト同一ノ地目ニ變換シタルトキハ直ニ其地價ヲ修正ス
- 第五條 地租條例第十七條ノ規定ニ依リ開墾地目ニ組換ヘタル土地若クハ官有地ヲ開拓シテ民有地ニ歸セシ土地ニシテ開墾着手後十年以内若クハ下年期中地租ヲ變換シタルトキ又ハ地租條例第十七條ノ規定ニ依リ變換地目ニ組換ヘタル土地ニシテ地價据置年期中變換前ノ換目ト異ナル地目ト變換シタルトキハ地價ハ之ヲ修正セス
- 前項ノ場合ニ於テ變換地目ノ稅率カ舊地目ノ稅率ト同一ナラサルトキハ舊地目ニ對スル地租額ヲ變換地目ノ稅率ヲ以テ除シ之ヲ變換地目ニ對スル地價トシ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收スルニ至ル迄其ノ地價ニ依リ地租ヲ徵收ス
- 第六條 官有地ヲ開拓シ又ハ官有ノ水面ヲ埋立テ民有ニ歸セシ土地ニ付下年期又ハ新開免租年期ノ許可ヲ請ハサルトキハ直ニ其ノ地價ヲ定ム
- 第七條 荒地免租年期、免租繼年期又ハ低價年期中土地ノ形狀ヲ變更スルコトアルモ地目變換地類變換又ハ開墾ト看做サス
- 第八條 地租條例第十六條第二項ノ場合ニ於テ開墾着手ノ年ヨリ十年目ニ成功セサル部分ノ土地ニ付テハ其ノ後成功シタル部分アル毎ニ其地價ヲ修正ス
- 第九條 荒地免租年期、免租繼年期又ハ低價年期中再ヒ荒地ト爲リ免租年期ノ許可ヲ受ケタルトキハ前ニ受ケタル年期ハ消滅ス
- 第十條 地目變換、地類變換、又ハ開墾ニシテ他ノ法令ニ依リ許可ヲ要スルモノハ其ノ許可ノ出願ヲ以テ地租條例ニ依ル届出ト看做ス
- 第十一條 地租條例第十六條第三項第六項又ハ第二十條ノ規定ニ依リ下年期地價据置年期又ハ荒

地免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ稅務署長ニ申請スヘシ
官有地ヲ開拓シ又ハ官有ノ水面ヲ埋立テ民有ニ歸セシ土地ニ付歛下年期又ハ新開免租年期ノ許可
ヲ受ケムトスル者ハ民有ニ歸セシ後六十日內ニ稅務署長ニ申請スヘシ

第十二條 地租條例第二十一條第二十三條若クハ第二十四條ノ規定又ハ明治三十四年法律第三十號
ニ依リ低價年期、荒地免租繼年期又ハ年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期滿了後六十日內ニ
稅務署長ニ申請スヘシ

第十三條 左ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者又ハ納稅義務者ハ三十日內ニ稅務署長ニ届出ツヘシ

一、地目ヲ變換シ又ハ地種ヲ變換シタルトキ

二、開墾ニ着手シタルトキ開墾ヲ廢止シタルトキ又ハ開墾ノ目的ヲ變更シタルトキ

三、地租ヲ課スル土地ヲ用惡水路、溜池、堤塘、井溝、水道用地、鐵道用地、軌道用地若クハ公
衆ノ用ニ供スル道路ト爲シタルトキ又ハ之カ供用ヲ廢止シタルトキ

四、地租ヲ課スル土地ヲ公用若クハ公共ノ用ニ供シ又ハ之カ供用ヲ廢止シタルトキ

五、地租ヲ課スル土地ヲ地租條例第四條第一項第二號ノ規定ニ依リ公用若クハ公共ノ用ニ供スヘ
キモノト定メタルトキ又ハ一年內ニ公用若クハ公共ノ用ニ供セサルトキ

前項ノ場合ニ於テ地價ヲ定メ又ハ修正スヘキトキハ實地ノ情況ニ依リ近傍ノ類地ト其地方ヲ比較
シ其地價ヲ見積リ土地ノ測量圖ト共ニ書面ヲ差出スヘシ

第十四條 一筆ノ土地ヲ分割シ又ハ數筆ノ土地ヲ分割シ又ハ數筆ノ土地ヲ合併セントスルトキハ土
地ノ所有者ハ稅務署長ニ届出ツヘシ

第十五條 荒地免租年期有スル土地ニシテ其年期明ニ至リ他ノ地目ニ變シタルトキ又ハ低價年期
若ハ免租繼年期有スル土地ニシテ其ノ年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キトキ若ハ他ノ地目ニ變シ

タルトキハ年期滿了ノ後六十日內ニ土地所有者又ハ納稅義務者ヨリ稅務署長ニ届出ツヘシ

第十六條 納稅義務者其ノ土地所在ノ市區町村內ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ地租ニ關スル事
務ヲ處理セシムル爲メ其ノ市區町村內ニ住所ヲ有スル者ヲ納稅管理人ト定メ其ノ市區町村長又ハ
戸長ニ届出ツヘシ

前項ノ町村ト稱スルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ戸長ノ職務ヲ行フ區域トス

附 則

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○地租條例及地租條例細則取扱方ノ件

○大藏省訓令第七十六號 明治二十二年 十一月

地租條例及地租條例施行細則取扱方

第一條 條例第三條ノ牧場ニシテ從來數地目ニ分割取調ヘタルモノハ訂正ノ手續ヲ爲サシム可シ但
搾乳營業ノ爲メ獸類ヲ豢養スル場所ハ此限ニ在ラス

第二條 條例第十三條ノ禁伐林ニシテ既ニ其命令アルモノハ條例施行ノ日ヨリ其地租ヲ免除ス可シ

第三條 施行細則第四條ノ檢査ヲ爲スニ方リ官ノ地圖ト實地トヲ照査シ其齟齬ナキヲ視認メタル上
著手スヘシ(二十四年三月大藏省訓令第七十六號)

第四條 (同上法令ニテ)

第五條 (同上)

第六條 條例第二十條第二項ノ土地ニ對シ年期ヲ付與スヘキモノト視認ルトキハ其狀況ヲ具シ當省
へ稟議ス可シ(同上法令ニテ)

第七條 地盤ヲ丈量シタルモノハ其願屆書ニ丈量野取圖ヲ添付セシム可シ
 第八條 條例第二十四條ノ荒地ニシテ川海湖ニ歸シタル土地アルトキハ地種組換ノ手續ヲ爲ス可シ
 第九條 各地目中ニ包含セル現地名稱ハ土地臺帳地目欄内本地目ノ傍ニ記入ス可シ

○鐵道用地免租ニ關スル件

○法律第四號 明治二十八年三月十一日

本月二十日付ヲ以テ大阪府知事ヨリ大藏遞信大臣へ私設鐵道條例第八條ニ列記セル鐵道用地ハ地租條例第十三條ニ據リ免租相成ルヘキ儀ナル處之カ免租ヲ爲スヘキ場合ハ私設鐵道條例第八條ノ用地ニ該當スルヤ否ハ檢査スヘキモ其用地ノ廣狹如何ハ地方官ニ於テ拒否スヘキモノニ之ナキ儀ト心得然ルヘキヤ又既ニ全部竣功ヲ告ケ營業開始ノ後會社ニ於テ停車場ヲ擴張シ若シ踏切番小屋ヲ増設シ其他必要ニ應シ用地ノ増加ヲ要スル場合ハ更ニ政府ノ許可ヲ得サルモノト雖モ會社ヨリ工事著手ヲ届出タルトキハ直ニ免租シ然ルヘキヤト伺出タルニ一昨九日大藏大臣ヨリ前段見込ノ通後段ハ遞信省ノ認可ヲ經タル用地ニアラサレハ免租セサル旨指令セリ

○北海道地租ニ關スル件

○太政官布告第六十一號 明治九年十二月

北海道地租ノ儀當分地價百分ノ一二相定候條此旨布告候事

○北海道開墾地免租ノ件

○法律第十八號 明治二十二年六月

北海道開墾地租地方稅免除

北海道開墾地ニシテ明治二年以後有租地トナリタル田畑及郡村宅地ハ明治二十二年ヨリ同三十一年迄特ニ地租地方稅ヲ免除ス其現ニ開墾年期中ノモノハ滿期ノ翌年ヨリ尙ホ十箇年間地租地方稅ヲ課セス

○地租改正後買上地拂下地潰地等除租區分ノ件

(明治十七年三月布告第七號ヲ以テ改正)

○太政官布告第十八號 明治十年二月

地租改正後買上地拂下地潰地等收稅除稅區分

第一條 民有地ヲ買上ル時其年分ノ稅ハ買上タル前月分迄月割ヲ以テ收入スヘシ
 第二條 官有地ヲ拂下ル時其年分ノ稅ハ拂下タル翌月分ヨリ月割ヲ以テ收入スヘシ
 第三條 (消滅)

○地租條例中地方廳解釋ノ件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十二年五月二日 殖 拓 第一七六七號

地租條例中地方廳解釋ノ義ニ付本月一日殖拓第一三四七號ヲ以テ御通知ノ次第有之候處今般別紙寫ノ通り其第十一條ニ規定セル地方廳ニ限リ長官ノ取扱ニ屬シ候旨主稅局長ヨリ通牒有之候ニ付指令御送付ノ上ハ從前ノ通り右ニ其要領所轄稅務署へ通報方御取計相成度此段及通知候也

(別紙)

○坤第三五九四號

明治三十二年四月十八日

大藏省主稅局長

地租條例中ニ地方廳トアルハ稅務管理局ナルヤノ件曾テ御問合之砌稅務管理局長ノ取扱ニ轉屬候旨回報ノ處其第十一條ニ規定スル地方廳ニ限リ貴官御取扱ノ事項ニ屬シ候儀ニ付更ニ及御通牒候也